

ESET HOME

ユーザー ガイド

[この文書のオンラインバージョンを表示するにはこちらをクリックしてください。](#)

Copyright ©2024 by ESET, spol. s r.o.

ESET HOMEはESET, spol. s r.o.によって開発されています

詳細については<https://www.eset.com>をご覧ください。

All rights reserved.本ドキュメントのいかなる部分も、作成者の書面による許可がない場合、電子的、機械的、複写、記録、スキャンなど、方法または手段の如何をと問わず、複製、検索システムへの保存、または転送が禁じられています。

ESET, spol. s r.o.は、事前の通知なしに、説明されたアプリケーションソフトウェアを変更する権利を有します。

テクニカルサポート: <https://support.eset.com>

改訂: 2024年/4月/12日

1 ESET HOME 概要	1
1.1 新機能の紹介	2
1.2 システム要件	3
1.3 製品とセキュリティ機能	4
2 ESET HOME モバイルアプリケーション	6
2.1 アプリ設定	7
3 基本操作	7
4 登録	9
4.1 ESET HOMEアプリへの登録	11
5 ESET HOMEでの作業	11
5.1 ESET HOME アカウント管理	13
5.1 ESET HOMEアカウントにログインする方法	14
5.1 ソーシャルログイン	16
5.1 ソーシャルログイン失敗 - 電子メールアドレスは使用中です	17
5.1 ESET HOMEアカウント設定の変更	18
5.1 ESET HOMEアカウントの削除	20
5.1 ログインデバイスとログイン履歴の管理	21
5.2 サブスクリプションとサブスクリプション管理	21
5.2 サブスクリプションの追加	22
5.2 サブスクリプションの共有	23
5.2 サブスクリプションの使用状況	25
5.2 サブスクリプションの自動更新	27
5.2 サブスクリプションの使用超過/漏洩したサブスクリプションの場合の手順	28
5.2 サブスクリプションのステータスと削除	28
5.3 デバイス	29
5.3 デバイスの追加	31
5.3 デバイスの削除	34
5.4 ESET アンチセフト	36
5.4 Windowsアカウントがパスワードで保護されていない	36
5.4 架空アカウントの問題	38
5.4 リアルアカウントの自動ログインが有効になっている	38
5.4 架空アカウントの自動ログインが有効になっている	39
5.4 ESET アンチセフトによって保護されたデバイス	39
5.4 ステータス	41
5.4 ESET アンチセフト状態	42
5.4 アクティビティ	42
5.4 場所	43
5.4 画像	43
5.4 IPアドレス	43
5.4 不審な動作が報告されました	44
5.4 最適化	44
5.4 位置情報サービスがオフです	45
5.4 GPSサービスが使用されていません	45
5.4 画面ロックが設定されていません	46
5.4 モバイルデータが無効です	46
5.4 Google Playサービスが存在しません	46
5.4 メッセージ	46
5.4 メッセージの履歴	47
5.4 設定	47
5.4 ハウツー	48

5.4 新しいデバイスをESET アンチセフトに追加する	48
5.4 盗難にあった場合の解決方法	51
5.4 場所情報が表示されない	53
5.4 リソース	53
5.5 ユーザープロフィール	54
5.6 二要素認証	55
5.7 通知	57
6 アンインストール	58
7 FAQ	58
7.1 ESET HOME パスワードを忘れました	62
7.2 漏洩したパスワード	64
7.3 利用規約	64
7.3 データ処理契約	75
7.3 標準契約条項	77
7.3 ESET HOME アプリケーションのエンドユーザーライセンス契約	100
7.4 プライバシーポリシー	106
7.5 Cookieポリシー	112

ESET HOME 概要

ESET HOMEでは複数の機能が連携し、ホーム向けESET製品を最大限に活用できます。

ESET HOMEには次の機能とアプリケーションがあります。



デバイス管理

デバイス管理ではESET製品がESET HOMEアカウントに連携されているデバイス、またはアカウントで管理されているサブスクリプションによってアクティベーションされたコンピューターのデバイスに関する情報にアクセスできます。デバイスのESET製品をアクティベーション解除することもできます。

- [デバイス管理 – オンラインヘルプ](#)



サブスクリプション管理

サブスクリプション管理では、各サブスクリプションに関する重要な情報、サブスクリプションのステータス、サブスクリプションの有効期限、アクティベーションされたデバイスの数、および該当する場合はサブスクリプションの使用超過または有効期限切れのサブスクリプションの警告を確認できます。また、サブスクリプションを他のユーザーと共有することもできます。

- [サブスクリプション管理 – オンラインヘルプ](#)



ESET アンチセフト

ESET アンチセフトはホームユーザー向けESETセキュリティ製品の専用機能ですESET アンチセフトは地理IPアドレス検索Webカメラ画像キャプチャ、ユーザーアカウント保護、デバイス監視などの技術を使用して、デバイスが紛失したり盗まれたりした場合に、ユーザーや法執行機関がノートパソコンやモバイルデバイスを検索できるように支援しますESET アンチセフトはESET製品をESET HOMEポータルに連携し、コンピューターやモバイルデバイスで発生したアクティビティをデバイスのWebブラウザーで確認できるため、追跡が簡単です。

ESET アンチセフトはスタンドアロンアプリケーションとして使用できませんが、次の製品の機能として使用できます。

- ESET Smart Security Premium (Windows)
- ESET Internet Security (Windows)
- ESET Mobile Security (Android)



ESET Parental Control

ESET Parental Control Webサービスは、スマートフォンとタブレットの脅威からお子様を保護するESET Parental Controlアプリケーションの追加機能として動作します。このアプリケーション自体はスタンドアロンAndroidアプリケーションでありESET HOMEと完全に統合されているため、保護者はESET Parental ControlアプリケーションだけではなくESET HOMEアカウントにサインインして任意のWebブラウザーを使用して、お子様のオンラインアクティビティを監視して調整できます。

- [ESET Parental Control - オンラインヘルプ](#)



ESET Password Manager

ESET Password ManagerはESET Small Business SecurityESET Security UltimateおよびESET Smart Security Premiumサブスクリプションの一部です。この機能はパスワードと個人データを保護し、Webフォームを自動的に正確に入力して時間を節約するフォーム入力機能も含まれています。

ESET Password ManagerはiOSおよびAndroidシステムのアプリケーションとしても、ブラウザー拡張機能としても提供されています。

- [ESET Password Manager - オンラインヘルプ](#)



ESET HOMEポータル機能にアクセスするには、[ESET HOMEアカウントを作成する必要があります](#)



ESET VPN

ESET VPN (仮想プライベートネットワーク)機能は、ESET Small Business SecurityおよびESET HOME Security Ultimateパッケージの一部です。VPNでは、パブリックネットワークとプライベートネットワークを使用するときに、ユーザーがプライベートネットワーク接続を確立できます。

- [ESET VPN - オンラインヘルプ](#)

新機能の紹介

追加

- ESET HOMEダッシュボードの[サイドメニュー](#)^②
- スモールオフィスおよびホームオフィスセグメント向けの新しい製品—[ESET Small Business Security](#)^②
- [特定のサブスクリプション内のWindows Server](#)にインストーラーをダウンロードするオプション。
- 特定のサブスクリプションで購入およびアクティベーションされたPassword Manager^②VPN^②およびサーバー単位の数に関する情報。

改良

- [サブスクリプション詳細](#)ページの設計。
- [このデバイス/別のデバイスを保護](#)のフロー。

システム要件

次の表のように^②ESET HOME WebポータルとAndroidおよびiOS版アプリケーションは特定のソフトウェアバージョンからのみ使用できます。

製品	ソフトウェア要件
ESET HOME Webポータル	Google Chromeバージョン60以降 Microsoft Edge(Chromiumバージョン)バージョン79以降 Mozilla Firefoxバージョン63以降 Safariバージョン10.1以降
ESET HOME Androidアプリケーション	Android 6.0以降
ESET HOME iOSアプリケーション	iOS 14以降

ESET HOMEとESET製品との互換性はバージョンによって異なります。次の表は、この互換性のためのサポートされている最低バージョンを示します。

製品	バージョン
ESET NOD32 Antivirus ESET Internet Security ESET Smart Security Premium	16.2以降
ESET Mobile Security	8.2以降

サブスクリプションの制限



1つのアカウントごとのサブスクリプション数は10以下です。

管理するサブスクリプションとデバイス数を増やしたい場合は、ESETビジネス製品に切り替え、サブスクリプション管理で[ESET Business Account](#)を使用することをお勧めします。

製品とセキュリティ機能

i 一部の製品およびセキュリティ機能は、[お使いの言語/地域ではご利用いただけない場合があります](#)

製品と機能は、以下のサブスクリプションティアに基づいて利用できます。

ESET Small Business Security

アクティベーションできる製品と機能は、次の表に示されています。

製品	ウィンドウ	macOS	Android	iOS	Windows Server
ESET Small Business Security	✓				
ESET Cyber Security		✓			
ESET Mobile Security			✓		
ESET Smart TV Security			✓		
ESET Safe Server					✓
機能					
ESET Password Manager	✓	✓	✓	✓	✓
ESET VPN	✓	✓	✓	✓	

ESET Home Security Ultimate

アクティベーションできる製品と機能は、次の表に示されています。

製品	ウィンドウ	macOS	Android	iOS
ESET Security Ultimate	✓			
ESET Smart Security Premium	✓			
ESET Internet Security	✓			
ESET NOD32 Antivirus	✓			
ESET Cyber Security		✓		
ESET Mobile Security			✓	
ESET Parental Control			✓	
ESET Smart TV Security			✓	
機能				
ESET Password Manager	✓	✓	✓	✓
ESET VPN	✓	✓	✓	✓

ESET Home Security Premium

アクティベーションできる製品と機能は、次の表に示されています。

製品	ウィンドウ	macOS	Android	iOS
ESET Smart Security Premium	✓			

製品	ウィンドウ	macOS	Android	iOS
ESET Internet Security	✓			
ESET NOD32 Antivirus	✓			
ESET Cyber Security		✓		
ESET Mobile Security			✓	
ESET Parental Control			✓	
ESET Smart TV Security			✓	
機能				
ESET Password Manager	✓	✓	✓	✓

ESET Home Security Essential

アクティベーションできる製品は、次の表に示されています。

製品	ウィンドウ	macOS	Android	iOS
ESET Internet Security	✓			
ESET NOD32 Antivirus	✓			
ESET Cyber Security		✓		
ESET Mobile Security			✓	
ESET Parental Control			✓	
ESET Smart TV Security			✓	

スタンドアロンサブスクリプション

次の製品は、スタンドアロンサブスクリプションとして利用できます。

製品	ウィンドウ	macOS	Android	iOS
ESET NOD32 Antivirus	✓			
ESET Mobile Security			✓	
ESET Parental Control			✓	
ESET Smart TV Security			✓	

過去にESETを購入しましたか。

以下の表は、過去の購入に基づいてアクティベーションできる製品を示しています。

セキュリティソリューション	製品
Premium Security (Windows®macOS®Android)	ESET Smart Security Premium, ESET Internet Security, ESET NOD32 Antivirus, ESET Cyber Security, ESET Cyber Security Pro, ESET Mobile Security, ESET Parental Control, ESET Smart TV Security

セキュリティソリューション	製品
高度なセキュリティ	ESET Internet Security, ESET NOD32 Antivirus, ESET Cyber Security, ESET Cyber Security Pro, ESET Mobile Security, ESET Parental Control, ESET Smart TV Security
Essential Security (Windows®/macOS)	ESET NOD32 Antivirus, ESET Cyber Security
ESET Family Security Pack (Windows®/macOS®/Android)	ESET Internet Security, ESET NOD32 Antivirus, ESET Cyber Security, ESET Cyber Security Pro, ESET Mobile Security, ESET Parental Control, ESET Smart TV Security
ESET Parental Control (Android)	ESET Parental Control
ESET Mobile Security Premium (Android)	ESET Mobile Security, ESET Smart TV Security

ESET HOMEアプリケーション



ESET HOMEアプリケーションの取得



インストール後、[ESET HOMEアカウント](#)を作成するか、[ログイン](#)します。


ESET HOME Webポータルおよびアプリケーションの比較

機能	Webポータル	Androidアプリケーション	iOSアプリケーション
接続されたデバイスリスト、セキュリティステータス、管理	✓	✓	✓
サブスクリプションリスト、管理、共有	✓	✓	✓
ESET製品のダウンロード	✓	✓	✓
サブスクリプションの更新	✓	✓	✗
セキュリティ、サブスクリプション、アカウント通知	✓	✓	✓
ESET アンチセフト	✓	✗	✗
Parental Control for Android	✓	✗*	✗
Password Manager	✓	✗*	✗
PINまたは生体認証	✗	✓	✓
新機能	✓	✓	✓
問題の報告とフィードバックの送信	✓	✓	✓
アカウント設定	✓	✓	✓

* ESET Parental Control for Androidはスタンドアロンアプリケーションです。

* ESET Password ManagerはAndroid/iOS版のスタンドアロンアプリケーションです。

アプリ設定

メインメニューボタン > **アプリ設定**をタップして、アプリ言語とプッシュ通知を調整します。

アプリ言語 - アプリには40以上の言語があります。ここでアプリ表示言語を選択します。

認証設定 - PINを設定するか、**生体認証ログイン**を使用してESET HOMEアプリにログインします。

プッシュ通知を受信 - ESET HOMEアプリ経由でデバイスに送信する簡単なメッセージとアラート(サブスクリプションとデバイスに関連)を有効または無効にします。

クラッシュレポートの送信 - クラッシュレポートは、ESETがエラーを分析し、有効にした場合にパフォーマンスの問題を追跡するのに役立ちます。

基本操作

ESET HOMEアカウントを作成すると、概要が表示され、サブスクリプションと接続されたデバイスの保護を管理できます。またESET HOMEには、スマートフォンやタブレットの脅威からお子様を保護するESET Parental Controlパスワードや個人データを保護しながら保存するESET Password Manager紛失や盗難に遭った場合にノートパソコンやモバイルデバイスを検索できるESET アンチセフトなどの機能があります。詳細については、[ESET HOME機能](#)をお読みください。

i ESET HOMEアカウントにESET Small Business SecurityまたはESET Safe Serverサブスクリプションのみを関連付けた場合、[Password Manager](#)[VPN](#)[Anti-Theft](#)機能のみを使用できます。[ESET HOMEサブスクリプション](#)をESET HOMEアカウントに追加すると、すべての機能が表示されます。

ESET HOMEアカウントを作成した後、まずサブスクリプションを追加して、デバイスを保護しますESET HOMEホーム画面で、**基本操作**をクリックし、以下の設定に従って続行します。

サブスクリプションとダウンロード保護を追加する

1. サブスクリプションを追加して保護をダウンロードを選択し、**続行**をクリックします。
2. 製品認証キーを入力し、サブスクリプションの追加をクリックします。サブスクリプションがない場合は、戻ってサブスクリプションの購入をクリックするか、[無料で保護を試す](#)をクリックして無料体験版を入手します。

i サブスクリプションを管理するには、[サブスクリプションとサブスクリプション管理](#)を参照してください。


3. これで、サブスクリプションがアクティブになり、次のことができます。

- a) ステップ2のプロセスを使用して、**別のサブスクリプションを追加する**
- b) **デバイスの保護** - 直接ESET HOMEからESET製品をダウンロードし、[デバイスをESET HOMEアカウントに接続](#)して、すべての機能を表示して管理します。現在のデバイスまたは他のデバイスを保護するか、以下の手順に従って保護を他のユーザーと共有できます。

! macOSデバイスで保護をアクティベーションすることはできますがESET HOMEアカウントに[接続されたデバイスとして表示されません](#)ESET HOMEにセキュリティステータスは表示されません。

このデバイスを保護 - ESET製品インストーラーを現在使用しているデバイスにダウンロードし、ESET製品をアクティベーションします。

4. 現在のデバイスでインストーラーをダウンロードするには、このデバイスを保護をクリックして、続行をクリックします。サブスクリプション単位が使用できない場合は、一部のデバイスを削除するか、新しいサブスクリプションを購入するか、既存のサブスクリプション容量を増やしてください。

 サブスクリプションが有効期限切れになった場合は、更新をクリックするか、更新されたサブスクリプションまたは新しいライセンスをお持ちの場合をクリックして新しいサブスクリプションを追加します。

5. 対象となるサブスクリプションが複数ある場合は、サブスクリプションを選択し、続行をクリックします。Windows Server デバイスを保護するには、ここをクリックして Windows Server のウイルス対策保護をダウンロードするにはここをクリックしてくださいをクリックし、画面の指示に従います。

台のAndroidデバイスを保護します。

 Android デバイスを保護する場合は、ESET Mobile Security の最新バージョンをダウンロードするために Google Play ストアにリダイレクトするか、すでにダウンロードしている場合は ESET Mobile Security アプリケーションに直接リダイレクトします。ESET Mobile Security のアクティベーション後、デバイスは ESET HOME アカウントに自動的に接続されます。Android デバイスの場合、無料版の ESET Mobile Security も利用できます。

6. ウイルス対策保護をダウンロードをクリックします。

7. 承諾をクリックします。


8. ダウンロードしたインストーラーを開き、ESET 製品をアクティベーションします。

別のデバイスを保護

✓ [ダウンロードリンクを電子メールで送信する](#)—ESET 製品インストーラーを送信し、他のデバイスで保護をアクティベーションします。

4. 電子メールでソフトウェアインストーラーを取得を選択し、続行をクリックします。

5. 以下の一覧でオペレーティングシステムを選択し、続行をクリックします。保護するオペレーティングシステムの ESET 製品が表示されます。

 任意のオペレーティングシステムを保護する資格があるサブスクリプションをお持ちではない場合は、新しいサブスクリプションを購入して、ESET HOME アカウントに追加してください。

- **Windows**—ESET Windows ホーム製品インストールのガイドを提供するインストーラーを送信します。
 - **macOS** – 言語を選択して ESET Cyber Security 保護を送信します。
 - **Android**—ダウンロードリンクを Android デバイスに送信します。このリンクは、ESET Mobile Security の最新バージョンをダウンロードするために Google Play ストアにリダイレクトするか、すでにダウンロードしている場合は ESET Mobile Security アプリに直接リダイレクトします。
 - **Windows Server** - Windows Server デバイスの ESET Safe Server 保護を送信します。この保護は、ESET Small Business Security サブスクリプションティアの一部です。
6. 対象となるサブスクリプションを選択し、続行をクリックします。
7. 保護するデバイスでアクセスできる電子メールアドレスを入力します。
8. ウイルス対策保護の送信をクリックすると、入力した電子メールアドレスに保護が送信されます。
9. 受信した電子メールからインストーラーをダウンロードし、インストーラーの手順に従って ESET 製品をアクティベーションします。
10. 承諾をクリックします。
11. Windows または macOS デバイスで ESET 製品が正常にアクティベーションされたら、デバイスを ESET HOME アカウントに接続します。ESET Mobile Security のアクティベーション後、デバイスは自動的に ESET HOME アカウントに接続されます。

- [サブスクリプションの共有](#) – サブスクリプションを共有し、他のユーザーが自分のESET HOMEアカウントを使用してデバイスにESET保護をインストールして管理できるようにします。Windows OSとmacOSを搭載したデバイスのみを共有できます。

サブスクリプションが使用超過状態ではなく、無料の[サブスクリプションシート](#)がある場合は、[他のユーザーとサブスクリプションを共有](#)できます。

4. サブスクリプションの共有を選択し、**続行**をクリックします。

5. サブスクリプションを選択し、**続行**をクリックします。

i 1つ以上の空きサブスクリプション単位があるサブスクリプションのみを共有できます。空きサブスクリプション単位を作成するには、使用しなくなった[デバイスを削除](#)します。

6. +および-ボタンを使用して、保護するデバイスの数を選択します。

7. 保護を送信する電子メールアドレスを入力し、**サブスクリプションの共有**をクリックします。

8. **承諾**をクリックします。

サブスクリプションの購入

サブスクリプションの購入を選択した後、**続行**をクリックすると、[ESET eStore](#)にリダイレクトされ、サブスクリプションを購入できます。[ESET HOME](#)アカウントにログインし、[デバイスを保護](#)します。

無料で保護を試す

1. **無料で保護を試す**を選択し、**続行**をクリックします。

2. 保護するデバイスのオペレーティングシステムを選択し、**続行**をクリックします。

3. をクリックします：

a) **保護のダウンロード** – インストーラーがダウンロードされ、現在のデバイスを保護します。

b) **電子メールを送信** – 入力した電子メールアドレスに保護が送信されます。

登録

必須アカウント



ESET Home Security Ultimate、ESET Home Security PremiumまたはESET Home Security Essentialサブスクリプションティアを購入した場合、[ESET製品と機能](#)をダウンロードして使用するにはESET HOMEアカウントを作成する必要があります。

次の方法のいずれかを使用して、新しいESET HOMEアカウントを作成します。

- [ESET HOME Webポータル](#)
- [ESET HOME アプリケーション](#)
- [ESET Windows ホーム製品のマインプログラムウィンドウ](#)
- [ESET Parental Control アプリケーション](#)でのアクティベーション中
- 内向き [ESET Mobile Security](#)

WindowsおよびAndroid用ESET HOME製品の[ESET HOME機能](#)が正しく機能するにはESET HOMEアカウントを作成する必要があります。ESET HOMEアカウントを作成するにはGoogleアカウント、Apple IDまたは電子メールアドレスとパスワードでログインします。

! GoogleアカウントまたはApple IDを使用してアカウントを作成する場合は、ESET アンチセフトまたはESET Parental Controlを使用するか、あるいはGoogleアカウントまたはApple IDをESET HOMEアカウントから関連付け解除するために、個別のESET HOMEパスワードを作成する必要があります。

電子メールアドレスとパスワードを使用してESET HOME Webポータルでアカウントを作成する

1. [ESET HOMEポータル](#)にアクセスします。
2. アカウントの作成をクリックします。

i ソーシャルメディアアカウントでESET HOMEアカウントを作成するにはGoogle/AppleボタンをクリックしてGoogleアカウントまたはApple IDを入力するとESET HOMEアカウントにログインします。

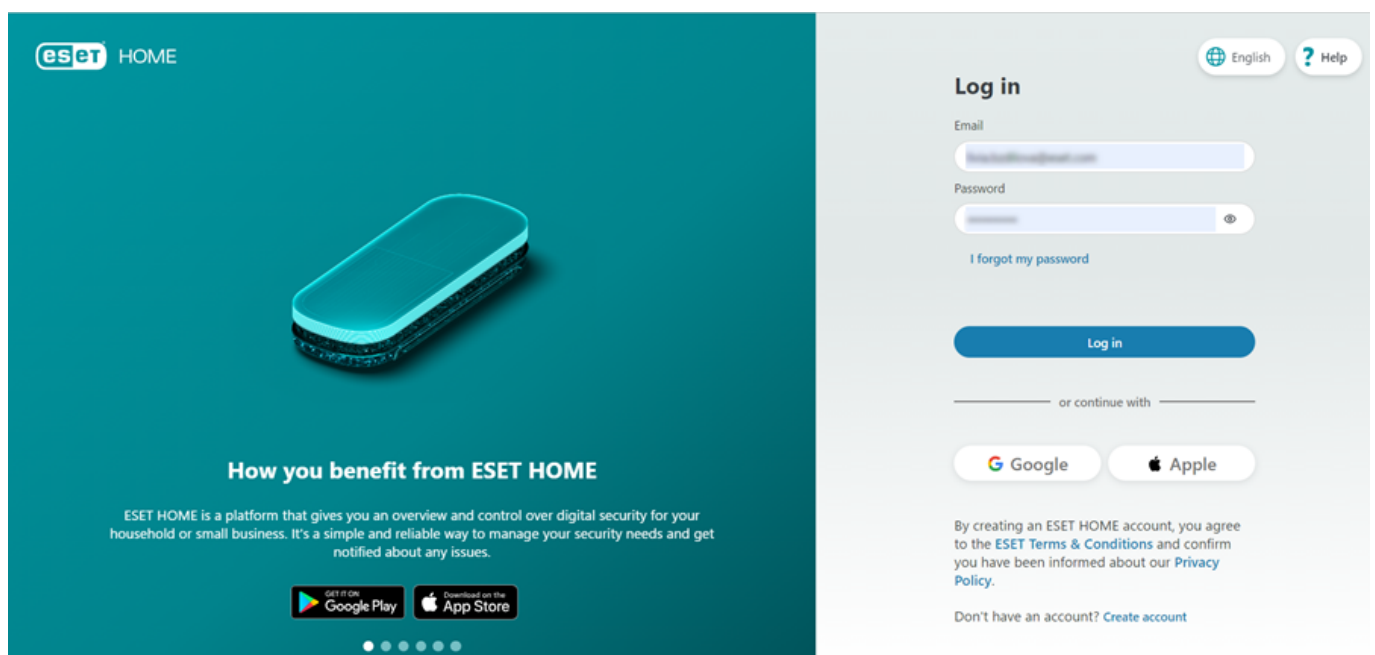
3. 有効な電子メールアドレスを入力し、**電子メールアドレスを使用して続行**をクリックします。
4. パスワードを入力し、該当する国を選択します。これらのフィールドは登録に必要です。

パスワードは10文字以上で、次の各文字を少なくとも1文字含める必要があります。

- !**
- 小文字
 - 大文字
 - 番号


5. をクリックします **アカウントの作成またはログイン**
6. 確認の電子メールが自分の電子メールアドレスに送信されます。電子メールのリンクをクリックし、登録を確認します。自動的にアカウントにログインします。

ESET HOMEアカウントを作成するとESET アンチセフトを含むすべてのESETオンラインサービスにアクセスできます。詳細については、[新しいデバイスを追加してESET アンチセフトをアクティベーションする方法](#)のオンラインヘルプセクションか、[ESET アンチセフトナレッジベース記事](#) (一部の言語では提供されていません)を参照してください。



ESET HOMEアプリへの登録




アプリケーションでESET HOMEアカウントを作成するには、次の手順に従います。

1. ESET HOMEアプリケーション  を開きます。
2. **アカウントの作成**をタップします。
3. 国を選択し、**続行**をタップします。
4. 有効な電子メールアドレスとパスワードを入力します。

パスワードは10文字以上で、次の各文字を少なくとも1文字含める必要があります。

- 小文字
- 大文字
- 番号

5. **続行**をタップします。
6. ログインしています。**続行**をタップします。
7. 認証を選択し、**続行**をタップします。
8. 通知を受け取りたい場合は、**許可**をタップします。それ以外の場合は、**スキップ**をタップします。これは、[アプリの設定](#)でいつでも変更できます。

i ソーシャルメディアアカウントでESET HOMEアカウントを作成するには  Google/Apple ボタンをタップして  Google アカウント情報または Apple ID を入力すると  ESET HOME アカウントにログインします。

9. ESET からアカウントをアクティベーションするための電子メールが送信されます。電子メールの手順に従ってください。

ESET HOMEでの作業

ESET HOME Web ポータルとアプリは、次のセクションに分かれています。

ホーム画面

ホーム画面では、次のセクションにアクセスできます。



- [サブスクリプション](#)
- [デバイス](#)
- [機能](#)
- 言語
- [通知](#)
- [ESET HOME 設定](#)

サイドメニュー

メニューの下部にある展開右矢印アイコン » をクリックして、コンテンツを表示します。メインメニューには次のものが含まれます。

-  概要

保護

-  [デバイス](#)
-  [サブスクリプション](#)

機能



-  [セキュリティ機能](#)
-  [VPN](#)
-  [ID保護](#) (米国のユーザーのみ)
-  [Password Manager](#)
-  [ESET アンチセフト](#)
-  [ペアレンタルコントロール](#)

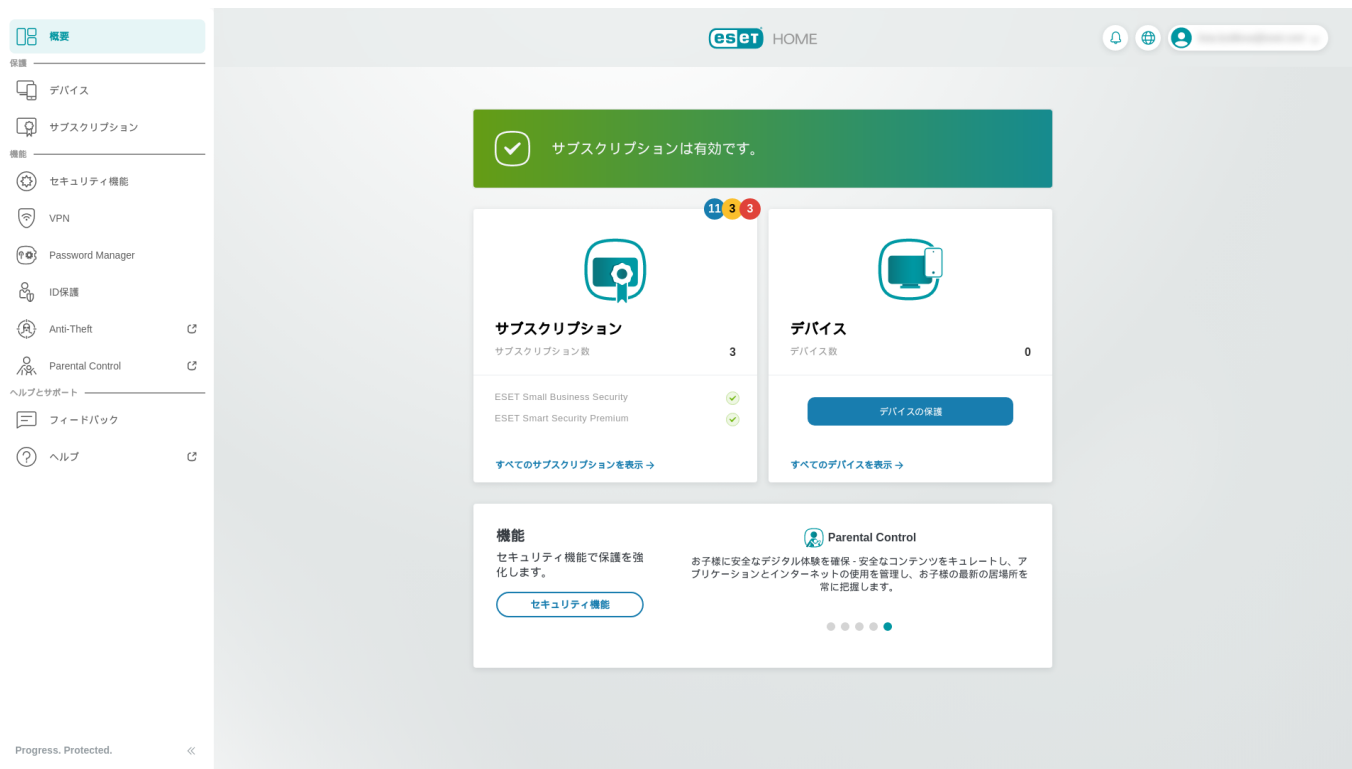
i ESET HOMEアカウントにESET Small Business SecurityまたはESET Safe Serverサブスクリプションのみを関連付けた場合、[Password Manager](#)、[VPN](#)、[Anti-Theft](#)機能のみを使用できます。[ESET HOMEサブスクリプション](#)をESET HOMEアカウントに追加すると、すべての機能が表示されます。

設定(ESET HOMEアプリでのみ使用可能)

-  [アプリ設定](#)

ヘルプとサポート

-  フィードバック
-  ヘルプ



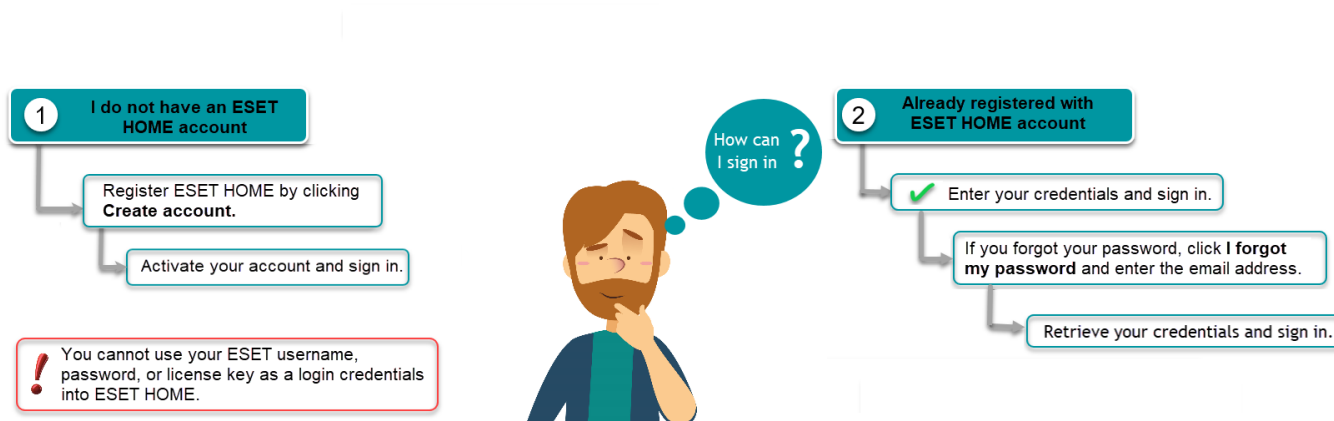
ESET HOME アカウント管理

ESET HOMEアカウントを管理するには、[ログイン](#)する必要があります。

ESET HOMEアカウントをお持ちでない場合は、アカウントを作成する必要があります。作成するには、[アカウントの作成](#)をクリックします。ESET HOMEアカウントの作成の詳細については：

- このオンラインヘルプの[新しいESET HOMEアカウントの作成](#)の章の手順に従ってください。
- ESET Windows ホーム製品の使用に関する詳細な手順については、[ESETナレッジベース記事](#)を参照してください。
- ESET Mobile Securityの使用に関する詳細な手順については、[ESETナレッジベース記事](#)を参照してください。

以下の図のようにESET HOMEアカウントは、無料で、簡単に作成することができます。



アプリケーションを使用してESET HOMEアカウントを管理できます：



サインイン状態を維持するチェックボックスをオンにするとESET HOMEに資格情報が保存され、次回以降は自動的にログインします。セキュリティのリスクとなる可能性があるため、自分のものではないコンピューターやデバイスからESET HOMEにアクセスする場合は、このオプションを選択しないでください。このオプションが機能するにはCookieを許可する必要があります。


ESET HOMEアカウントにログインする方法

ESET HOME Webポータルを使用してESET HOMEアカウントにログインする


✓ [ESET HOME電子メールおよびパスワード](#)

1. [ESET HOME Webポータル](#)にアクセスします。
2. 電子メールアドレスとパスワードを入力します。
3. ログインをクリックします。

✓ [Googleアカウント](#)

1. [ESET HOME Webポータル](#)で、Googleアイコン  をクリックします。
2. Googleアカウントを選択します。
3. Googleアカウントで既存のESET HOMEアカウントに初めて接続する場合は、ESET HOMEパスワードを入力する必要があります。
4. ログインをクリックします。

✓ [Apple ID](#)

1. [ESET HOME Webポータル](#)で、Appleアイコン  をクリックします。
2. Apple IDとパスワードを入力します。
3. ログインをクリックします。
4. Appleデバイスに送信されたコードを入力します。
5. 続行をクリックします。
6. Webブラウザを信頼する場合は、信頼をクリックします。
7. 続行をタップし、Apple IDでESET HOMEにアクセスします。
8. Apple IDを使用して既存のESET HOMEアカウントに初めて接続する場合は、ESET HOMEパスワードを入力する必要があります。
9. ログインをクリックします。


パスワードをリセット(必要に応じて)

[ESET HOMEパスワードを忘れました](#)



ESET HOME電子メールアドレスとパスワードは、ESETストアの電子メールアドレスとパスワードと異なっている必要があります。

初めてESET HOMEアプリケーションにログインする


1. ESET HOMEアプリケーションを開きます 

2. 使用するアカウントを選択します。


✓ [ESET HOMEアカウント](#)

- ログインをタップして起動します。
- 電子メールアドレスとパスワードを入力します。
- ログインをタップします。
- 続行をタップします。

✓ [Googleアカウント](#)

-  Googleで続行をタップします。
- Googleアカウントを選択します。
- ログインをタップします。
- Googleアカウントで既存のESET HOMEアカウントに初めて接続する場合は、ESET HOMEパスワードを入力する必要があります。

✓ [Apple ID](#)

-  Appleで続行をタップします。
- Apple IDとパスワードを入力します。
- Appleデバイスに送信された二要素認証コードを入力します。
- このブラウザーを信頼するかどうかを確認する必要があります。信頼をタップします。信頼しないをタップする場合は、ログインするたびに認証コードを入力する必要があります。
- 続行をタップし、Apple IDでESET HOMEにアクセスします。
- Apple IDを使用して既存のESET HOMEアカウントに初めて接続する場合は、ESET HOMEパスワードを入力する必要があります。
- 続行をタップします。

3. 後で使用するために任意のログイン方法を選択します。

- **生体認証ログイン**: スマートフォンにあらかじめ保存されているセキュリティ機能を使用します。顔認識、指紋、画面ロックパスワードなどがあります。続行をタップします。
- **PIN**: 4桁の数字のPINコードです。

1. 続行をタップします。

2. 選択した4桁の数字のPINを入力し、続行をタップします。

3. PINを繰り返して確認し、続行をタップします。

4. 通知を許可またはスキップするように指示された場合は、許可をタップし、スマートフォンで直接プッシュ通知の表示を有効にします。後から[通知](#)を有効または無効にできます。

ログインしました。今後ESET HOMEアプリケーションにログインするにはESET HOMEアプリケーションを開きます。選択したログイン方法を使用するように指示されます。

ソーシャルログイン

ESET HOMEアカウントをGoogleアカウントまたはApple IDに関連付ける

ESET HOMEアカウントにログインするときにGoogleアカウントまたはApple IDを使用してログインするオプションを選択すると、自動的にESET HOMEアカウントがGoogleアカウントまたはApple IDに関連付けられます。電子メールアドレスとパスワードでログインした後、直接ESET HOMEポータルでアカウントに関連付けることもできます。



既存のESET HOMEアカウントで使用されている電子メールアドレスがGoogle電子メールアドレスまたはApple IDと同じ場合は、GoogleまたはApple IDでログインするとESET HOMEアカウントをGoogleまたはApple IDに関連付けられます。ログイン中にはIDを認証するためにESET HOMEパスワードを入力するように指示されます。アカウントは自動的に関連付けられます。

ESET HOMEポータルでGoogleアカウントを接続または切断する

1. ESET HOMEアカウントにログインします。
2. 画面の右上にある電子メールアドレスをクリックします。
3. **アカウント**をクリックします。
4. ソーシャルログインセクションで、ESET HOMEアカウントをGoogleまたはApple IDに関連付けるかどうかを選択します。

✓ [Googleアカウント](#)

ESET HOMEをGoogleアカウントに接続する

- a.ESET HOMEパスワードを入力します。
 - b.Googleアカウントを選択し、パスワードを入力します。
- GoogleアカウントがESET HOMEアカウントに接続されます。

Googleアカウントの切断

- a.ソーシャルログインセクションで、**切断**をクリックします。
 - b.ESET HOMEパスワードを入力し、**続行**をクリックしますESET HOMEパスワードが設定されていない場合は、続行する前に作成する必要があります。
- GoogleアカウントがESET HOMEアカウントから切断されました。

✓ [Appleアカウント](#)

ESET HOMEをApple IDに接続する

- a.**接続**をクリックします。
 - b.ESET HOMEパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。
 - c.Apple IDとパスワードを入力します。
 - d.Appleデバイスから6桁のコードを入力します。
 - e.Webブラウザーを信頼する場合は、**信頼**をクリックします。この場合、次回以降に確認コードを確認する必要はありません。
 - f.**続行**をタップし、Apple IDでESET HOMEにアクセスします。
- Apple IDが正常にESET HOMEアカウントに接続されました。

Appleアカウントの切断

- a.ソーシャルログインセクションで、**切断**をクリックします。
 - b.ESET HOMEパスワードを入力し、**続行**をクリックしますESET HOMEパスワードが設定されていない場合は、続行する前に作成する必要があります。
- Apple IDがESET HOMEアカウントから切断されます。

ESET HOMEアプリでGoogleアカウントを接続または切断する

1. ESET HOMEアプリにログインします。
2. 左上のメインメニュー☰ボタンをタップします。
3. **マイアカウント**をタップします。

• Googleアカウントに接続する

- a. ソーシャルログインセクションで、Googleアカウントの**接続**をタップします。
- b. ESET HOMEパスワードを入力し、**続行**をタップします。
- c. Googleアカウントを選択します。

ソーシャルアカウントは正常にESET HOMEアカウントに接続されました。

• Googleアカウントから切断する

- a. ソーシャルログインセクションで、Googleアカウントからの**切断**をタップします。
- b. ESET HOMEパスワードを入力し、**続行**をタップします。

ソーシャルアカウントがESET HOMEアカウントから切断されました。

ソーシャルログイン失敗 – 電子メールアドレスは使用中です

ソーシャルボタンの使用中に既に使用されている電子メールアドレスに関する次のエラーメッセージのいずれかが表示された場合は、次の方法で問題を解決してください。

この電子メールアドレスはすでに別のESET HOMEアカウントに関連付けられています。別の電子メールアドレスを使用するか、以下のリンクをクリックして、ログインオプションの詳細を確認してください。

このエラーメッセージは、ESET HOMEアカウントが同じ電子メールアドレスで既に作成され、別のApple/Googleアカウントに接続されているときに表示されます。

この問題を解決するには：

- ESET HOMEに登録した電子メールアドレスとパスワードを使用してログインするか、
- [既にESET HOMEアカウントに接続されている別のApple/Googleアカウントを使用します。](#)

例

ESET HOMEアカウントは電子メールアドレス**esetemail_1@gmail.com**によって作成され、ソーシャルアカウント**esetemail_2@gmail.com**に接続されています。

- ✓ Googleソーシャルボタンを使用してログインし、電子メールアドレス**esetemail_1@gmail.com**を使用しようとしていますが、上記のエラーメッセージが表示されます。esetemail_1@gmail.comで登録されたESET HOMEアカウントは既にGoogleソーシャルアカウント**esetemail_2@gmail.com**に接続されているため、[上記](#)のエラーメッセージが表示されました。

Googleソーシャルボタンを使用してESET HOMEに正常にログインするには、ソーシャルアカウントの**esetemail_2@gmail.com**を使用してください。

この電子メールアドレスは別のESET HOMEアカウントに既に関連付けられています。Google/Appleアカウントでログインし、アカウント設定でApple/Googleアカウントに連携してください。

このエラーメッセージは、ESET HOMEアカウントが同じ電子メールアドレスで既に作成され、正しくないソーシャルボタンを使用してログインした場合に表示されます。

この問題を解決するには：

1. [正しいソーシャルボタンを使用してApple/Google アカウントでESET HOMEアカウントにログインします\(エラーメッセージの提案に基づいて既存のボタンを選択します\)。](#)
2. 画面の右上(PCユーザー)または左メニューボタン(スマートフォンとタブレットユーザー)で、ログインしている電子メールアドレスをクリックします。
3. **アカウント**をクリックします。
4. [ソーシャルログインセクションで、ESET HOMEアカウントをGoogleまたはApple IDに連携](#)します。

例

ESET HOMEアカウントはAppleアカウント**esetemail@gmail.com**に連携しています。Googleボタンを使用してAppleアカウントにログインしようとしていますが、ESET HOMEアカウントがAppleソーシャルアカウント**esetemail@gmail.com**に連携しているため、[上記](#)のエラーメッセージが表示されました。

- ✓ ソーシャルアカウント**esetemail@gmail.com**を使用してESET HOMEに正常にログインするにはGoogleソーシャルボタンを使用してください。

ESET HOMEアカウント設定の変更

ESET HOMEアカウントを変更するには

- **ESET HOMEポータル：**画面の上部で、電子メールアドレスをクリックし、ドロップダウンメニューで**マイアカウント**を選択して、電子メール、国、および他のESET HOMEアカウント設定の言語を変更します。
- **ESET HOMEアプリケーション：**左上のメインメニューアイコンをタップし、メインメニューの上部にある**マイアカウント**を選択します。

ESET HOME地域設定の変更

アカウントの地域設定では、国、ESET HOMEが送信する電子メールの言語、タイムゾーンを変更できません。

ESET HOMEパスワードの変更

1. 電子メールアドレスの下に**パスワードの変更**をクリックします。
2. 現在のパスワードを入力します。
3. 新しいパスワードを入力します。

パスワードは10文字以上で、次の各文字を少なくとも1文字含める必要があります。



- 小文字
- 大文字
- 番号

4. **送信**をクリックします。
5. パスワードが変更されESETから電子メールが送信されます。**確認**をクリックして、新しいESET HOMEパスワードでログインします。

ESET HOMEの既定の電子メールアドレスを変更

ユーザープロファイルでPassword Managerをアクティベーション済み



ESET HOMEアカウントの電子メールアドレスを変更すると、このPassword Manager機能をアクティベーションした「自分」ユーザープロファイルに影響します。「自分」プロファイルは新しいメールアドレスで作成され、Password Manager機能をアクティベーションしている元の電子メールアドレスは、自動的に作成されたプロファイルの下に移動されます。

1. **電子メールアドレスの変更**をクリックします。
2. 新しい電子メールアドレスと現在のESET HOMEパスワードを入力します。
3. **送信**をクリックします。
4. 選択した電子メールを開きます。
5. **電子メールアドレスの変更 - ESET HOME**電子メールを開きます。
6. 確認リンクをクリックしてESET HOMEポータルに戻ります。
7. **確認**をクリックします。
8. **承諾**をクリックします。

新しい電子メールアドレスでESET HOMEアカウントにログインできます。



これらの手順により、ログイン電子メールアドレスとESET HOME電子メールを受信する電子メールアドレスが変更されます。これらの手順では、サブスクリプション登録電子メールは変更されません。サブスクリプションに関連付けられた電子メールアドレスを変更するには、[ESETテクニカルサポート](#)にお問い合わせください。

Cookie設定の変更

いつでもCookieの設定を変更できます。**Cookie設定の変更**をクリックし、Cookie設定を調整した後に**選択内容の確認**をクリックします。詳細については、[Cookieポリシー](#)を参照してください。

ESET HOMEアカウントの削除

アカウントを削除した後、以前のアカウントに関連付けられた同じ電子メールアドレスを使用して、新しいESET HOMEアカウントを作成できます。

ESET HOMEアカウントを削除するとESET製品(ESET Smart Security Premiumなど)で使用するESETサブスクリプション資格情報を削除して、製品をアクティベーションし、製品モジュールのアップデートを取得します。



ESET HOMEアカウントを削除した後は、ESET製品がデバイスにインストールされたままで、引き続き保護されます。

ESET HOMEポータルを使用して、アカウントを削除(ESET HOMEパスワードが設定されている)

1. 画面の上部で、電子メールアドレスをクリックし、ドロップダウンメニューで**マイアカウント**を選択します。
2. **アカウントの削除**をクリックする
3. **IDの確認**をクリックします。
4. 現在のESET HOMEアカウントパスワードをパスワードフィールドに入力する



二要素認証を設定した場合は、認証アプリから6桁のコードを入力し、**続行**をクリックします。

5. **アカウントの削除**をクリックする

アカウントが削除されました。

ESET HOMEポータルを使用してアカウントを削除(ESET HOMEパスワードが設定されていない)

1. 画面の上部で、電子メールアドレスをクリックし、ドロップダウンメニューで**マイアカウント**を選択します。
2. **アカウントの削除**をクリックする
3. **電子メールの送信**をクリックします。
4. 電子メールは電子メールアドレスに送信されます。電子メールのリンクをクリックし、本人であることを確認しますESET HOMEポータルに移動します。

i [二要素認証を設定](#)した場合は、認証アプリから6桁のコードを入力し、**続行**をクリックします。

5. **アカウントの削除**をクリックする

アカウントが削除されました。

ESET HOMEアプリを使用してアカウントを削除

1. 左上のメインメニューアイコンをタップし、メインメニューの下部にある**マイアカウント**を選択します。
2. 下にスクロールして、**アカウントの削除**をタップします。
3. **IDの確認**をタップします。
4. 現在のESET HOMEアカウントパスワードをパスワードフィールドに入力する

i [二要素認証を設定](#)した場合は、認証アプリから6桁のコードを入力し、**続行**をクリックします。

5. **アカウントの削除**をタップします。

アカウントが削除されました。

ログインデバイスとログイン履歴の管理

アカウントが現在ESET HOMEにログインしている場所は、**マイアカウント>セキュリティ設定>ログインデバイス**で直接確認できます。

アカウントのセキュリティを改善するには、**ログイン履歴**オプションでESET HOMEアカウントが過去に使用された日時と場所を確認できます。これでESET HOMEアカウントのアクティビティの概要を把握できます。

位置情報の精度

i ログイン位置情報はジオIP検索に基づいています。この場所が、ESET HOMEアカウントへのログインで使用されるデバイスの位置情報と一致する必要はありません。現在の位置情報は、ISPのIPアドレス登録手順に基づきます。
ログインデバイスのIPアドレスの詳細については、[FAQの章](#)を参照してください。

サブスクリプションとサブスクリプション管理

サブスクリプションがESET HOMEアカウントに接続された後、各サブスクリプションは別個に表示されます。メインビューでは、各サブスクリプションに関する基本情報が表示されます。

- サブスクリプションステータスを示すフラグ
- サブスクリプションの有効期限
- 保護されたデバイスの数

- 保護されているサーバーの数 (ESET Small Business SecurityサブスクリプションをESET HOMEアカウントに関連付けている場合)
- サブスクリプションの使用超過または有効期限切れのサブスクリプションの警告

i ESET HOME製品のサブスクリプションFAQについては、[ESETナレッジベース記事](#)を参照してください。

次のサブスクリプション管理タスクを実行できます。

- [新しいサブスクリプションの追加](#)
- [サブスクリプションから空きシートを共有する](#)
- [サブスクリプションを自動更新する](#)
- [使用超過のサブスクリプションを修正する](#)
- サブスクリプションの状態を[表示***し、有効期限切れのサブスクリプションを削除する](#)

サブスクリプションの追加

正常に[ログイン](#)した後、次の手順に従い、サブスクリプションを追加します。

ユニバーサル製品認証キー

i 複数の操作を許可するユニバーサル製品認証キー(たとえば、12か月のサブスクリプションを作成するか、間既存のサブスクリプションを18か月更新する)はhome.eset.comのサポート対象外であり、常に新規として追加されます。サポートされていない操作を使用するには、デバイスにインストールされた互換性があるESET製品を使用してください。

初めてサブスクリプションを追加する

別のサブスクリプションを追加する

1つのアカウントで複数のサブスクリプションを管理できます。新しいサブスクリプションを追加する手順は次のとおりです。

1. サブスクリプションセクションで、**すべてのサブスクリプションを表示**をクリックします。
2. 右上の+ **サブスクリプションの追加**をクリックします。
3. 空欄のフィールドに有効な**製品認証キー**を入力またはコピーして、**サブスクリプションの追加**をクリックします。

i **製品認証キー**はESETから送信された電子メールまたは購入した製品に付属しているサブスクリプションカード/ラベルに記載されています。

4. サブスクリプションがアクティブであるという通知が表示されます。[+デバイスを保護](#)できます。

サブスクリプションは正常に追加されました

サブスクリプション登録電子メールアドレスとESET HOMEアカウント登録電子メールアドレスと同じときにはESET HOMEアカウントの作成中にサブスクリプションが自動的に関連付けられます。

サブスクリプションをESET HOMEに追加できない

- 「このサブスクリプションは既に別のアカウントで管理されています。」というエラーメッセージが表示されました。同じサブスクリプションを複数のESET HOMEアカウントに追加することはできません。
- [お使いのサブスクリプションは海賊版である可能性があります](#) [ESETテクニカルサポート](#)にお問い合わせください。

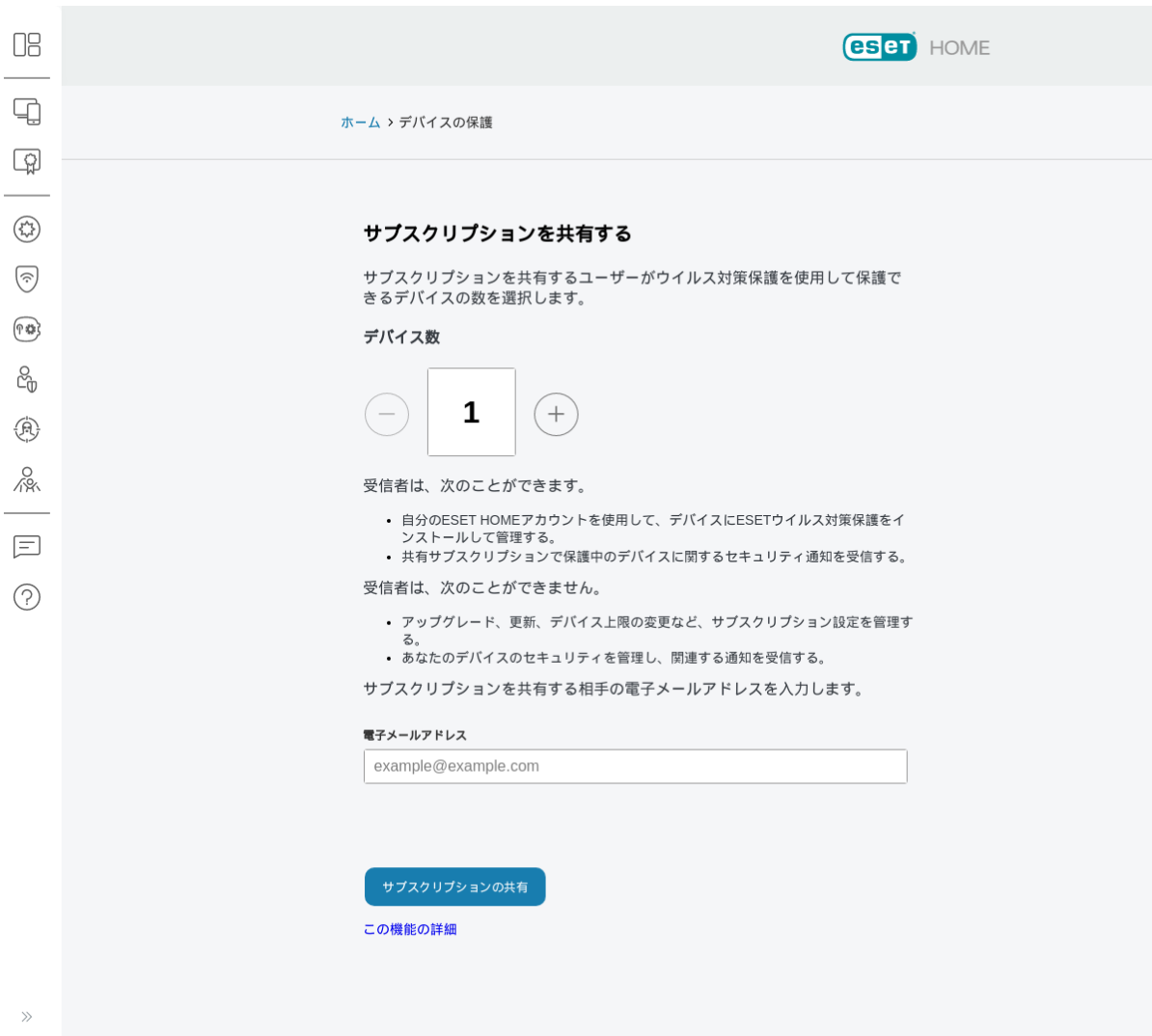
サブスクリプションの共有



この機能では、サブスクリプション(ソフトウェアを使用する権利)を他のユーザーと共有できません。商業目的でサブスクリプションを再販または共有する権利とは見なされないものとします。

サブスクリプションが使用超過でなく、利用可能なサブスクリプション単位がある場合は、他のユーザーと共有できます。

1. ESET HOMEアカウントに関連付けられたサブスクリプションのリストで、共有するサブスクリプションを選択し、**サブスクリプションを開く**をクリックします。
2. **サブスクリプションの共有**をクリックします。
3. 共有するデバイス数を選択します。保護するデバイスとして選択できるデバイスの数は、サブスクリプションの空き単位の数と同じです。
4. サブスクリプション単位を共有するユーザーの電子メールアドレスを入力します。




5. サブスクリプションの共有をクリックして確定します。

6. **承諾しました**をクリックします。電子メールアドレス所有者は、サブスクリプション招待とデバイスでの保護のアクティベーションに関する詳細が記載された電子メールを受信します。このプロセスにはESET HOMEアカウントへのログインまたはサインインが必要です。

7. [ESET HOMEアカウントに正常にログイン](#)した後、受信者は招待を承諾または辞退できます。招待が承諾されると、共有サブスクリプションのタイプに応じて、受信者はアクティベーションされた製品を直接デバイスにダウンロードするかESET HOMEアカウントからスタンドアロンまたはライブインストーラーを使用してインストールされた製品をアクティベーションできます。適切な数の共有シートが割り当てられた共有サブスクリプションは、受信者のサブスクリプションのリストに表示されます。


段階的で視覚的なガイドについては[ESETナレッジベース記事](#)をご覧ください。(一部の言語では使用できません。)

i

共有サブスクリプション単位は、サブスクリプション詳細ページの[デバイス概要](#)リストに表示されます。ユーザーの電子メールアドレスと現在のステータスは、すべての共有サブスクリプション単位を表します。招待をキャンセルするか、サブスクリプション単位の共有を停止するには、3点メニューアイコン  をクリックして、**取り消し**を選択します。

サブスクリプションの使用状況

サブスクリプションの使用状況にはESETサブスクリプションに関する情報が表示されます。この情報を使用して、空きサブスクリプション単位を使用するか、既存のライセンス単位の使用を最適化できます。このセクションでは、サブスクリプションを使用して、デバイスの名前変更、削除、または特定ができます。空きサブスクリプションシートと共有サブスクリプションシートも表示されます。

 ESET HOMEアカウントに保護されたmacOSデバイスが接続済みデバイスとして表示されない場合でも、サブスクリプションの使用状況には、使用済みのサブスクリプション単位として反映されます。

[ESET HOME](#)アカウントにログインした後、サブスクリプションセクションで、すべてのサブスクリプションを表示>サブスクリプションを開くをクリックします。画面は2つのセクションに分かれています。

デバイスの概要


次のカテゴリのすべてのサブスクリプション単位が表示されます。

- **ESET HOMEアカウントに接続されたデバイス** - サブスクリプションで保護されESET HOMEアカウントに接続されたデバイス/サーバー。家族または友達がこのカテゴリの下に表示されるデバイスを使用している場合は、ESET HOMEアカウントからそのデバイスを管理できます。[ESET HOMEアカウントの作成](#)と[デバイスの追加](#)に関するマニュアルを参照してください。
- **サブスクリプションで保護されているその他のデバイス** - サブスクリプションで保護されているデバイスやサーバーのうち、まだESET HOMEアカウントに接続されていないデバイスやサーバー。[デバイスをESET HOMEアカウントに接続する](#)ためのガイドを参照してください。
- **サブスクリプションを共有しているユーザー** - サブスクリプションで保護され、他のユーザーESET HOMEのアカウントに接続されているデバイス。このカテゴリでは、すべての[共有サブスクリプションシート](#)がユーザーの電子メールアドレスと招待ステータスによって表されます。次のようになります。


a)招待送信済み - 招待電子メールを他のユーザーに送信し、承認を待っています。


b)招待承諾済み - 友達が招待を承諾しましたESET製品はまだデバイスでアクティベーションされていません。


c)アクティベーション済み - 友達が承諾し、ESET製品をアクティベーションしました。

 利用可能なサブスクリプション数が5単位で、サブスクリプション2単位を他のユーザーと共有する場合は、招待を送信できます。相手が招待を承諾すると、1つの製品が共有された保護でアクティベーションされます。招待のステータスが**アクティベーション済み**および**招待承諾済み**と表示されます。**サブスクリプション使用状況**は、共有された2単位を反映して**(2/5)**となります。ただし、**使用状況**はアクティベーションされたデバイスのみを考慮します。

サブスクリプションによって保護されたデバイス/サーバーデバイスには、次のセキュリティステータスのいずれかが表示されます。

 **保護中** - デバイス/サーバーデバイスは保護され、定期的に更新されます。指定されたデバイスのサブスクリプションは有効期限切れではありません。

 **注意が必要です** - ESET製品は動作していますが、デバイス/サーバーデバイスに問題があります。

 **セキュリティアラート** - ESET製品は正常に動作していません。

非アクティブな期間(週、月、年) - 次のときには、デバイスでこのステータスが表示されます。

- デバイスが長期間ESET HOMEアカウントと通信していません(破損したデバイスなど)。このデバイスを使用しなくなった場合は、[削除](#)して、サブスクリプションシートを解放してください。
- Androidデバイスで強制停止またはクリーニングアプリケーションを使用している。この場合、正常に動作し、問題を解決するためにAndroidデバイスで手動でESET Mobile Securityアプリケーションを開いてください。



Androidデバイスがアクティブで、正しく保護されていることを保証するためにESET Mobile Securityアプリケーションを、強制停止/駆除アプリケーションの「無視」リストまたはホワイトリストに追加することをお勧めします。特定のアプリを強制停止プロセスから除外すると、アプリケーションで別の方法が使用される場合があります。

サブスクリプションの概要

一般情報 – このセクションには、サブスクリプション名、サブスクリプションのステータス、使用状況、サブスクリプションモデル、有効期限、サポートID、製品認証キーなど、サブスクリプションに関するすべての情報が表示されます。

アクティベーションされた保護 – このセクションには、[セキュリティ機能](#)など、サブスクリプション数に基づくデバイス/サーバーの使用状況に関する情報が表示されます。この数字は、購入したデバイス/サーバーデバイスのうち、アクティベーションされたデバイスを表示します。

The screenshot displays the ESET HOME web interface. At the top, there's a navigation bar with the ESET logo and 'HOME' text. Below it, a breadcrumb trail shows 'ホーム > サブスクリプション > ESET Small Business Security'. The main content area is divided into several sections:

- Subscription Card:** A teal card showing 'ESET Small Business Security' with a status of '正常' (Normal) and an expiration date of '03/06/2025'.
- Notifications:** A blue box indicating '通知: 5' (Notifications: 5).
- Subscription Management:** A section titled 'サブスクリプションの管理' with a sub-section '概要' (Overview). It lists details for 'ESET Small Business Security':
 - Status: ✓ アクティブ (Active)
 - 有効期間 (Valid Period): ✓ 通常 (Normal)
 - 使用状況 (Usage Status): ✓ 通常 (Normal)
 - モデル (Model): 正規 (Regular)
 - 有効期限 (Expiration Date): 03/06/2025
 - ライセンスID (License ID): [Redacted]
 - 製品認証キー (Product Activation Key): [Redacted]
- Activated Protection:** A section titled 'アクティベーションされた保護' showing usage for various features:
 - Windows, macOS, Android用のウイルス対策 (Virus Protection): 使用済み: 1 / 1
 - Windows Server用のウイルス対策 (Virus Protection for Windows Server): 使用済み: 1 / 1
 - VPN: 使用済み: 0 / 10
 - Password Manager: 使用済み: 0 / 1
- Device Overview:** A section titled 'デバイスの概要' showing connected devices:
 - ESBS W10: 保護は最新の状態です (Protection is up to date). Status: ✓ 保護中 (Protected).
 - server 2019: 保護は最新の状態です (Protection is up to date). Status: ✓ 保護中 (Protected).

サブスクリプションの自動更新

自動更新によりESETサブスクリプションと製品が常に最新の状態で、継続的な保護が提供されることが保証されます。ESET eStoreで自動更新をオフにするか、サブスクリプション販売店に問い合わせて無効化しないかぎり、自動更新は自動的に有効です。サブスクリプション販売代理店が自動更新オプションを提供している場合は、次の手順で管理してください。

サブスクリプションの更新

- i 更新条件は国によって異なる場合があります。詳細なサブスクリプション更新手順については、次の[ESETナレッジベース記事](#)(言語によっては提供されていない場合があります)を参照してください。

自動更新設定を表示または変更する

1. ESET HOMEアカウントにログインします。
2. サブスクリプションセクションで、すべてのサブスクリプションを表示をクリックします。
3. サブスクリプションを選択し、サブスクリプションを開くをクリックします。
4. 一般情報 > タイプで、自動更新をクリックします。[ESET eStore](#)が表示され、自動更新を管理できます。

! 特定のESETサブスクリプションの自動更新設定を管理するには、サブスクリプション販売代理店に問い合わせる必要があります。

Google Playサブスクリプションを管理する

i タイプがサブスクリプションの場合にのみ、以下の手順に従います。

1. ESET HOMEアカウントにログインします。
2. サブスクリプションセクションで、すべてのサブスクリプションを表示をクリックします。
3. サブスクリプションを選択し、サブスクリプションを開くをクリックします。
4. 一般情報>サブスクリプションモデルで、サブスクリプション解除/サブスクリプション再登録をクリックするとESETからGoogle Playストアのサブスクリプションに移動します。

サブスクリプションの使用超過/漏洩したサブスクリプションの場合の手順

サブスクリプションをESET HOMEアカウントに追加しましたが、使用超過と表示されています。

このサブスクリプションでインストールされているESET製品の数サブスクリプションで許可された数を上回っている場合、このサブスクリプションは「使用超過」に設定されます。この場合、[一部のデバイスをアクティベーション解除してサブスクリプションシートを解放](#)するまでは、別のデバイスでサブスクリプションを使用できません。これが新しく購入されたサブスクリプションの場合は、詳細については、[ナレッジベース記事](#)を参照してください。

サブスクリプションをESET HOMEアカウントに追加しましたが、漏洩と表示されています。


サブスクリプションが漏洩した場合は、海賊版ソフトウェアや偽造ソフトウェアの被害に遭っている可能性があります。[サブスクリプションからデバイスを削除し、製品認証キーをリセット](#)して、販売店から返金を求め、[認定ESETリセラー](#)からサブスクリプションを購入してください。

サブスクリプションのステータスと削除

以下は、使用可能なサブスクリプションステータスです。場合によってはESET HOMEアカウントからサブスクリプションを削除することができます。この情報については、[削除可列](#)をご覧ください。

サブスクリプションのステータス	挙動や特徴	リムーバル*
✓ アクティブ	サブスクリプションは有効です。その他のデバイスにはESET保護をインストールできる空きサブスクリプション単位がある可能性があります。	✗
⚠ まもなく有効期限切れ	サブスクリプションの有効期限が近づいていますESETストアで サブスクリプションを更新 してください。	✗
⚠ 有効期限切れ	このサブスクリプションでアクティベーションされたESET製品は、サブスクリプションの有効期限が切れた後にアップデートできません。	✓

サブスクリプションのステータス	挙動や特徴	リムーバル*
⚠ 使用超過	このサブスクリプションは、許可されているよりも多くのデバイスで使用されています。このサブスクリプションを使用して他のESET製品をアクティベーションすることはできません。使用しない デバイスをアクティベーション解除して、サブスクリプションシートを解放 してください。	✕
⚠ 漏洩	サブスクリプションが 漏洩 した場合は、詐欺の被害に遭っている可能性があります。	✓
一時停止	一時停止されたサブスクリプションでアクティベーションされたESET製品はアップデートを受信しません。	✕
⚠ キャンセル	サブスクリプションはキャンセルされ、すべての接続された製品がアクティベーション解除されます。	✓
検証待機中	確認リンクはサブスクリプション所有者の電子メールアドレスに送信されました。電子メールのリンクをクリックし、サブスクリプション所有権を確認します。	✓

* サブスクリプションのメインビューからサブスクリプションを削除するには、そのサブスクリプションの3点メニューアイコン  をクリックし、**サブスクリプションの削除** を選択します。

期限切れのサブスクリプション

⚠ ステータスが**有効期限切れ**のサブスクリプションは、サブスクリプションの種類に応じて、6か月後または12か月後にESET HOMEアカウントから自動的に削除されます。

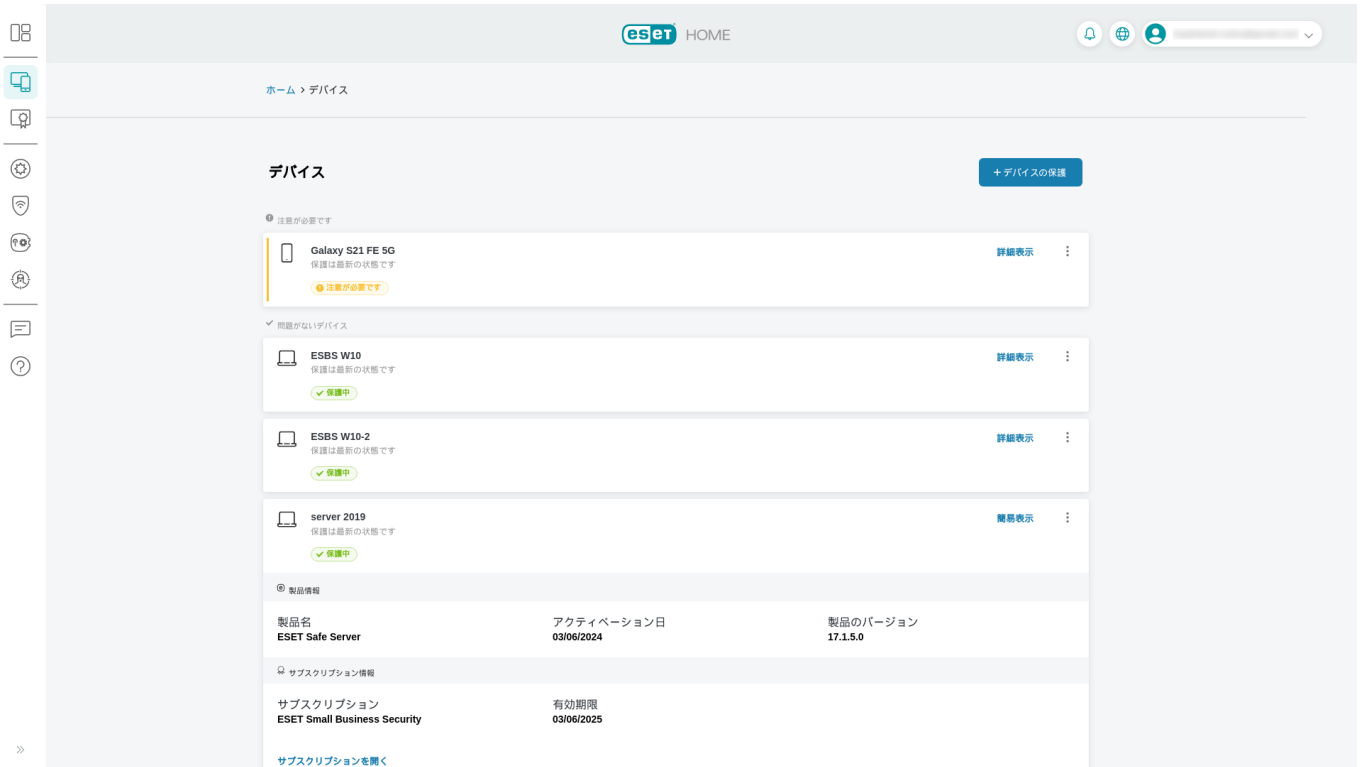
デバイス

新しいデバイス/サーバーデバイスの追加

新しいデバイスを保護するには、デバイスセクションで**+デバイスを保護**をクリックするか、[デバイスの追加](#)を参照してください。

デバイス/サーバーデバイス情報の表示

このウィンドウには、[ESET HOMEアカウントに接続されている](#)デバイスの一覧と、接続先の候補となるデバイスが表示されます。接続済みのデバイスは、それぞれ名前、アプリケーションステータス、製品のアップデートに関する情報が表示されます。



注意が必要です

このリストのデバイス/サーバーには、警告または重要な通知があります。

問題がないデバイス

このリストでは、正しく機能しているデバイス/サーバーを確認できます。保護されたデバイスで実行中のセキュリティ製品がアクティベーションされ、最新バージョンにアップデートされます。オペレーティングシステムはアップデートされます。モバイルデバイスの場合は、不足として報告されません。

接続候補のデバイス

このリストのデバイス/サーバーはサブスクリプションで保護されていますがESET HOMEアカウントに接続されていません。このカテゴリのデバイス/サーバーは、名前で表示されます。セキュリティを管理および表示するには、接続するデバイスをクリックし、**デバイスに通知**をクリックします。

デバイス詳細

詳細を表示をクリックすると、デバイス詳細情報が表示されます。

- **通知** – デバイス/サーバーにインストールされたESET製品に関する問題を表示します。特定の通知をクリックすると、詳細情報が表示されます。この情報は、デバイス/サーバーに警告または重大な通知がある場合にのみ表示されます。
- **製品情報** – インストールされた製品とアクティベーション日に関する情報を表示します。
- **サブスクリプション情報** – アクティベーションで使用されたサブスクリプションと、次回の請求日に関する情報が表示されます。詳細については、[サブスクリプションを開く](#)をクリックしてください。
- **Anti-Theft - Anti-Theftを開く**をクリックして、[ESET アンチセフトで保護されたデバイス](#)を管理します。この機能は、デバイスがESET アンチセフトで保護されている場合にのみ使用できます。

- 製品のバージョン

デバイス/サーバーデバイスセキュリティステータスについては、[サブスクリプション使用状況](#)をお読みください。

デバイスの追加

有効なESETサブスクリプションでデバイスをアクティベーションする場合、デバイスをESET HOMEに接続し、すべての機能を表示して管理します。ESET HOME管理ポータルまたはモバイルアプリでは、Anti-Theft設定の編集(ESET Internet Security、ESET Smart Security Premium、ESET Mobile Securityの機能)、別のサブスクリプションの追加、製品のデバイスへのダウンロード、製品セキュリティステータスの確認、または電子メールでのサブスクリプションの共有ができます。

デバイスを接続するには3つの方法があります：

- [デバイスに既にESET製品をインストールしています](#)
- [接続要求を送信して、デバイスをESET HOMEに接続する](#)
- [QRコードをデバイスをESET HOMEに接続する](#)

⚠ デバイス名に次の文字は使用できません。

` ~ / @ # \$ % \ ^ & * () = + \ { } [] | ; : . ' < > ?


新しいデバイスの保護

I. ESET HOMEからESET製品をダウンロード

使用できるESET製品が分からない場合は、ESET HOMEポータルから直接新しいデバイスに保護をダウンロードしてください。ダウンロードしたインストーラーは、ご使用のサブスクリプションで使用できる最も機能豊富なESET製品を提供します。

1. [ESET HOMEアカウントにログインします](#)
 2. メイン画面のデバイスセクションの下で**すべてのデバイスを表示**をクリックします。
 3. **+デバイスを保護**をクリックします。現在のデバイスを保護するか、以下の手順に従って保護を他のデバイスに送信できます。
- ✓ [このデバイスを保護](#) ESET製品インストーラーを現在使用しているデバイスにダウンロードし、ESET製品をアクティベーションします。

4. 現在のデバイスでインストーラーをダウンロードするには、このデバイスを保護をクリックして、**続行**をクリックします。サブスクリプション単位が使用できない場合は、[一部のデバイスを削除](#)するか、[新しいサブスクリプションを購入](#)するか、既存のサブスクリプション容量を増やしてください。

 サブスクリプションが有効期限切れになった場合は、**更新**をクリックするか、**更新されたサブスクリプションまたは新しいライセンスをお持ちの場合**をクリックして新しいサブスクリプションを追加します。

5. 対象となるサブスクリプションが複数ある場合は、サブスクリプションを選択し、**続行**をクリックします。[Windows Server](#)デバイスを保護するには、[ここをクリックしてWindows Serverのウイルス対策保護をダウンロードするにはここをクリックしてください](#)をクリックし、画面の指示に従います。

台のAndroidデバイスを保護します。


 Androidデバイスを保護する場合は、ESET Mobile Securityの最新バージョンをダウンロードするためにGoogle Playストアにリダイレクトするか、すでにダウンロードしている場合はESET Mobile Securityアプリケーションに直接リダイレクトします。ESET Mobile Securityのアクティベーション後、デバイスは[ESET HOMEアカウントに自動的に接続されます](#)。

Androidデバイスの場合、無料版のESET Mobile Securityも利用できます。

6. **ウイルス対策保護をダウンロード**をクリックします。

7. **承諾**をクリックします。

8. ダウンロードしたインストーラーを開き、ESET製品をアクティベーションします。

 **別のデバイスを保護**—ESET製品インストーラーを送信し、他のデバイスで保護をアクティベーションします。

4. **ダウンロードリンクを電子メールで送信する**を選択し、**続行**をクリックします。


5. サブスクリプションを選択して、**続行**をクリックします。サブスクリプションが1つの場合は、自動的に選択されます。

6. オペレーティングシステムを選択し、**続行**をクリックします。保護するオペレーティングシステムのESET製品が表示されます。

- **Windows**—ESET Windowsホーム製品インストールのガイドを提供するインストーラーを送信します。

- **macOS** - ESET Cyber Securityを選択し、言語を選択して保護を送信します。

- **Android**—ダウンロードリンクをAndroidデバイスに送信します。このリンクは、ESET Mobile Securityの最新バージョンをダウンロードするためにGoogle Playにリダイレクトするか、すでにダウンロードしている場合はESET Mobile Securityアプリに直接リダイレクトします。

 任意のオペレーティングシステムを保護する資格があるサブスクリプションをお持ちではない場合は、新しいサブスクリプションを購入して、[ESET HOMEアカウントに追加](#)してください。Androidデバイスを保護する場合は、無料のESET Mobile Securityバージョンも利用できます。

- **Windows Server** - Windows ServerデバイスのESET Safe Server保護を送信します。この保護は、[ESET Small Business Securityサブスクリプションティア](#)の一部です。

7. 保護するデバイスでアクセスできる電子メールアドレスを入力します。

8. **ウイルス対策保護の送信**をクリックすると、入力したアドレスに電子メールが送信されます。

9. 受信した電子メールからインストーラーをダウンロードし、インストーラーの手順に従ってESET製品をアクティベーションします。

10. **承諾**をクリックします。

11. Windows、Windows ServerまたはmacOSデバイスでESET製品が正常にアクティベーションされたら、[デバイスをESET HOMEアカウントに接続](#)します。ESET Mobile Securityのアクティベーション後、[デバイスは自動的にESET HOMEアカウントに接続されます](#)。

II. ESET製品をインストールし、ESET HOMEアカウントに接続します

[購入したサブスクリプション](#)に基づいて利用可能なESET製品のインストール手順に従います。

- [ESET NOD32 Antivirus](#)
- [ESET Internet Security](#)
- [ESET Smart Security Premium](#)
- [ESET Mobile Security](#)
- [ESET Cyber Security](#)
- [ESET Cyber Security Pro](#)

ESET製品は既に既存のデバイスにインストールされています

i ESET製品とバージョンが[ESET HOMEでサポートされている](#)ことを確認してください。

以前にESET HOMEアカウントに関連付けられたすべてのデバイス(アカウントに追加されたサブスクリプションによってアクティベーションされた製品で保護)を接続し、保護を復元します。この場合、以前に接続されたデバイスのリストからデバイスを選択し、ESET製品を開いて手動で接続します。

- [ESET NOD32 Antivirus](#)
- [ESET Internet Security](#)
- [ESET Smart Security Premium](#)
- [ESET Mobile Security](#)

✓ [提案されたデバイスをESET HOMEに接続](#)

1. [ESET HOME Webポータル](#)にアクセスします。
2. [ESET HOMEアカウントにログインします](#)🔗
3. ホーム画面で[デバイスセクション](#)を開きます。
4. [接続候補のデバイス](#)にスクロールし、該当するデバイスを選択します。
5. [デバイスに通知](#)をクリックします🔗ESET HOMEによって接続を確認するように通知が送信されます。
6. ESETセキュリティ製品に表示される通知ウィンドウで[許可](#)をクリックして、デバイスのセキュリティを管理および表示します。
デバイスは正常にESET HOMEアカウントに接続されました。

i この手順はESET HOMEモバイルアプリケーションにも適用されます。

✓ [QRコードをデバイスでESET HOMEに接続する](#)

1. ESET HOME製品のメインプログラムウィンドウを開きます。
 2. 左側のメインメニューオプションで、**ESET HOME アカウント** > **ESET HOMEに接続**をクリックします。
 3. **QRコードのスキャン**オプションを選択します。
 4. モバイルデバイスでESET HOMEアプリにログインします。
 5. メインメニューアイコン☰をタップします。
 6. **QRコードのスキャン**をタップします。
 7. **デバイスの接続**をタップします。
 8. ESET HOME製品のプログラムウィンドウで、デバイス名を設定し、**続行**をクリックします。
 9. **完了**をクリックします。
- デバイスはESET HOMEアカウントに接続されました。


デバイスの削除

サブスクリプションの上限に達したか、サブスクリプションが使用超過になった場合は、使用していないデバイスをアクティベーション解除して、サブスクリプションシートを解放できます。デバイスにインストールされているESET製品はアンインストールされませんが、アクティベーション解除され、デバイスの保護が失われます。デバイスを切断した後は、ESET HOMEアカウントでセキュリティを管理、表示できません。

サブスクリプションからデバイスを削除し、製品認証キーをリセットする

サブスクリプションが漏洩している場合は、デバイスを削除して、**製品認証キー**をリセットすることをお勧めします。

1. [ESET HOME Webポータル](#)にログインします。
2. サブスクリプションセクションで、**すべてのサブスクリプションを表示**をクリックします。
3. 該当するサブスクリプションの横の3点⋮アイコン > **デバイスの削除**をクリックします。
4. 該当するデバイスを選択するか、**すべて選択**チェックボックスをオンにします。


 画面に表示されるデバイスの一部を認識しない場合は、**製品認証キーのリセット**チェックボックスをオンにします。

5. **デバイスの削除**をクリックします。
6. 選択したデバイスは削除されます。ESET製品のアクティベーション解除が完了するには最大6時間かかる場合があります。**完了**をクリックすると、新しい**製品認証キー**が電子メールアドレスに送信され、画面に表示されます。
7. 新しい**製品認証キー**またはESET HOMEアカウント資格情報を使用して、[すべての合法的なデバイスを再アクティベーション](#)します。

 漏洩を確実に防止するために、home.eset.comへのログインに使用した**ESET HOMEパスワード**を**変更**することをお勧めします。またESET HOMEアカウントのセキュリティを強化するために**二要素認証**をアクティベーションすることをお勧めします。


デバイスの切断/保護解除とアクティベーション解除

ESET HOMEの特定のサブスクリプションのデバイス


1. ESET HOME Webポータルで、サブスクリプションセクションのすべてのサブスクリプションを表示をクリックします。
2. デバイスを削除するサブスクリプションを選択します。サブスクリプションを開くをクリックしてアクセスします。
3. 削除するデバイスの横の3点  アイコンをクリックします。
4. サブスクリプション単位のカテゴリに基づいて、次のようになります。
 - a) ESET HOMEアカウントに接続されたデバイスカテゴリで、デバイスの切断をクリックします。
 - b) サブスクリプションで保護されている他のデバイスカテゴリで、デバイスの保護解除をクリックします。
5. アラートウィンドウでデバイスの切断/デバイスの保護を解除をクリックして決定を確定します。


デバイスのESET製品はアクティベーション解除されますが、アンインストールされません。デバイスは保護されなくなります。

ESET HOMEのデバイス

1. ESET HOME Webポータルで、すべてのデバイスを表示をクリックします。
2. 切断するデバイスの横の3点  アイコンをクリックします。
3. 切断をクリックします。
4. アラートウィンドウでデバイスの切断をクリックして決定を確定します。

アプリケーションのESET HOME

1. ESET HOMEアプリにログインします。
2. ホーム画面のデバイスをタップし、すべてのデバイスのリストを開きます。
3. 3点メニュー  ボタンをタップします。
4. 切断 > デバイスの切断をタップします。

 解放された保護を別のデバイスで使用するには、少し時間がかかる場合があります。

デバイスをアクティベーション解除せずに切断する

デバイスにインストールされているESET製品は切断されますが、アンインストールされません。デバイスは引き続き保護されます。

ESET HOME

デバイスのESET製品を使用してESET HOMEアカウントからログアウトします。ESET製品は引き続きアクティベーションされます。

ESET製品のエSET HOME

1. ESET HOME製品のメインプログラムウィンドウを開きます。
2. 右上にあるESET HOME > **ESET HOMEから切断**をクリックします。
3. **切断**をクリックします。

ESET アンチセフト

自宅から職場への毎日の通勤や他の公共の場所への外出時には、パーソナルデバイスは常に紛失や盗難のリスクにさらされています。ESET アンチセフトでは、デバイスの紛失・盗難の際、デバイスの使用を監視したりIPアドレスを使用して紛失中のデバイスを追跡したりできるので、デバイスの回収と個人データの保護に役立ちます。

ESET アンチセフトは、ESET Smart Security Premium、ESET Internet SecurityおよびESET Mobile Securityで導入された機能で、デバイスの紛失・盗難の場合にユーザーレベルでセキュリティを強化します。

IPアドレスによる位置検出、Webカメラによる写真撮影、ユーザーアカウント保護、デバイス監視を備えているESET アンチセフトは紛失・盗難にあったコンピュータやデバイスが、今どこに有るかを調べる際に、個人ユーザーおよび法執行機関を支援します。ESET アンチセフトを使用すると、コンピュータやデバイスでどのようなアクティビティが行われているかを把握できるので、追跡が容易になります。

i Anti-Theftと通話フィルター機能は、通話、メッセージング、モバイルデータをサポートしないタブレットでは使用できません。

Windowsアカウントがパスワードで保護されていない

Windowsユーザーアカウントがパスワードによって保護されていません。1つ以上のユーザーアカウントがパスワードで保護されていない場合は、この最適化警告が表示されます。コンピューターのすべてのユーザー(架空アカウントを除く)のパスワードを作成すると、この問題が解決されます。

i パスワードを設定した後は、コンピュータにログインするたびに、パスワードを入力する必要があります。

Windows 11/10


1. [スタート] > [設定] > [アカウント] > [サインイン] オプションをクリックして、ユーザーアカウントを開きます。
2. パスワード > 追加をクリックします。
3. 新しいパスワード、パスワードの再入力、パスワード、およびパスワードのヒントフィールドを入力します。
4. [次へ]をクリックします。
5. 完了をクリックします。

Windows 8.1 / 8

1. キーボードの**Ctrl + Alt + Delete**を押します。
2. **[パスワードの変更]**をクリックします。
3. **[古いパスワード]**フィールドを空欄にします。
4. **[新しいパスワード]**フィールドと**[パスワードの確認]**フィールドにパスワードを入力して、**[Enter]**を押します。

別のアカウントのパスワードを作成する場合は、次の手順に従います。

- a) マウスを使用して、デスクトップの右上端を参照し、**[設定] > [コントロールパネル] > [ユーザーアカウントとファミリーセキュリティ] > [ユーザーアカウント] > [別のアカウントの管理]**をクリックします。
- b) 変更するユーザーを変更します。
- c) **[パスワードの作成]**をクリックします。

 上記の手順を完了するには、管理者ユーザーアカウントが必要です。

詳細な指示および情報については、[Windowsのパスワード:FAQ](#)

Windows 7 または Windows Vista

1. **[スタート] > [コントロール パネル] > [ユーザー アカウントと家族のための安全設定] > [ユーザーアカウント]**をクリックしてユーザーアカウントを開きます。
2. **[パスワードの作成]**をクリックします。
3. パスワードを**[新しいパスワード]**および**[新しいパスワードの確認]**フィールドに入力します。
4. パスワードのヒントを使用する場合は、**[パスワードのヒント]**ボックスにヒントを入力します。
5. **[パスワードの作成]**をクリックします。

詳細な説明については、次のマイクロソフトサポート技術情報の記事を参照することもできます。

- [コンピュータをパスワードで保護する](#)
- [パスワードのヒントを作成または変更する](#)

Windows XP

1. **[スタート] > [コントロール パネル]**をクリックします。
2. **[ユーザー アカウント]**をダブルクリックします。
3. **[ユーザー]**タブで、新しいパスワードを作成する対象のユーザーの名前をクリックし、**[パスワードのリセット]**をクリックします。
4. **[新しいパスワード]**および**[新しいパスワードの確認]**フィールドに、使用するパスワードを入力し、

[OK]をクリックします。

架空アカウントの問題

架空アカウントに関連する通知メッセージは、状況によって異なります。

- セキュリティのヒント: “架空Windowsアカウント”をセットアップする
- 項目: “架空Windowsアカウント”が必要です

架空アカウントが作成されると、デバイスが紛失中に設定されている場合ESET アンチセフトによって、アクティブなユーザーアカウントへのアクセスが遮断され、機密データが保護されます。この時、デバイスにアクセスを試みるユーザーは架空アカウントのみを使用できます。架空アカウントは権限が制限されたゲストアカウントです。このアカウントは、デバイスの紛失状態が解除されるまで、既定のシステムアカウントとして使用され、他のユーザーアカウントにログインしたり、ユーザーデータにアクセスしたりできなくなります。このように架空アカウントは、紛失・盗難にあったコンピューターの場所と使用状況を監視することでESET アンチセフトがコンピューターを見つけることを支援します。

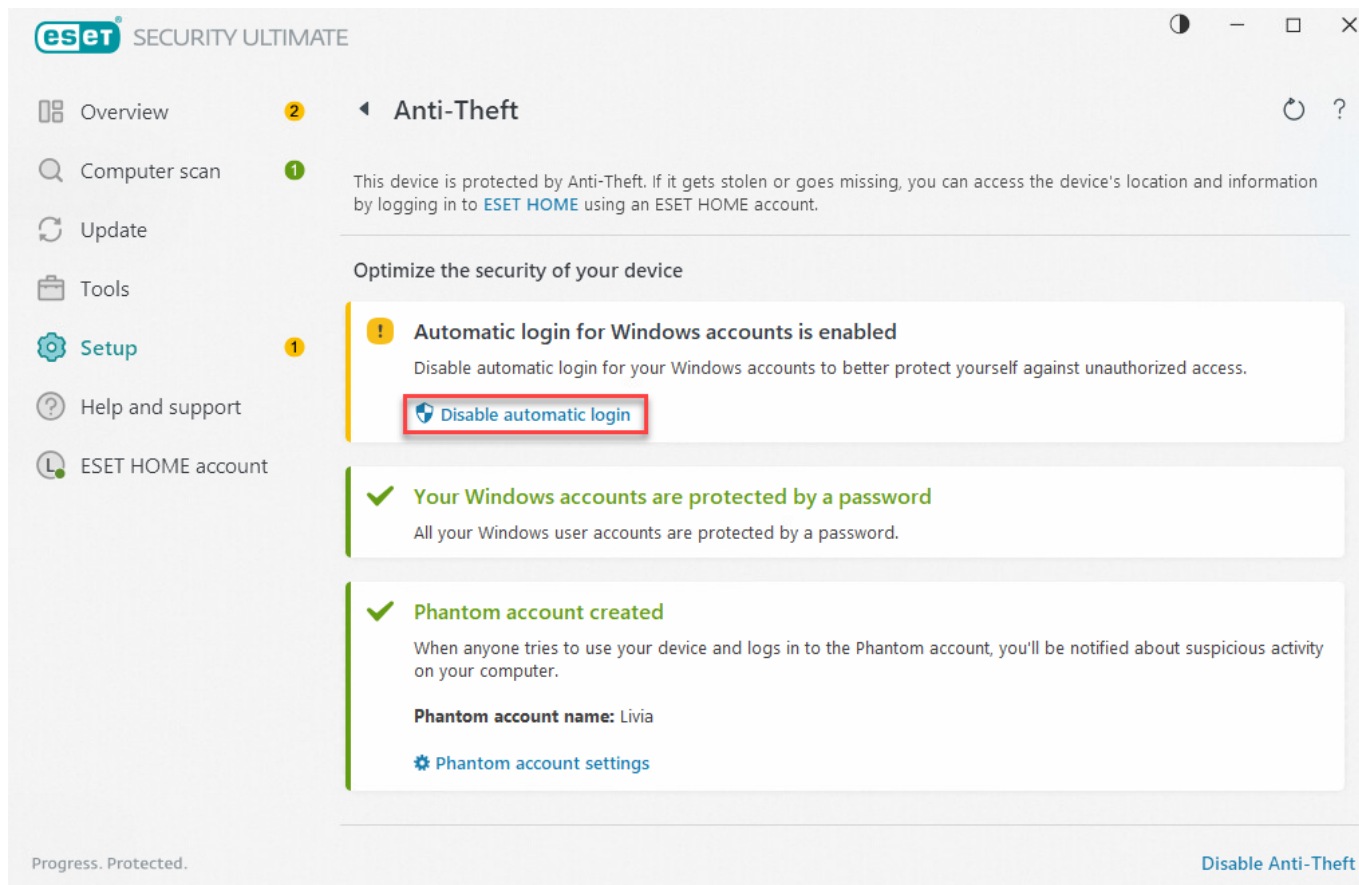


コンピューターが通常状態の時に、架空アカウントにログインにすると、誰かがこのアカウントにログインするたびに、コンピューターで不審なアクティビティが発生したという通知が電子メールで送信されます。この通知を受け取ったら、コンピューターを紛失中に設定すべきかどうかを判断してください。

今すぐ架空アカウントを有効にできますESET アンチセフト Webインターフェースの[\[設定\]](#)タブで**架空アカウントの状態**の横にある**作成**をクリックします。

リアルアカウントの自動ログインが有効になっている

リアルアカウントで自動ログインが有効になっている場合、このアカウントに誰でもログインができてしまいます。この問題を解決するには、**自動ログインを無効にする**をクリックします。



異なるバージョンのWindowsで手動で自動ログオンを無効にするには、次のMicrosoftナレッジベース記事を参照してください。

- [Windows 7/Windows 8およびWindows 10で自動ログオンを有効または無効にする](#)
- [WindowsレジストリのAutoAdminLogonキー](#)

コンピューターが通常状態の時に、架空アカウントにログインにすると、誰かがこのアカウントにログインするたびに、コンピューターで不審なアクティビティが発生したという通知が電子メールで送信されます。この通知を受け取ったら、コンピューターを紛失中に設定すべきかどうかを判断してください。

❗ 自動ログオン機能の無効化に関連する手順だけに従ってください。

架空アカウントの自動ログインが有効になっている

デバイスの架空アカウントでは自動ログインが有効にされています。デバイスが通常状態にある場合、ユーザーのリアルアカウントへのアクセスに問題が発生したり、コンピュータの紛失状態に関する誤検出を送信したりする可能性があるため、自動ログインを使うことは推奨されません。


自動ログインを無効にするには、[自動ログインを無効にする]をクリックするか、[上のトピック](#)で説明するマイクロソフトナレッジベースの記事を参照してください。

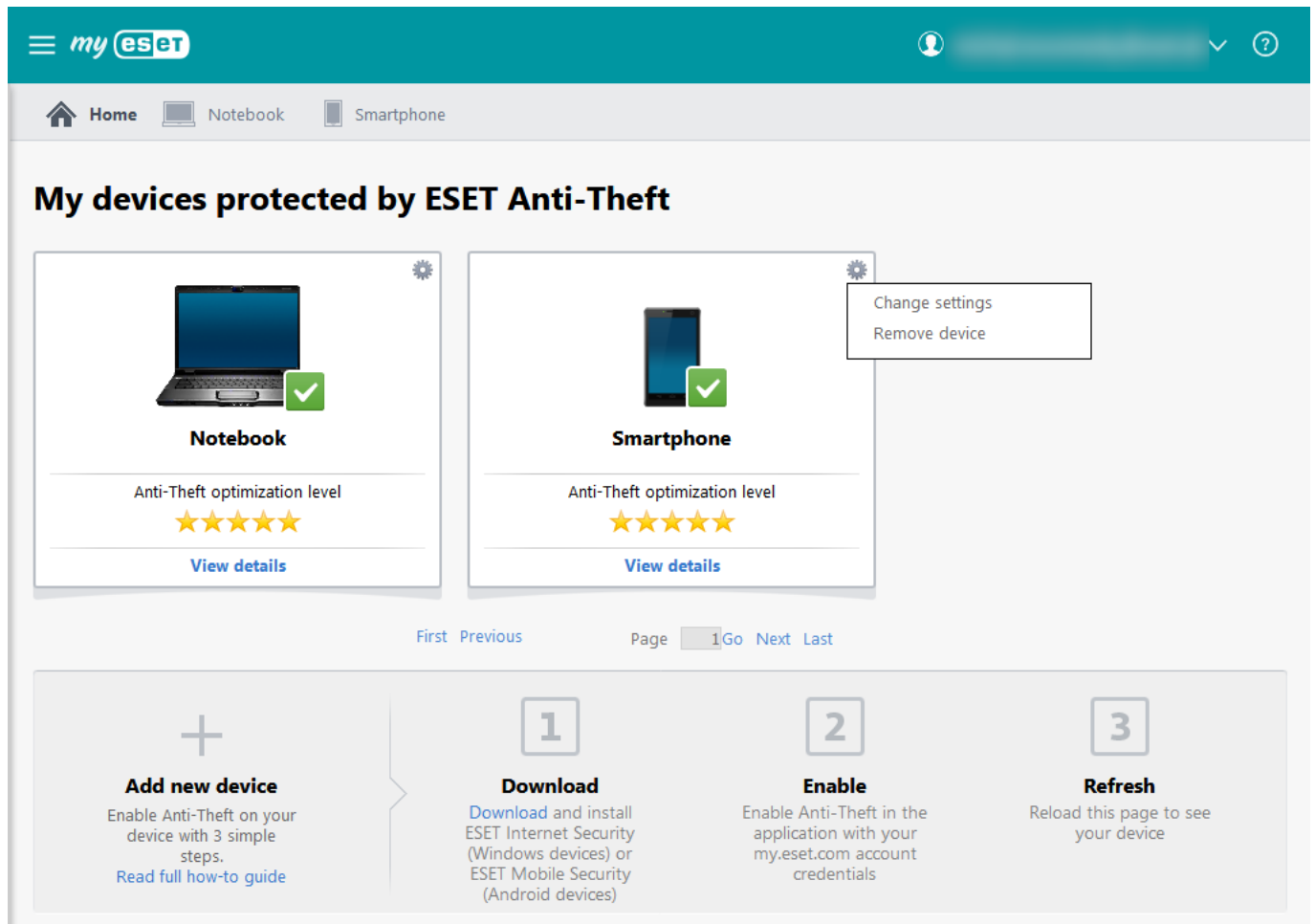
ESET アンチセフトによって保護されたデバイス

ESET アンチセフトにログインするとESET アンチセフトによって保護されているデバイスの一覧が表示されます。

デバイスがまったく表示されません。新しいデバイスを追加するにはどうすればよいですか。

保護されたデバイス

デバイスのステータスやアクティビティ(IPアドレスによる位置情報、Webカメラ画像など)を表示するには、ESET アンチセフトアンチセフトWebの上部にある、メニューセクションで、対象のデバイスおよびデバイス名をクリックします。個人設定を変更するには、右上にあるホイール  をクリックします。



Anti-Theft最適化レベルに表示されるセキュリティレベルには、次の状態があります。

- 問題が検出されなかった場合 – セキュリティレベル=5つ星
- 1つの問題のみが検出された場合 – セキュリティレベル=4つ星
- 2つまたは3つの問題が検出された場合 – セキュリティレベル=3つ星

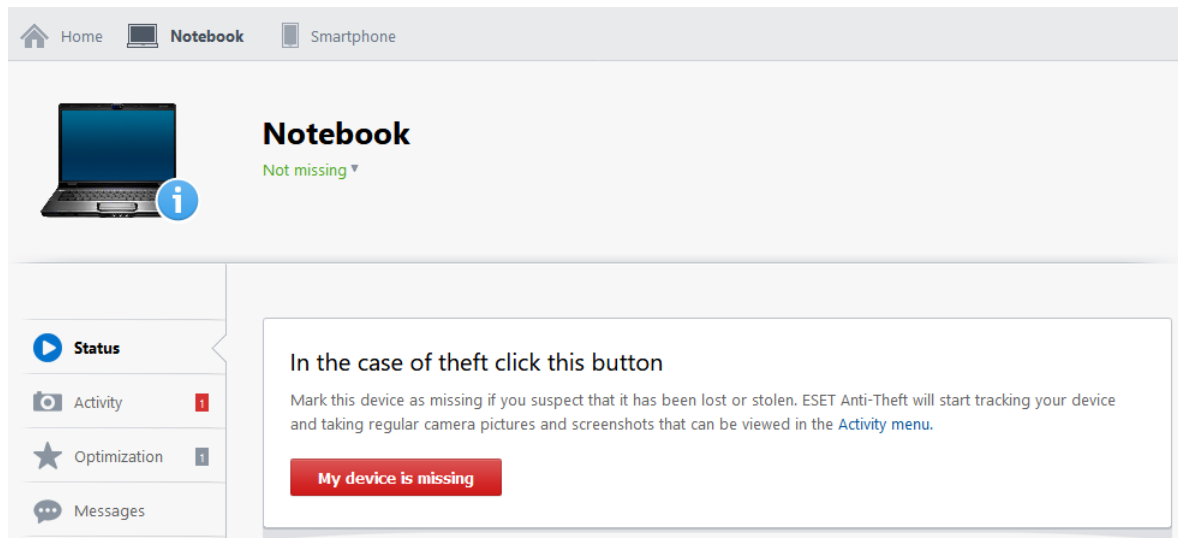
デバイスが表示されません

デバイスがまったく表示されない場合は、ESET アンチセフトアカウント資格情報を使用してESET Internet Security、ESET Smart Security PremiumまたはESET Mobile SecurityでESET HOMEを有効にします。

ESET アンチセフトの有効化の詳細な説明については、このヘルプの[手順ガイド](#)を参照してください。

ステータス

デバイスを盗難・紛失されたものとする場合は、デバイスを選択して[紛失中に設定]をクリックします。



次のアクションが行われます。

- デバイスのステータスが紛失に設定されたことを通知する電子メールが送信されます。
- 紛失したコンピュータまたはデバイスがオンラインになるとESET Internet Security/ESET Smart Security Premium/ESET Mobile Securityは、定期的に情報を記録します。このデータは、[\[アクティビティ\]](#)タブで確認できます。
- 紛失したデバイスは、オンラインになってから2、3分以内に自動的に再起動します。
- 架空Windowsアカウントが存在する場合、デバイスはこのアカウントを既定のアカウントとして使用し、自動的にログインします。これによって、誰かが他のユーザーアカウントにログインしたり、ユーザーデータにアクセスできなくなります。

i [テストの実行]をクリックして、デバイスを紛失中に設定すると、どのような処理が行われるかを、事前に確認してください。

重要な推奨事項

紛失・盗難によって生ずる損害を減らすため、次の作業を行うことを強くお勧めします。

- ESET HOMEアカウントの詳細情報を他人に教えないでください。これはESET アンチセフト Web にログインするためのユーザー名とパスワードの事ですWebブラウザにログイン資格情報を保存しないことをお勧めします。
- 電子メールアカウントのパスワードの変更 – 特に、Outlook ExpressやMozilla Thunderbirdなどの電子メールプログラムを使用している場合や、WebブラウザにWebメール(Gmailなど)のパスワードを保存している場合は行ってください。
- インターネットバンキングのパスワードを変更し、不審な取引がないか、銀行口座を確認してください。
- 参加するソーシャルメディアすべてのパスワードの変更 – これは主に、FacebookやTwitterなどの

ソーシャルネットワークに関するものです。

このコンピューターを**通常状態**に戻すには、**紛失中を解除**をクリックします。デバイスが再起動し、通常のユーザーアカウントが再度アクティベーションされます。

i 既定の監視期間は14日間です。有効期限の5日前には、デバイスのステータスを確認するように指示する電子メールがESETから送信されます。

ESET アンチセフト状態

ESET アンチセフトには次の状態があります。

- **通常状態、最適化** – 既定の最適な値(以前の**通常状態**)。デバイスは紛失中に設定されていません。
- **通常状態、未最適化** – デバイスは紛失中に設定されていませんが、[最適化](#)の問題が見つかりました。
- **紛失中** – デバイスは盗難・紛失として設定されておりESET アンチセフトでデータを記録中です。
- **不審な状態** - 架空アカウントの自動ログインの成功。

アクティビティ

このセクションでは、次のものを表示またはダウンロードできます：

- IPアドレスによるデバイスの位置情報
- デバイスのWebカメラの写真
- デスクトップのスクリーンショット

i デバイスがインターネットに接続できない場合、データを取得することはできません。[\[設定\]](#) タブで通知を有効にしておくことをお勧めします。

デバイスでAnti-Theftが有効になっているかどうかを確認します。

テストを実行して、デバイスで現在発生していることを確認できます。

- 1.**[テストの実行]**をクリックして、デバイスでのESET アンチセフトの機能をテストします。
- 2.数分後ESET Mobile SecurityESET Internet SecurityまたはESET Smart Security Premiumでスクリーンショットと位置情報ログ作成を確認するように指示されます。
- 3.ESET アンチセフトはテストを実行し、上記のデータを収集します。収集された写真とスクリーンショットに関する電子メール通知も受信します。
- 4.データが収集されたら、**[アクティビティのダウンロード]**をクリックして、デバイスで使用可能なすべての画像、スクリーンショット、場所情報を含むアーカイブをダウンロードします。

ESET HOMEでESET アンチセフト経由で使用可能なデータ

デバイスで撮影されたスクリーンショットとWebカメラの画像をプレビューできます。各画像の下には、作成日時と、画像を重要に設定するか削除できるアイコンが表示されます。

収集する情報と使用方法

デバイスから収集されたすべての情報は、ESETサーバーに安全に保存されます。

ESETは、開発、サービスのパーソナライズ、およびカスタマーサポートを目的として情報を収集します。ESETは、個人情報に対する不正アクセス、個人情報の不正使用または誤りを防ぎ、またそうしたリスクを最小限に抑えるために、あらゆる適切な方法を実施します。収集する情報の内容と使用方法の詳細については、[プライバシーポリシー](#)をご覧ください。

場所

[アクティビティ]セクションの[位置情報]タブには、紛失したAndroidデバイス（モバイルまたはタブレット）から収集されたIP位置情報のリストが表示されます。この情報を表示するためには、デバイスがインターネットに接続されている必要があります。

ESET アンチセフトがデバイスの位置情報を決定できない場合は、ヘルプのために「[位置情報がありません](#)」を参照し、問題を解決してください。

写真(Androidデバイスのみ)

アクティビティセクションの[写真]タブには、不審なアクティビティが検出されたときまたはデバイスが紛失に設定されたときにデバイスで撮影された写真が表示されます。

写真の横の星アイコンをクリックすると、写真が**重要**に設定されます。重要な写真は14日経過しても削除されません。また、重要な写真のみをフィルタリングすると、簡単にアクセスすることができます。

画像をダウンロードするには、ダウンロードする写真をクリックして、**画像のダウンロード**ボタンをクリックします。

Windowsデバイスから取得された画像とスクリーンショットは、[アクティビティ](#) タブに表示されます。

IPアドレス

[アクティビティ]セクションの[IPアドレス]タブには、紛失したデバイスから収集されたIPアドレスのリストが表示されます。この情報を表示するためには、デバイスがインターネットに接続されている必要があります。

i リストのIPアドレスは、ISP(インターネットサービスプロバイダ)によりWiFiルーターなどのネットワークデバイスに割り当てられた公的IPアドレスとほぼ同じです。

この情報には次の内容が含まれます。

- IPアドレス(IPv4)
- ISPから確立された接続の頻度

- デバイスが最後にインターネットにアクセスした日時。

確立したすべての接続を表示するには、**すべて**をクリックします。

不審な動作が報告されました

ESET HOMEで登録されたAndroidデバイス(モバイルまたはタブレット)があるユーザーは、次のアクティビティのうち1つ以上がデバイスで検出されるとESETから「不審な動作が報告されました」電子メールを受信します。

- **間違ったロック画面コードが複数回入力されました** – この警告は、正しくないロック画面コードの入力が2回試行された後に表示されます。
- **SIMカードが交換されました**
- **ESET Mobile Securityはデバイス管理者のリストから削除されました**—不審な動作を監視し、デバイスが盗まれた場合にアクションを実行するにはESET Mobile Securityに管理者権限が必要ですESET Mobile Securityをデバイス管理者のリストに追加するにはAndroid設定 > セキュリティ > デバイス管理者 > ESET Mobile Securityに移動し、有効化に移動します。

デバイスが紛失または盗まれたことが確かである場合は、デバイスを復元する段階的な手順について、「[盗難の場合の対処方法](#)」セクションを参照してください。

最適化

ESET アンチセフト最適化は、お使いのコンピュータまたはデバイスのセキュリティの状態に関する、測定可能な技術的評価です。診断を行うと、次の問題に関してシステムが検証されます。

Windowsユーザー:

- [Windowsアカウントがパスワードで保護されていない](#)
- [架空アカウントの問題](#)
- [リアルアカウントの自動ログインが有効になっている](#)
- [架空アカウントの自動ログインが有効になっている](#)

最適化の問題を解決する図示された手順については、次のナレッジベース記事を参照してください。
[ESET Windowsホーム製品でAnti-Theft用にデバイスを最適化する](#)

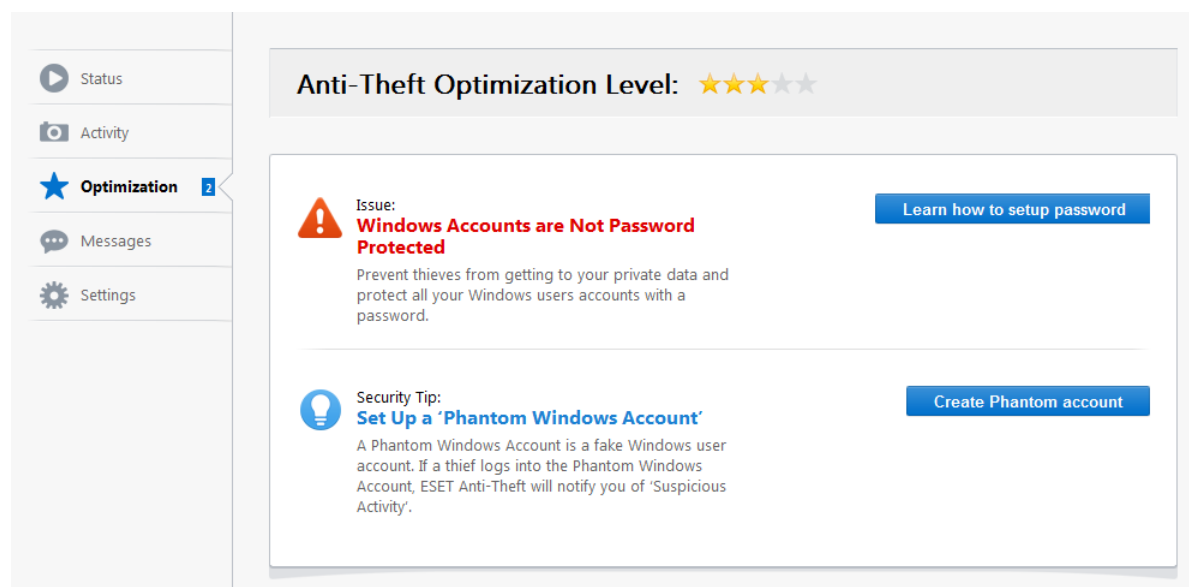
Androidユーザー:

- [位置情報サービスがオフです](#)
- [GPS衛星が使用されていません](#)
- [画面ロックが設定されていません](#)
- [モバイルデータが有効ではありません](#)

- [Google Playサービスが存在しません](#)

Anti-Theft最適化レベルに表示されるセキュリティレベルには、次の状態があります。

- 問題が検出されなかった場合 - セキュリティレベル=5つ星
- 1つの問題のみが検出された場合 - セキュリティレベル=4つ星
- 2つまたは3つの問題が検出された場合 - セキュリティレベル=3つ星



位置情報サービスがオフです

デバイスで位置情報サービスの使用を有効にするには、デバイスで**Google Location Accuracy**を有効にする必要があります。[この方法は製造元によって異なる場合があります](#)

搭載されているAndroidデバイス(Androidデバイスは、製造元による修正が行われていないAndroidオペレーティングシステムの基本バージョンです。たとえば、すべてのGoogle Pixelデバイス8.3Xiaomi Mi A3など)。

1. 設定 > 位置情報をクリックします。位置情報には複数の[位置情報に基づくサービス](#)があります。
2. **Google Location Accuracy** トグルをタップして、このサービスを有効にします。

GPSサービスが使用されていません

デバイスでGPSを使用するには、デバイスの設定で位置情報サービスを許可する必要があります。

搭載されているAndroidデバイス(Androidデバイスは、製造元による修正が行われていないAndroidオペレーティングシステムの基本バージョンです。たとえば、すべてのGoogle Pixelデバイス8.3Xiaomi Mi A3など)。

1. 設定 > 位置情報をタップします。

2. **位置情報**を使用トグルをタップして、位置情報サービスを有効にします。

画面ロックが設定されていません

画面ロックコード、パスワード・PINまたはパターンでデバイスを保護するには[Android設定] > **セキュリティ&プライバシー**>**デバイスのロック解除**に移動し、使用可能なオプションのいずれかを選択します。ほとんどのAndroidデバイスは、**スワイプ**・**フェイスロック解除**・**フェイスと音声**・**指紋**・**パターン**・**PIN**または**パスワード**を備えています。

誰かが間違ったコードを使用してデバイスのロックを解除しようとした場合ESET アンチセフトはデバイスの通知機能を使用して不審なアクティビティを通知します。

モバイルデータが無効です

デバイスのモバイルデータ接続を有効にするには、**設定**>**ネットワークとインターネット**>**モバイルネットワーク**の順に移動し、**モバイルデータ**を選択します。

この設定へのパスは、デバイスの製造元によって異なる場合があります。詳細については、デバイスのマニュアルを確認してください。


Google Playサービスが存在しません

ESET アンチセフトはGoogle Playサービスを使用して、リアルタイムでコマンドをデバイスに配信し、プッシュ通知を表示します。これらのサービスがデバイスで無効になっているか、存在しない場合ESET HOMEで管理されるESET アンチセフトの機能は制限されます。

ESET Mobile Securityは、Google Playサービスが正常に動作するために必要ですESET Mobile Securityは、一部の HuaweiデバイスなどのGoogle Playサービスがないデバイスではサポートされません。

メッセージ

ESET アンチセフトでは、**メッセージ**を使用して、紛失・盗難にあったデバイスにカスタムメッセージを送信することができます。**メッセージ**機能が有効になるのは、デバイスが**紛失状態**のときのみです。

 この機能の使用は慎重に検討し、デバイスの位置情報が十分に収集された後でのみ、この機能を使用することをお勧めします。場所が特定されていない状態で窃盗犯がメッセージに気づいた場合、デバイスが無効にされ追跡できなくなる恐れがあります

[**メッセージ**]タブで、架空アカウント用の壁紙として、デバイス上にテキストメッセージを設定できます。メッセージを[**メッセージテキスト**]フィールドに入力します。

Windowsを実行しているコンピューターの[**メッセージ**]タブで[**新しいメッセージ**]オプションを選択すると、カスタム**背景画像**とメッセージのテキストを設定できます。[**アクティビティ**]タブで、メッセージの背景として使用するカスタム背景画像を選択します。このオプションはWindowsデバイスでのみ使用できます。

送信前にメッセージの表示状態を確認するには、[**プレビューと送信**]をクリックします。[**送信**]をクリックすると、メッセージは紛失したデバイスがオンラインになってから5秒後に送信され、紛失・盗難にあったデバイスの背景の壁紙に、自動的に表示されます。

推奨されるメッセージのテンプレート

- このデバイスは紛失中と報告され、監視されています。すぐに警察またはデバイスの所有者([my@email.com])にご連絡ください。
- 私のデバイスを返却してください。
- このデバイスは盗難にあいました。Webカメラであなたの写真を記録しました。デバイスの所有者にすぐに返却してください。

デバイスに送信したメッセージを取り消す方法

- 1.左側の[メッセージ履歴]タブをクリックします。
- 2.[キャンセル]をクリックすると、メッセージの再送信が停止します。

メッセージの履歴

紛失または盗難にあったデバイスに送信されたメッセージの履歴を表示できます。

以前に作成されたすべてのメッセージをプレビューするには、[プレビュー]をクリックします。作成時刻および送信ステータスも表示されます。デバイスに送信済みのメッセージを再送信するには、[再送信]をクリックします。[キャンセル]をクリックすると、メッセージの再送信が停止します。

設定

このセクションでは、次の操作を行うことができます：

- デバイス名の変更
- より識別しやすい表示にするための、デバイスへのアイコンの割り当て
- 紛失したデバイスの検査間隔の変更
- 有効にする通知メッセージの選択

架空アカウント状態 – 架空アカウントは既定では作成されません。**作成**をクリックして、該当する**架空Windowsアカウント名**を入力します。このオプションはWindowsデバイスでのみ使用可能です。

検査間隔 – 疑わしい状態にあるときESET アンチセフトはデスクトップまたはWebカメラからのスクリーンショットの撮影と地理的データの記録を定期的に実行します。

デバイスによる監視データの送信通知 – 最初のデータが[[アクティビティ](#)]タブで表示できるようになると、電子メールで通知が送信されます。紛失状態を通常状態に、または通常状態を紛失状態にリセットするまで、他の電子メールは送信されません。

疑わしい状態の通知 – デバイスの状態が、[疑わしい状態](#)になった場合に電子メールが送信されます。

紛失状態の期限切れの通知 – 期限切れになる5日前に、監視期間の延長を電子メール経由で求められます(紛失状態の場合のみ)。

最後に確認された位置情報 – ESET アンチセフトは、バッテリーが低下しているときにデバイスの位置情報

を保存します。このオプションはAndroidデバイスでのみ使用できます。

セキュリティパスワード – このオプションは、前のバージョンのESET Mobile SecurityがインストールされているAndroidデバイスでのみ使用できます。ESET アンチセフトポータルではデバイスセキュリティパスワードを変更できます。

デバイスのロック解除 – 詳細については、[ESET Mobile Security オンラインユーザーガイド](#)を参照してください。

ESET アンチセフトをオフにする – ESET アンチセフトをオフにすると、デバイスはESET アンチセフトで保護されなくなり、デバイスの監視が停止します。デバイスを見つけデバイスの管理を継続するには、通常に戻すを選択します。このオプションはAndroidデバイスでのみ使用できます。

デバイスの削除 – この操作により、このデバイスに関するすべてのデータが削除されます。クライアントシステム上のすべての変更は、オンラインに表示された後に有効になります。


ハウツー

この章では、よくある質問と一般的な問題について説明します。問題を解決する手順については、トピックをクリックしてください。

- [新しいデバイスを追加する方法](#)
- [盗難にあった場合の解決方法](#)
- [場所情報が表示されない](#)

問題/質問の答えがここで見つからない場合、定期的に更新されている当社のオンライン[ナレッジベース](#)を参照してください（英語版のみ）。

必要に応じてESET製品の[ヘルプとサポート]ペインにあるお問い合わせフォームを利用して、[ESETテクニカルサポート](#)に問題や質問を照会することもできます。

Androidデバイスからサポートリクエストを送信するにはESET Mobile Securityメイン画面のメニューアイコンをタップ（またはデバイスのメニューボタンを押す）し、[カスタマーサポート]>[カスタマーサポート]の順にタップします。すべての必須フィールドを入力します。ESET Mobile Securityには詳細ログがあり、潜在的な技術上の問題を診断できます。詳細アプリケーションログをESETに提供するには、[アプリケーションログ]が選択されていること（既定）を確認してください。[送信]をタップしてリクエストを送信します。ESETカスタマサポートが、指定された電子メールアドレス宛てにご連絡いたします。（注：

新しいデバイスをESET アンチセフトに追加する

デバイスとデータを盗難から保護するには、以下の手順に従います。WindowsまたはAndroidデバイスを追加するかどうかを指定してください。

- [新しいWindowsデバイスを追加する](#)
- [新しいAndroidデバイスを追加する](#)

❗ ESET HOME Webポータルから直接新しいデバイスを追加できません。ESET HOME ESET Internet Security または ESET Smart Security Premium から直接 ESET Mobile Security アカウントに割り当てられた1つ以上のデバイスを追加できます。

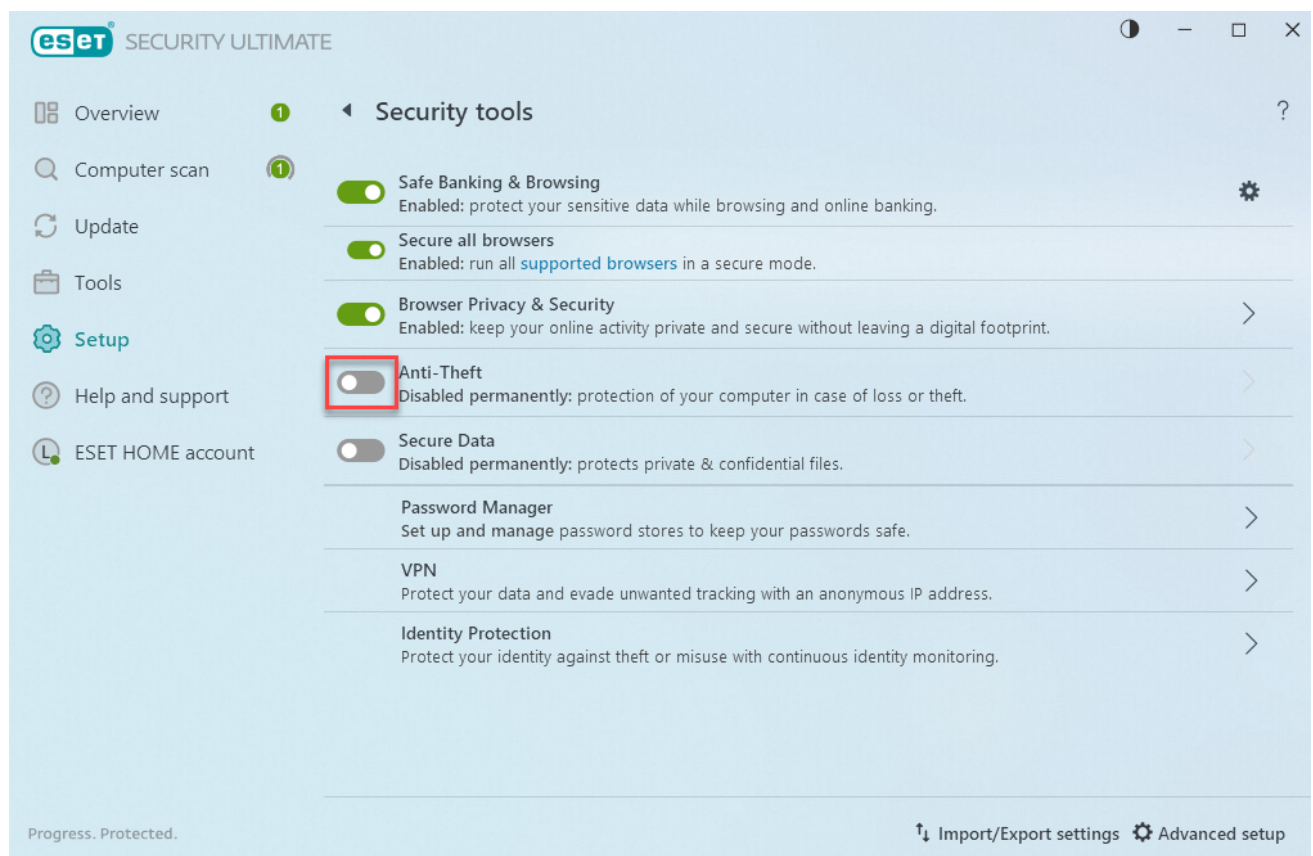
新しいWindowsデバイスを追加する

i ESET アンチセフトは、Microsoft Windows Home Serverでは使用できません。

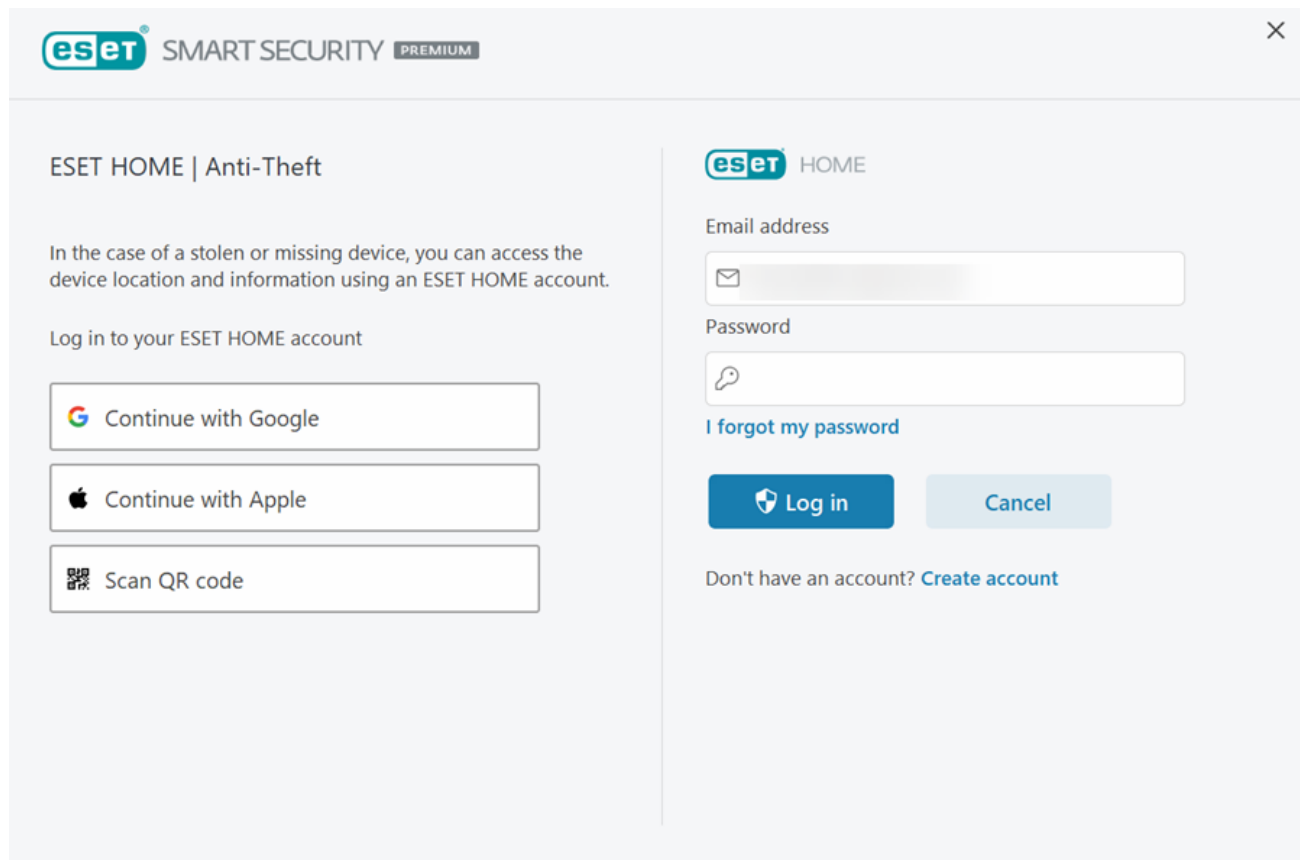
ESET製品のインストールおよびアクティベーション後に、追加のESETセキュリティツールをセットアップするように指示されます。ESET アンチセフトをアクティベーションするには、**Anti-Theft** オプションの横の**有効にする**をクリックします。[手順3に進みます](#)。

[図解手順を表示します\(推奨\)](#)。

1. [ESET製品を開く](#)には、タスクバーのESETアイコンをダブルクリックします。
2. 左側のメインメニューで、**設定 > セキュリティツール**をクリックし、**Anti-Theft** トグルをクリックしてESET アンチセフトを有効にします。



3. ESET HOME アカウントにログインするには、ソーシャルログインを使用してQRコードをスキャンするかESET HOME資格情報(電子メールアドレスとパスワード)を入力して、**ログイン**をクリックします。ESET HOME アカウントをお持ちではない場合は、[アカウントの作成](#)をクリックします。




4. デバイス名を入力し、**続行**をクリックします。

5. Anti-Theftがアクティベーションされ、デバイスは、ESET HOMEポータル>ESET アンチセフトセクションに表示されるAnti-Theft機能に関連付けられます。**完了**をクリックします。

6. ESET アンチセフトウィンドウが自動的に開きます。[デバイスのセキュリティを最適化](#)し、**架空アカウントの作成**をクリックします。架空アカウントを使用すると、破損したデバイスや盗まれたデバイスを取得できます。すべてのESET アンチセフト機能を使用するには、架空アカウントが必要です。

7. **作成**をクリックします。既定の架空アカウントの名前は「Alex」です。架空アカウント名を変更する必要はありません。

 **架空アカウントの作成に失敗しました**というエラーメッセージが表示される場合は、[ESETテクニカルサポート](#)にお問い合わせください。



8. 架空アカウントを作成した後はESET アンチセフトアカウントが完全に最適化されます。anti-theft.eset.comでは、デバイスのステータスが**通常状態**と表示されます。

ESET HOMEアカウントに関連付けられているすべてのデバイスには、[マイデバイス](#)セクションからアクセスできます。これは将来の問題解決に役立ちます。

新しいAndroidデバイスを追加する

まだデバイスを関連付けていない場合は、ESET Mobile SecurityがインストールされESET Mobile Securityサブスクリプションでアクティベーションされた後に、デバイスをESET HOMEアカウントに関連付けます。

図解手順を表示します(推奨)。

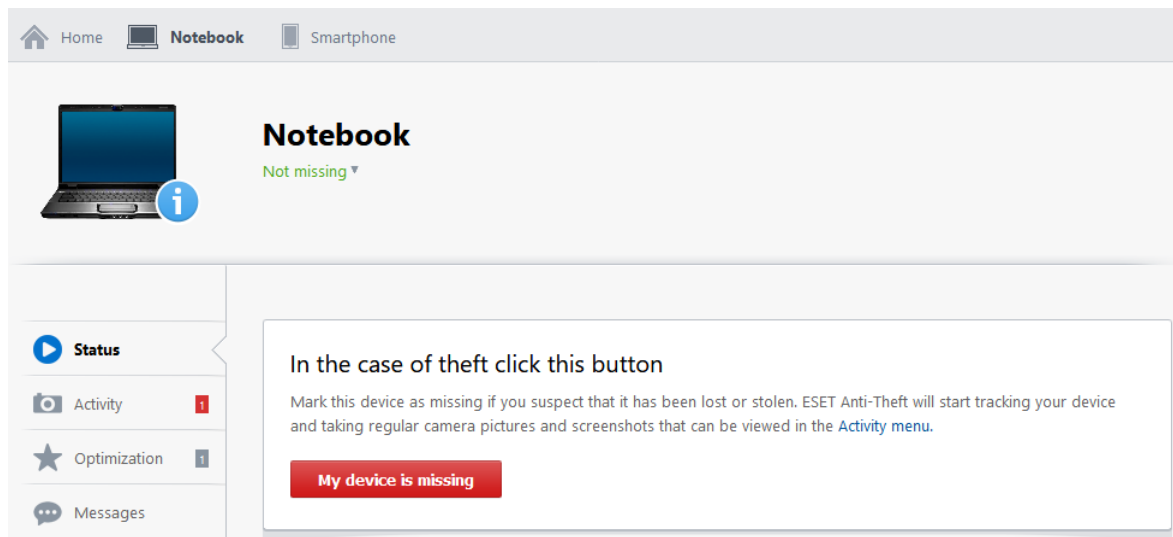
1. ESET Mobile Security メイン画面で**Anti-Theft**をタップします。
2. **有効にする**をタップします。デバイスが既にESET HOMEに接続されている場合は、[手順6に進みます](#)
3. ESET HOME アカウントにログインするには、ソーシャルログインを使用してQRコードをスキャンするか、電子メールアドレスとパスワードを入力して、**ログイン**をクリックします。アカウントをお持ちではない場合は、**アカウントの作成**をクリックします。
4. ESET HOME アカウントの電子メールアドレスとパスワードを入力し、パスワードを確認してから、**ESET契約条件作成に同意する > 作成**をタップします。
5. 新しいアカウントを確認するには、電子メールアドレスに送信された確認リンクをクリックし、**続行**をタップします。
6. **許可/続行**または**アクティベーション**をタップして、必要な権限をすべて許可します。ESET アンチセフト機能が正常に機能するには、すべての権限を付与する必要があります。
7. ESET Mobile Securityで重要な設定を保護するには、**PIN**を入力し、チェックボックスをタップして、**PIN**を確認します。
8. **SIMカードが挿入されているデバイス**: このSIMカードを信頼するには、**信頼**をタップします。現在のSIMカードが信頼リストに追加されます。そうでない場合は、**スキップ**をタップします。
SIMカードが挿入されていないデバイス: [手順10に進みます](#)
9. **ESET Mobile Security 8.x以降のバージョン**: 信頼できるSIMカード機能を有効にするには、**信頼**をタップします。ESETはSIMカードと連絡先に一意のIDを作成します。この識別子を連絡先リストから削除しないでください。そうでないと、デバイスがブロックされる可能性があります。
10. このデバイスAnti-Theft用に完全に最適化されました。

盗難にあった場合の解決方法

コンピュータやデバイスが紛失・盗難にあった場合は、それらを紛失中に設定します。このステータス変更を、[ESET アンチセフト Web インタフェース](#)から行うには、紛失中のデバイスを選択し、**[ステータス]**をクリックして、**[紛失中に設定]**をクリックします。

ESET アンチセフトは、架空アカウント(Windowsデバイスのみ)を除くすべてのアカウントへのアクセスを禁止し、**[アクティビティ]**メニューで表示できる通常のカメラ写真とスクリーンショットの撮影を開始します。

デバイスを盗難・紛失されたものとする場合は、デバイスを選択して**[紛失中に設定]**をクリックします。



次のアクションが行われます。

- デバイスのステータスが紛失に設定されたことを通知する電子メールが送信されます。
- 紛失したコンピュータまたはデバイスがオンラインになるとESET Internet Security®ESET Smart Security Premium®ESET Mobile Securityは、定期的に情報を記録します。このデータは、[\[アクティビティ\]](#)タブで確認できます。
- 紛失したデバイスは、オンラインになってから2、3分以内に自動的に再起動します。
- 架空Windowsアカウントが存在する場合、デバイスはこのアカウントを既定のアカウントとして使用し、自動的にログインします。これによって、誰かが他のユーザーアカウントにログインしたり、ユーザーデータにアクセスできなくなります。

i **[テストの実行]**をクリックして、デバイスを紛失中に設定すると、どのような処理が行われるかを、事前に確認してください。

重要な推奨事項

紛失・盗難によって生ずる損害を減らすため、次の作業を行うことを強くお勧めします。

- **ESET HOME**アカウントの詳細情報を他人に教えないでください。これはESET アンチセフト Webにログインするためのユーザー名とパスワードの事ですWebブラウザにログイン資格情報を保存しないことをお勧めします。
- 電子メールアカウントのパスワードの変更 – 特に、Outlook ExpressやMozilla Thunderbirdなどの電子メールプログラムを使用している場合や、WebブラウザにWebメール(Gmailなど)のパスワードを保存している場合は行ってください。
- インターネットバンキングのパスワードを変更し、不審な取引がないか、銀行口座を確認してください。
- 参加するソーシャルメディアすべてのパスワードの変更 – これは主に、FacebookやTwitterなどのソーシャルネットワークに関するものです。

このコンピューターを**通常状態**に戻すには、**紛失中を解除**をクリックします。デバイスが再起動し、通常のユーザーアカウントが再度アクティベーションされます。

i 既定の監視期間は14日間です。有効期限の5日前には、デバイスのステータスを確認するように指示する電子メールがESETから送信されます。

デバイスのIP地理位置情報

デバイスの場所に関する情報を入手できない場合でも、次のオンラインサービスを使用してデバイスから取得したIPアドレス（[\[IPアドレス\]](#)タブを参照）によって場所の特定を試みることはできます。
www.who.is

デバイスが盗まれた場合は、法執行組織の支援を受け、検出された公開IPアドレスのインターネットサービスプロバイダーが、NATの後のプライベートIPアドレスを使用してデバイスを検索する際に役立つ場合があります（インターネットから表示されません）。

場所情報が表示されない

以下の理由によりESET アンチセフトがデバイスの場所を特定できない可能性があります。

1. デバイスからデータが収集されませんでした。
データが収集されるのは、デバイスが紛失中に設定されている場合だけです。デバイスを紛失中に設定するには、デバイスの[\[ステータス\]](#)タブにある[\[紛失中に設定\]](#)をクリックします。
2. 紛失中のデバイスがインターネットに接続されていません。
ESET アンチセフトがデバイスの場所を特定するためには、デバイスがインターネットに接続されている必要があります。
3. デバイスの場所に関する十分なデータがありません。
デバイスの場所を特定するためにデータをESET アンチセフトが十分に収集するまで、もうしばらくお待ちください。
4. デバイスの場所に関する情報を入手できません。
デバイスが長期間にわたって紛失状態にあり、デバイスの場所を特定できない場合でもIPアドレスによって場所の特定を試みることはできます（以下を参照）。

デバイスのIP地理位置情報

デバイスの場所に関する情報を入手できない場合でも、次のオンラインサービスを使用してデバイスから取得したIPアドレス（[\[IPアドレス\]](#)タブを参照）によって場所の特定を試みることはできます。
www.who.is

デバイスが盗まれた場合は、法執行組織の支援を受け、検出された公開IPアドレスのインターネットサービスプロバイダーが、NATの後のプライベートIPアドレスを使用してデバイスを検索する際に役立つ場合があります（インターネットから表示されません）。

リソース

以下の問題を解決するための手順については、オンラインナレッジベース（英語）にアクセスしてください。

- [ESET Windows製品でAnti-Theftをアクティベーションして設定する](#)
- [ESET Windowsホーム製品でAnti-Theft用にデバイスを最適化する](#)

- [ESET Mobile Security for AndroidでのAnti-Theft保護の設定](#)
- [ESET Windows ホーム製品Anti-Theftを無効にする](#)
- [ESET Windows製品のメインプログラムウィンドウを開く](#)

ESETの詳細については、次のリンクにアクセスしてください（英語版のみ）。

- [ESETホームページ](#)
- [ESETテクニカルサポート](#)
- [ESETセキュリティフォーラム](#)

ユーザープロファイル

このESET HOMEアカウントを使用すると、**仮想プライベートネットワーク**や**ESET Password Manager**などの特定の機能を管理し、すべてのユーザープロファイルを一元的に管理できます。ユーザープロファイルを作成すると**ESET HOME**セキュリティ機能をアクティベーションしたり、他のユーザーに割り当てたりすることができます。ユーザープロファイルでは、セキュリティ機能のみを管理できます。[デバイス](#)は管理できません。

ESET HOMEアカウントにログインした後、**機能**セクションで、**セキュリティ機能**をクリックします。

ユーザープロファイルは、セキュリティ機能のいずれかをアクティベーションした後に表示されます。

ESETVPN機能

- i** ESETVPNをインストールしてアクティベーションするには、[ESET VPNオンラインヘルプ](#)の手順を参照してください。

ESET Password Managerの機能

- i** ESET Password Managerをインストールしてアクティベーションするには、[ESET Password Managerオンラインヘルプ](#)の手順を参照してください。

- 自分 — これはVPNまたはESET Password Manager機能をアクティベーションすると自動的に作成されるユーザープロファイルです。プロファイルの電子メールアドレスは、ESET HOMEアカウントの電子メールアドレスです。
- その他のユーザープロファイル — セキュリティ機能をアクティベーションしている他のユーザーのプロファイル。

新しいユーザープロファイルを追加する

一部の機能のアクティベーション中に、既存のプロファイルを選択するか、新しいプロファイルを作成できます。

1. アクティベーションする機能を選択します。
2. **新しいユーザーを追加**をクリックします。
3. 新しいプロファイルの名前と電子メールアドレスを入力します。
4. **プロファイルの作成**をクリックします。

ユーザープロフィールの詳細

ユーザープロフィール名の横にある**開く**をクリックすると、次の情報が表示されます。


- 名前
- 名前の最初の文字
- 電子メールアドレス
- VPN機能の状態

ユーザープロフィールの名前を変更する

1. プロフィール名の横にある**編集**をクリックします。
2. ニックネームを入力します。
3. **保存**をクリックして確定します。
4. **承諾**をクリックします。

ユーザープロフィールを削除する

1. プロフィール名の横にある**開く**をクリックします。
2. **プロフィールの削除**をクリックします。



 このプロフィールでアクティベーションされたすべての機能はアクティベーション解除され、他のユーザープロフィール保護で使えるようになります。

3. **プロフィールの削除**をクリックして確定します。
4. **承諾**をクリックします。


二要素認証

二要素認証(2FA)は、ESET HOMEアカウントとアクセスできるデータのセキュリティを強化します。二要素認証を有効にするとESET HOMEパスワードを入力した後に、スマートフォンまたはタブレットの認証アプリで生成された一意の6桁のセキュリティコードを入力する必要があります。以下の手順に従って、いつでも二要素認証を設定できます。

スマートフォンやタブレットに認証アプリケーションをインストールする必要があります。例:

 ESET Secure Authentication  ESET Secure Authenticationは無料の認証アプリケーションで、[Android](#)と[iOS](#)、およびWindows Phoneの公式App Storeで提供されていますESET HOMEは、二要素認証のTOTP (時間ベースのワンタイムパスワード)プロトコルをサポートしますGoogle AuthenticatorやAuthyなど、互換性があるモバイルアプリケーションを使用できます。

ESET HOME Webポータルで二要素認証を有効にする

 ESET HOMEアプリケーションで設定された二要素認証に関する段階的で視覚的な手順については、[ESETナレッジベース記事](#)をご覧ください。(一部の言語では提供されていません。)

1. [ESET HOME](#)へのログイン。

2. 画面の右上にある電子メールアドレスをクリックします。
3. **アカウント**をクリックします。
4. **セキュリティ設定**セクションで、**二要素認証**の横の**設定**をクリックします。



ESET HOMEパスワードを作成していない場合は、作成する必要があります。**続行**をクリックしてESETから電子メールアドレスに送信された電子メールに記載されている手順に従います。

5. 手動コードが表示されたQRコードが画面に表示されます。スマートフォンまたはタブレットで、認証アプリを開き、QRコードをスキャンするかQRコードの下に表示されているコードを手動でアプリに追加します。
6. ESET HOMEポータルで、**続行**をクリックします。
7. 認証アプリから送信された6桁のコードを入力し、**続行**を入力します。
8. 10個のワンタイム回復コードが提供されます。認証アプリにアクセスできないときには、回復コードを使用してESET HOMEアカウントにログインします。コードを安全にデバイスに保存するには、**コードをダウンロードして続行**をクリックし、安全な場所(Vaultなど)に保存して、**設定の完了**をクリックします。

二要素認証を設定

回復コード

回復コードは、認証アプリにアクセスできないときにアカウントにログインするために使用できるワンタイムコードです。各コードは1回のみ使用できます。

ESET HOMEアカウントへのアクセスを失うことがないように、回復コードは安全に保管してください。

コードをダウンロードして続行

新しいコードの取得

1082 5765
1568 9379
3074 8525
4063 5265
5044 9159
5699 6031
6768 8249
7213 1437
7681 0963
9559 6196

9. ESET HOMEアカウントの二要素認証が有効です。**確認**をクリックします。

ESET HOMEWebポータルで二要素認証を編集する

1. [ESET HOME](#)へのログイン。
2. 画面の右上にある電子メールアドレスをクリックします。
3. **アカウント**をクリックします。
4. **セキュリティ設定**セクションで、**二要素認証**の横の**編集**をクリックします。
5. ESET HOMEパスワードを入力します。
6. 認証アプリから送信された6桁のコードを入力し、**続行**を入力します。
7. 該当する二要素認証を編集する：

- **二要素認証を無効にする**

8. **二要素認証を無効にする**をクリックします。
9. 二要素認証が無効になり、アカウントは保護されません。**確認**をクリックします。

- **回復コード**

8. 回復方法の横にある**回復コード**をクリックします。
9. 回復コードをtxtファイルとしてデバイスに保存するには、**コードのダウンロード**をクリックします。ほとんどのコードを既に使用している場合は、**新しいコードの取得**をクリックします。

- **記憶されたデバイスを消去する**

8. ESET HOME Webポータルとアプリからすべての記憶されたログインを削除し、ログインするたびに二要素認証を要求するには、**続行**をクリックします。
9. すべてのデバイスで記憶されているログインはすべて消去されました。**確認**をクリックします。

ESET HOMEアカウントにログインするための認証方法

アカウントで二要素認証が設定されている場合は、次の2つの方法のいずれかを使用してESET HOMEアカウントにログインします。

- **二要素認証でログイン** - ESET HOMEパスワードでログインした後に、認証アプリケーションから送信された追加の6桁のコードを入力する必要があります。**このデバイスを30日間記憶する**チェックボックスをオンにします。このデバイスでは30日間二要素認証を入力する必要がありません。**続行**をクリックすると、ログインします。
- **8桁の回復コードのいずれかを使用** - 二要素認証を設定すると、回復コードが表示されます。ダウンロードしたこれらのコードのいずれかを入力し、**続行**をクリックするとESET HOMEアカウントに正常にログインします。

通知

通知は、ESET HOMEアカウント、デバイス、サブスクリプションの問題から生成されます。すべての受信した通知は通知パネルに表示されます。通知パネルを開くには、[ESET HOME Webポータル](#)にログインした後に、右上の**通知**をクリックします。このセクションでは、**すべての通知**を表示するか、**重要な通知**を表示するのを選択できます。問題の重要度(情報、重要、アラート)に応じて、通知を受信します。ESET HOMEアプリで通知を許可するには、[アプリ設定の章](#)を参照してください。



- **青** - 例: デバイスがサブスクリプションに追加されました。
- **オレンジ** - 例: サブスクリプションはももなく有効期限切れです
- **赤** - たとえば、サブスクリプションの有効期限が切れています

サブスクリプションまたはデバイスセクションからの通知の場合、それぞれのセクションに通知バッジ(重大度色の未読の通知数)が表示されます。




通知の削除

通知は、ポータルまたはアプリの通知パネルでのみ手動で削除できます。

1. [ESET HOME Webポータル](#)または  アプリにログインします。
2. 通知セクションを開きます。
3. Xをクリックするか、左にスワイプして、アプリのごみ箱アイコン  をタップします。通知は表示されなくなります。

サブスクリプション/デバイスに関連する通知を削除すると、通知バッジの数も減ります。通知から削除する前に、問題を解決すると、通知が削除されます。

 通知を削除し、ホーム画面にバッジが表示されないということは、問題を解決したという意味ではありません。解決するまで、この問題は特定のデバイスまたはサブスクリプションに表示されます。

アンインストール

モバイルデバイスで使用されているOSに基づいてESET Password Managerアプリを削除します。

- [AndroidデバイスからESET HOMEアプリをアンインストールする](#)
- [iOSデバイスからESET HOMEアプリをアンインストールする](#)

FAQ

FAQカテゴリ:

- [アプリケーション](#)
- [アカウント](#)

- [サブスクリプション](#)
 - [デバイス](#)
-

アプリケーション

ESET HOMEアプリケーションのPINを忘れました

ESET HOMEアプリケーションのPINを忘れた場合は、アプリケーションをアンインストールしてから、もう一度インストールする必要があります。ただしESET HOMEアプリケーションをアンインストールしてもデータは失われません。

「プッシュ通知」とは何ですか。

プッシュ通知はモバイルデバイスでポップアップ表示されるメッセージです。

ESET HOMEアプリケーションとポータルは無料ですか。

はいESET HOMEの使用は無料です。

アカウント

ESET HOME資格情報を忘れてしまいました。どうしたらいいでしょうか。

ESET HOME資格情報を忘れた場合は、[ESET HOMEパスワードを忘れた場合](#)の章の手順をお読みください。

パスワードが漏洩した場合はどうすればよいですか。

パスワードがさまざまなインターネット侵害のデータベースの1つに登録されている場合は、[漏洩したパスワード](#)の章の指示に従ってください。

特別提供の情報を受け取りたくありません。オプトアウトできますか。

ESET HOMEで、アプリケーションのメニューをタップするか、ポータルのユーザー名をクリックして、**マイアカウント設定に移動し、特別提供を受信する...** オプションをオフにします。

ESETのキャンペーン電子メールの最後には**登録解除**ボタンがあります。

ESET HOMEアカウントを削除した場合、デバイスで何が発生するのですか？

ESET HOMEデバイスは切断されますが、アクティベーションされ、保護されたままです。ただし、他のユーザーと共有された保護はアクティベーション解除されます。

「通常とは異なるアカウントへのログインが検出されました。すべてのログインデバイスを確認してください」というメッセージが表示されました。何をすべきですか。

アカウントのセキュリティを改善するためにESET HOMEはログインデバイスのIPアドレスを検出します。このIPアドレスが変更された場合は、上記のメッセージが送信されます。このメッセージは、誰かが別のデバイスでアカウントにサインインしたかIPアドレスが変更されたことを意味します。動的IPアドレスを使用している場合、または固定IPアドレスがない場合IPアドレスは毎日変更されることがあります。

これは ISP および ISP によって異なる場合があります。

ログイン履歴に覚えのない場所があります。

ログイン位置情報はジオIP検索に基づきます。この場所は、ESET HOME アカウントへのログインで利用されるデバイスの位置情報と一致する必要がありません。現在の位置情報は、ISP の IP アドレスによって異なります。

ESET HOME アカウントにペアレンタルコントロールと ID 保護のセキュリティ機能が表示されないのはなぜですか。

ID 保護とペアレンタルコントロールは、ESET Small Business Security サブスクリプションティアには含まれていません。Identity Protection (現在、米国のお客様のみ利用可能) とペアレンタルコントロールをアクティベーションするには、[資格のあるサブスクリプションを購入](#)し、ESET HOME アカウントに関連付けてください。

サブスクリプション

サブスクリプションを更新したり、デバイスを追加したりするにはどうすればよいですか。

サブスクリプションの更新、追加、またはアップグレードは、[サブスクリプションの自動更新](#) トピックの手順に従って、いつでも行うことができます。サブスクリプションの自動更新設定 ESET を管理する方法、またはクレジットカード情報を更新する方法の詳細については、[ナレッジベースの記事をご覧ください](#)。

サブスクリプション管理はどこにありますか。

[サブスクリプション管理](#) は ESET HOME ポータル/アプリと統合されます。

使用超過または漏洩したサブスクリプションの場合は何をすべきですか。

[使用超過/漏洩したサブスクリプションの場合の手順](#) を参照してください。

サブスクリプションのステータスが [検証の待機中] です。

電子メールアドレスのリンクを使用してサブスクリプションを検証しようとしていますが、メールを受信してから 1 時間以上が経過しています。ESET HOME アカウントの [サブスクリプションセクション](#) で、**すべてのサブスクリプションを表示** > **サブスクリプションを開く** をクリックし、**検証電子メールの再送信** まで下にスクロールします。

サブスクリプションが一時停止に設定されている場合は何をすべきですか。

一時停止されたサブスクリプションでアクティベーションされた ESET 製品はアップデートを受信しません。決済詳細情報を確認するか、サブスクリプションの販売代理店に問い合わせ、サブスクリプションの問題を解決することをお勧めします。詳細については、[ナレッジベース記事](#) をご覧ください。

ESET サブスクリプションは無料ですか。

ESET 製品の製品版サブスクリプションは無料ではありません。ESET セキュリティ製品を購入するかどうかを決定する場合は、体験版を使用できます。これは、ほぼ製品版サブスクリプションと同じであり、特定の期間にかぎり無償で使用できます。

インターネット上には「無料」で ESET 製品認証キーを提供するソースがありますが、次の点に注意して

ください。

- 「無料のESETサブスクリプション」の広告をクリックすると、コンピューターまたはデバイスが危険にさらされ、マルウェアに感染する可能性があります。非公式のYouTube動画や、広告を表示してアクセス数に応じた金銭を獲得しようとするWebサイトにはマルウェアが隠されている可能性があります。一般的に、これらは罠です。
- ESETは海賊版サブスクリプションを無効化でき、そのように対処します。
- 海賊版の**製品認証キー**を所有することはESET製品をインストールするために同意する必要がある[エンドユーザーライセンス契約](#)に違反すると見なされます。
- ESETサブスクリプションは、www.eset.com ESET販売店またはリセラーなどの正式なチャネル経由でのみESETサブスクリプションを購入してください(eBayなどの非公式のサードパーティWebサイトや第三者の共有サブスクリプションからライセンスを購入しない)。
- ESET製品のダウンロードは無料です。ただし、インストール中のアクティベーションには有効なESET**製品認証キー**が必要です(ダウンロードしてインストールできますが、アクティベーションしないと製品は動作しません)。
- インターネットまたはソーシャルメディアでサブスクリプションを共有しないでください(サブスクリプションが拡散する可能性があります)。

サブスクリプションはどのように使用されますか。

[サブスクリプションの使用状況](#)を参照してください。

その他のライセンスFAQ

ホーム製品ライセンスFAQについては、[ESETナレッジベース記事](#)を参照してください。

デバイス

アクティベーションされたデバイス/サーバーデバイスの数を確認して、特定のサブスクリプションで保護できるデバイスの数を確認できますか。

特定のサブスクリプションによってアクティベーションされたデバイス/サーバーデバイスの数に関する情報が、[サブスクリプション詳細](#)に表示されます。

購入後にESETをダウンロード/インストールするにはどうすればよいですか。

ESETは次の手順に従ってインストールできます。

1. 以前にインストールしたESET製品をすべてアンインストールします。
2. [ESET HOMEアカウントにログイン](#)するか、[アカウントを作成](#)します。
3. デバイスへのESETのインストールを[開始](#)します。

Windows製品のインストールとアクティベーションに関する視覚的な手順については、ナレッジベースの記事をお読みください。

複数のサブスクリプションがある場合、特定のサブスクリプションでアクティベーションされたデバイス数はどこに表示されますか。

サブスクリプションで、すべてのサブスクリプションを表示>サブスクリプションを開くをクリックします。デバイスセクションには、サブスクリプションで保護されたすべてのデバイスが表示されます。[ESET HOMEアカウントに接続されたデバイス](#)だけがここに表示されます。

[デバイス]セクションにデバイスが表示されませんが、完全に保護されています。

お使いのデバイスは別のサブスクリプションでアクティベーションされている可能性があり、それはサブスクリプションセクションに追加されません。サブスクリプションをESET HOMEに追加した後、サブスクリプション所有者への確認リンクが送信されます。管理割り当ては所有者が行う必要があります。

保護を無効にせずにデバイスを切断するにはどのようにすればよいですか？

ESET製品ではサブスクリプションからデバイスを切断できます。ESET HOMEアカウントの所有者ではない場合は、所有者にデバイスを切断するか、デバイスからESET製品をアンインストールするように依頼してください。

どのようにデバイスをESET HOMEアカウントに接続できますか。

[デバイスをESET HOMEアカウントに接続](#)を参照してください。

ESET HOMEパスワードを忘れました

一般的なパスワードの問題に関する情報を検索していますか？






- [ユーザー名、パスワード、または製品認証キーが機能しない](#)
- [ESET Windowsホーム製品で設定パスワードのロックを解除する](#)
- [ESET HOMEパスワードのリセット](#)

ESET HOMEアカウント資格情報が見つかりません

1. [ESET HOME](#)件のアクセス。
2. パスワードを忘れましたをクリックします。
3. ESET HOMEの登録処理中に使用した電子メールアドレスを電子メールアドレスフィールドに入力します。
4. 送信をクリックします。
5. 送信をクリックした後、アカウントへのリンクと、ESET HOMEアカウントのパスワードをリセットするための手順が記載された電子メールが指定した電子メールアドレスに送信されます。
6. 電子メールアカウントにログインし、パスワードの変更 - ESET HOME電子メールを開きます。
7. 電子メールの手順に従います。ESET HOMEに戻ります。
8. 新しいパスワードを設定するには、任意のパスワードを新しいパスワードを入力に入力し、確認をクリックします。
9. パスワードが変更され、ログインできます。


アプリケーションからパスワードを取得する必要があります


1. ESET HOMEアプリケーションを開きます。
2. ログインをタップします。
3. タップパスワードを忘れました
4. ESET HOMEの登録処理中に使用した電子メールアドレスを電子メールアドレスフィールドに入力します。
5. 電子メールアカウントにログインし、パスワードの変更 - ESET HOME電子メールを開きます。
6. 電子メールの手順に従いますESET HOMEに戻ります。
7. 新しいパスワードを設定するには、任意のパスワードを新しいパスワードを入力に入力し、確認をクリックします。
8. パスワードが変更され、ログインできます。

 ESET HOMEアカウントパスワードをリセットする詳細な手順については、この[ESETナレッジベース記事](#)を参照してください。(この記事は、一部の言語ではご利用いただけません。)

パスワードをリセットするための手順が記載された電子メールが届かない

この場合、手順を受信するまで、次のいずれかを試します。

1. ESET HOMEの登録処理中、またはESET アンチセフト機能のアクティベーション中に入力した対応する電子メールアドレスを入力したことを確認します。セキュリティ上の理由によりESET HOME Webインターフェイスには、入力した電子メールアドレスが正しいかどうかは表示されませんESET HOMEからのコミュニケーションについては、メールボックスを確認してください。メールボックスの検索バーに「ESET HOMEと入力するとESETから電子メールが届いているかどうかを確認できます。
2. 次の場所を検索してください。

- 電子メールアカウントのスパムまたは迷惑メールフォルダー。
- 他の受信ボックスフォルダー: 電子メールクライアントでinfo@product.eset.comを安全なアドレスに設定する。
- Gmailをご使用の場合: プロモーションフォルダー。を参照してください。 [プロモーションフォルダーにアクセスする方法](#)

- a. Webブラウザを開き、Gmailアカウントにログインします。
- b. タブの右側の+アイコンをクリックします。
- c. プロモーションの横のチェックボックスをオンにして、保存をクリックします。

3. 電子メールアドレスを再入力し、送信をクリックしますESET HOMEの登録処理中に入力した電子メールアドレスを入力していることを確認します(手順1の説明を参照)。
4. 問題を解決できない場合は、[ESETテクニカルサポート](#)にお問い合わせください。

漏洩したパスワード

攻撃からアカウントを保護するためにESETは、ログインするか、新しいESET HOMEアカウントを作成するたびに、データ侵害データベースと照合してパスワードを確認します。

ESET HOMEで、現在のESET HOMEアカウントパスワードがデータ侵害データベースに登録されているという警告が表示された場合、パスワードがESETから漏洩したことを意味するわけではありません。この意味は、パスワードがさまざまなインターネット侵害のデータベースの1つに登録されているということです。これらのパスワードデータベースは攻撃者が使用できるようにインターネットで公開されているため、攻撃者はアカウントのセキュリティをたやすく侵害できます。

パスワードが漏洩した場合はどのように対処すれば良いのでしょうか。

1. 新しいパスワードの作成。

! パスワードは10文字以上で、小文字、大文字、1文字以上の数字を含める必要があります。強力なパスワードを作成するには、[ESETパスワード生成ツール](#)を使用してください。

2. パスワードがデータ漏洩の危険にさらされている場合は、同じパスワードを使用しているすべてのサービスも危険にさらされます。[ESET Password Manager](#)を使用して、新しい一意のパスワードに変更し、すべてのパスワードを安全に保護して保存することを強くお勧めします。

! ESET HOMEアカウントのセキュリティを強化するために、二要素認証をアクティベーションすることをお勧めします。

利用規約

発効日: 2024年4月3日 | [以前のバージョンの利用規約を表示](#) | [変更の比較](#)

この利用規約(「規約」)は、ESET, spol. s r. o. (登録事業所所在地: Einsteinova 24, 85101 Bratislava, Slovak Republic) 商業登記: ブラチスラバ第3地方裁判所、有限会社部門、登録番号3586/B 事業登記番号: 31333532) (ESET または「供給者」と、ESETの標準化されたサブスクリプションソリューション(「ソリューション」)を使用する権利を取得しようとしたり、もしくは取得したりESET HOMEアカウント(「アカウント」)に登録してそれを使用したり、アカウント経由でESETが提供するサービスや機能(集合的に「サービス」)を利用したりする自然人、または小規模の事業体を形成する法人であるお客様(「お客様」、「ユーザー」)との間で締結される特別な合意であり、特にお客様の使用に関する契約条件を規定します。お客様が組織を代表して本サービスを取得または使用する場合、お客様は、その組織のために本規約に同意し、お客様がかかる権限を有することを保証するものとします。その場合、「ユーザー」および「お客様」はその組織を指します。

サービスの利用または購入、アカウントの作成前に、本規約をよくお読みください。本規約はお客様を拘束します。お客様とESETの契約は、(i) ESETまたはESETパートナーがお客様にソリューション購入確認メールを送信した場合(ii)お客様のアカウントが正常に作成された場合、または(iii)お客様が本サービスのいずれかの部分の使用を開始した場合のうち、いずれかが最初に起こった時点で締結されます。

本規約は、ESETのサービスの提供および利用に関する一般的な条件を規定するものです。一部のサービスまたはそのコンポーネントは、それらにのみ適用される追加の特別な規約(「特別な規約」)が適用されることがあります。かかる特別な規約が本規約に矛盾する場合には、特別な規約の条項が優先されるものとします。かかる特別な規約(該当する場合)は、[以下](#)または[ESETオンラインヘルプ](#)(「ドキュメント」)経由でアクセス可能な該当ドキュメントでご覧いただけます。さらに、本サービスまたはそのコ

ンポーメントの利用は、追加の前提条件または技術要件が適用される場合があります、それらは該当するドキュメントに詳しく記載されています。

サービスに関連する購入または支払い条件(該当する場合)、および初回の供給/配送条件は本規約の範囲外であり、お客様とESETまたは各サービスの購入元となるESETパートナーとの間で個別に合意されることに注意してください。

ESETのサービスは大人向けです。18歳未満の場合は、保護者または他の法的保護者が関与している場合にのみ、アカウントまたは関連するサービスを使用できます。

ESETのサービスとその利用

ESETのサービス。ほとんどのサービスでは、デバイスにローカルインストールする必要がある標準のESETソフトウェア製品(「製品」)を使用する必要があります。お客様は、(i)ESETソリューションのサブスクリプション(ii)アカウントを通じて提供される一部のサービスを含むESET製品ライセンス(以下「ライセンス」)を購入するか(iii)体験版を入手することにより、当社のサービスを利用する権利を取得できます。サービスは、個別の購入および支払い条件のもとでESETまたはESETパートナーから直接購入できます。本規約に従って提供される本サービスのより一般的な説明は[以下](#)を、詳細な仕様については該当する[ドキュメント](#)をご覧ください。

お客様に提供される正確なサービス、製品、および機能は、お客様の居住国、およびそれらを使用することを選んだプラットフォーム/オペレーティングシステムによって異なることに留意してください。したがって、一部の機能および製品は、お客様の国またはすべてのプラットフォーム/オペレーティングシステムで利用できない場合があります。また、お客様は本サービスを利用するためにESETの技術要件および前提条件を満たしていることを確認する必要があります。このトピックの詳細情報については、技術ドキュメントを参照してくださいESETは、サービスまたは機能を提供するために委託先を利用する場合があります。

サブスクリプションソリューション。ESETソリューションは、ESETの標準的なサービス、製品、機能およびティアに分類される特定の共通機能を提供するモジュール(「モジュール」)に組み込まれた機能(「ティア」)およびESETのティアから個別に購入できる標準的なスタンドアロン製品で構成されていますESETまたはESETパートナーを通じてソリューションに登録することにより、お客様は、合意されたサブスクリプション期間中、購入したソリューション、つまりソリューションティアに含まれる特定のモジュールおよび/またはスタンドアロン製品とともに提供される権利を取得します。モジュールおよびスタンドアロン製品の説明は[以下](#)の特別な規約セクションで、詳細な仕様は該当する[ドキュメント](#)で確認できます。

非サブスクリプションライセンス。ソリューションに登録していなくても、ライセンスを取得している場合、お客様は購入したライセンスの内容およびライセンスの期間に応じて、アカウントを通じて提供される一部のサービスを利用する資格を有する場合があります。このようなサービスのほとんどはESET製品に関連していて、お客様はアカウントからすべてのデバイスのライセンスを管理したり、ライセンスに追加機能を導入したりできます。本規約に従ってお客様に提供されるサービスは、ESET HOME®Anti-Theft®ペアレンタルコントロール、またはPassword Managerです。これらのサービスの説明は[以下](#)の特別な規約セクションで、詳細な仕様は該当する[ドキュメント](#)で確認できます。その他のサービスはソリューションの一部としてのみ提供されるため、お客様は本規約に従ってそれらの提供内容を利用する権利はありません。

サービス開始日。サービスの提供の開始日、つまりお客様が本サービスを利用できるようになる日は、お客様がソリューションまたはライセンスを購入した日付、製品認証キーを使用した日付、またはお客様がESETのソリューションまたはライセンスの体験版を取得/ダウンロードした日付となります。

アカウントアカウントにより、お客様はESETサービスにアクセスして使用できます。お客様がソリューションに登録した場合、アカウントの作成はお客様の義務となります。アカウントを作成しないと、サービスをアクティベーションして、利用することはできません。お客様がESETのソリューションに登録し

ていなくても、ライセンスを購入している場合、含まれているサービスをアカウント外で提供できないため、サービスを利用するにはアカウントが必要です。

ESET製品。サービスを利用するには、デバイスに必要なESET製品をインストールし、それらがインターネットに接続されていることを確認する必要があります。製品を利用するには、インストールプロセス中の各エンドユーザーライセンス契約(EULA)を承諾することが条件となります。また、該当[ドキュメント](#)で詳細に規定されている追加の前提条件または技術要件が適用される場合もあります。

アップデートESETのサービスは常に進化しているためESETは随時、お客様の許可または同意なしに、サービスの一部および含まれる製品のアップデート、アップグレード、置換(「アップデート」)を展開することがあります。すべてのアップデートは、本規約の目的上、展開後に本サービスの一部とみなされます。アップデートには、機能またはサービスに含まれる機能の追加、削除、変更、またはそれら全体の置換などが含まれます。お客様は、アップデートが完全に展開されるまで、影響を受けるサービスを利用できない場合があります。場合によってはESETのサービスを最大限活用するために、特定の製品アップデートをダウンロードまたはインストールする必要があります。必要なアップデートをインストールするまでESETはテクニカルサポートおよび新しいアップデートの提供を停止したり、お客様に提供されるサービスを制限したりする場合がありますESETには特定のアップデートをお客様に提供する義務はなく、アップデートが適切なタイミングおよびアップデートが適切であるかどうかを判断することがありますESETは、独自の裁量により(i)最新バージョン以外のバージョンのサービス、または(ii)サービスが動作するように設計されているオペレーティングシステムまたはその他のソフトウェアのバージョンに関連するサービスの利用をサポートするアップデートの提供を停止する場合があります。

アップデートに関するこれらのルールは、製品アップデートにも適用されます。製品アップデートは、製品設定で無効にしない限り、自動的にインストールされます。製品アップデートの提供には、サポート終了ポリシー(EOLポリシー)が適用される場合があります<https://go.eset.com/eolhome>をご覧ください。本製品または本製品の機能がEOLポリシーで定義されているサポート終了日に達した後は、アップデートが提供されません。

ESETの義務。本規約およびドキュメントに記載されている制限を条件としてESETは、しかるべき注意を払い、専門家として、本規約を遵守して、お客様にサービスを提供します。

お客様の権利。お客様がサービスを利用する権利は、非排他的、譲渡不可であり、本規約、特別な規約(該当する場合)、ドキュメントで規定されている条件と制限が適用され、これらの法的文書の遵守も適用されます。お客様は、慣習的な方法で、サービスとアカウントの想定されている目的でのみESETのサービスを使用できます。お客様が消費者である場合、お客様は個人的な非商業目的でのみそれらを使用することができます。お客様がESETのスモールビジネスソリューションを購入する小規模の事業体である場合、お客様は、事業活動に関連してESETのアカウントおよびサービスを使用することもできます。さらに、お客様は購入に応じて、合意された台数のデバイスで、ソリューションサブスクリプションの期間またはライセンスの期間中、本サービスを使用する権利を有しますESET(および供給者またはライセンサー)は、これらの規約または特別な規約によって明示的にお客様に付与されていないすべての権利を留保します。

お客様の同意。お客様が消費者である場合、消費者保護法の遵守のために、お客様は、お客様がアカウントを登録した(および追加の前提条件を満たした)直後に、ESETがお客様にサービスおよび関連する電子コンテンツを提供し始めることができるという明示的な同意をESETに付与します。お客様は、この同意をESETに付与することで、お客様が本規約に基づいて作成された契約を解除する権利を失うという通知を受けたことを確認します。

お客様の義務。お客様は、アカウントおよびサービスを使用し、ESET製品のアクティベーションコードまたは製品認証キー(総称して「アクティベーションコード」)およびパスワードを機密として安全に保管する責任があります。適用される法律で認められる最大の範囲において、お客様は、アカウントまたはアクティベーションコードにおいて発生するすべての活動に責任を負うことに同意します。アカウントおよびサービスの管理を維持し、他者によるアカウントおよびサービスへのアクセスを防止するため、お客様は他者にアクティベーションコードまたはパスワードを開示せず、デバイスへの第三者のアクセスを制限するものとします。お客様は、パスワードまたはアクティベーションコードが他のユーザーに

開示された場合、不正なユーザーがお客様のアカウントまたはサービスを使用した場合、またはこのような事象が発生する可能性があると感じる理由がある場合、ただちにESETに連絡する義務があります。さらに、お客様は、登録処理中またはアカウント経由でESETに提供したデータが正確かつ最新であること、その変更については[マイアカウント]セクションの情報を更新する方法でESETに通知することを保証するものとします。

禁止されている使用。お客様は次の行為をしないものとします(i)犯罪または詐欺行為に関連する、あるいはサービスおよびWebサイトの中断、停止、損害を引き起こす、他者に被害を及ぼす、または本規約およびドキュメントに反する方法で、違法な目的でサービスおよびアカウントを使用する行為(ii)サービス、製品またはその一部をサブライセンス付与する、他人へ賃貸もしくは他人から賃借、借用する、または商業サービスの提供目的でそれらを使用する行為(iii)製品またはサービス機能のリバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを行ったり、ソースコードを取得しようとする行為。ただし、そのような制限を設けることが法律によって明示的に禁止されている範囲内においては、この限りではない(iv)本規約に反するアクティベーションコードの使用に関わる、またはサービスを使用する権利を持たない人物へのアクティベーションコードの提供につながる行為。例えば、あらゆる形態の使用済みまたは未使用のアクティベーションコードの譲渡、不正な複製、複製または生成されたアクティベーションコードの配布ESETまたはESETパートナー以外のソースから取得したアクティベーションコードを使用したサービスの利用(v)他のユーザーが本サービスにアクセスする可能性を妨げる方法でサービスおよび機能を使用する行為ESETは個別のユーザーに提供されたサービスの範囲を制限し、ユーザーの最大数がサービスを利用できるようにする権利を有します。このような場合ESETは、お客様のアカウントを解除し、サービスの提供を中断するか、提供を拒否する権利を留保します。

お客様の承諾ESETは本サービスを提供する際、常に最高水準を目指しますが、お客様は以下を承諾するものとします(i) ESETは製品またはサービスが、お客様のデバイスに存在する可能性のある、またはオンラインまたはオフラインで遭遇する可能性のあるすべての脅威、脆弱性、マルウェア、または悪意のあるソフトウェアを発見、予防、警告、またはそれらに対して対応することを保証しないものとし、責任を負わないものとします(ii)お客様はドキュメント、ソフトウェア、およびその他のデータを定期的にバックアップして、損失または損害のリスクを防止または最小限に抑える必要があります(iii)本製品およびその他の関連ソフトウェアは、お客様において、常に利用可能で、稼働しており、かつ（定期的な更新およびアップグレードにより）最新の状態に保たれなければなりません(iv) ESETは、サービスまたは特定の機能の継続的な可用性、および応答時間を保証しません(v) ESETは、ドキュメント内のサービスおよびその機能の使用に制限を課したり、特定の種類の使用をブロックしたりする場合があります。

ESETESETその関連会社、パートナー、ディストリビューター、およびESETのサプライヤーは、お客様が上記の義務を履行しなかったこと、またはお客様が上記の確認事項に違反して本サービスに依拠したことによって生じるいかなる損失または損害に対しても責任を負いません。

テクニカルサポート。テクニカルサポートは、ESETまたはESETの依頼を受けた第三者の判断により提供され、いかなる種類の保証も表明も伴わないものとします。本製品またはその機能がEOLポリシーで定義されているサポート終了日に達した場合、テクニカルサポートが提供されません。お客様は、テクニカルサポートの提供前に、既存のデータ、ソフトウェア、およびプログラム機能をすべてバックアップする必要がありますESETおよび / またはESETの依頼を受けた第三者は、テクニカルサポートの提供によりお客様に生じたデータ、資産、ソフトウェアまたはハードウェアの損害または損失、もしくは利益の喪失について、いかなる責任も負いませんESETおよび / またはESETの依頼を受けた第三者は、問題をテクニカルサポートで解決できないと判断する権利がありますESETは、独自の判断により、テクニカルサポートの提供を拒否、中断、終了する権利があります。ライセンス情報、情報、およびプライバシーポリシーに準拠した他のデータは、テクニカルサポートを提供するために必要な場合があります。

アカウントのキャンセル。お客様はいつでもアカウントを解除できます。ただし、一部のサービスが利用できなくなります。

電子的なコミュニケーション

ESETは、サービスおよびアカウントの提供中を含め、本規約で想定される活動を実行するときに、電子的な手段でお客様とコミュニケーションを行います。ESETは、電子メールや、製品またはアカウント経由でのアプリ内通知を送信したりWebサイトにコミュニケーションを投稿したりする場合があります。お客様は、適用される法律で特に別のコミュニケーションの形態が義務付けられている場合を除き、規約、特別な規約、プライバシーポリシーの変更、契約の提案/承諾、またはキャンペーンの招待、通知または他の法的な通知に関するコミュニケーションを含め、電子的な形式でESETから法的な通知を受信すること、ならびにかかる電子的なコミュニケーションは書面を受け取った場合と同義に見なされることに同意します。

セキュリティとデータ保護

アカウントの登録と利用、およびサービスの提供とメンテナンスのために、つまり本規約と特別な規約に基づき、お客様とESETとの間で合意された契約の履行のために、お客様の氏名、国、有効な電子メールアドレスが必要です。お客様のデータは収集されESETサーバーまたはパートナーのサーバーに送信され、そこで処理されます。このようにして、アカウントとサービスの機能と提供、およびそれらを使用するための許可ESETの法的請求の行使と弁護、必要に応じてお客様にテクニカルサポートを提供することが保証されます。

さらに、お客様が使用することを選択したサービス、プライバシーおよびセキュリティ設定に応じて、お客様またはESETの製品またはサービスから直接追加のデータを収集する必要性が生じることがあります。ESETは、[プライバシーポリシー](#)に従いお客様または製品から取得したデータを処理します。そのデータには個人データが含まれる場合があります。お客様は、ソリューションの注文、アカウント登録または製品のインストール中にプライバシーポリシーを読むように指示されます。お客様は、アカウントおよびサービスのコンテキストでデータを処理する方法、ならびにデータ主体としてのお客様の権利に関する詳細が必要なときはいつでも、プライバシーポリシーを参照できます。お客様が使用するサービスまたは製品には追加のプライバシーポリシーが適用される場合があります。詳細については、関連するサービスまたは製品の[ドキュメント](#)をご覧ください。

お客様がサービスのビジネスユーザーで、データ管理者とみなされた場合、本規約の付録2に含まれるデータ処理契約がお客様のデータ処理に適用されます。そのような場合、本規約の付録3に含まれる標準契約条項はデータ処理契約に加えて、欧州経済地域または欧州委員会の決定によって安全な国であると指定された国以外での個人データの転送および処理に追加で適用されるものとします。

知的財産権

ESETまたは該当する供給者は、Webサイト、アプリケーション、製品(集合的に「ソフトウェア」)で提供されているソフトウェア、またはテキスト、文書、画像、ロゴ、アイコン、ボタン、またはデータベース(「コンテンツ」)などのWebサイトで提供されている他のコンテンツに対する著作権または他の知的財産権の所有者または保有者です。これらの規約および特別な規約の遵守と、適用される料金の支払いにより、お客様は、個人的な非商業目的で、これらの規約および特別な規約で許可されているサービスの使用に必要な場合にかぎり、本ソフトウェアおよびコンテンツを使用するための限定的、非排他的、サブライセンス不能、譲渡不能のライセンスが付与されます。お客様は、明示的な書面による同意なく、サービスの一部または内容を抽出または再利用すること(フレーミング技術を含む)が禁止されています。ESETおよびその供給者は、これらの規約または特別な規約で明示的にお客様に付与されていないすべての権利を留保します。

さらに、すべての製品およびサービスは、製品またはソフトウェアに付属しているか、その一部を構成しているエンドユーザーライセンス契約(EULA)に従った場合にのみ使用できます。エンドユーザーライセンス契約が付属している製品およびサービスは、契約に同意しないかぎりインストールできません。

ESETのモバイルアプリケーションをインストールし、アカウントおよび関連サービスにアクセスして使用することを選択した場合、これらの規約の付録1に含まれるアプリケーションエンドユーザーライセ

ンス契約が適用されます。

免責事項

お客様はエンドユーザーとして、明示または暗黙のいかなる種類の保証も伴わず、該当の法律によって許可される範囲において、本アカウントおよびサービスが「現状有姿」のまま提供されていることを認めるものとします。供給者、そのライセンス供給者、関係者、および著作権保有者のいずれも、本ソフトウェアの特定の目的に対する商品性または適合性、およびアカウントまたはサービスによる第三者の特許、著作権、商標、またはその他の権利に対する侵害の不存在について、明示または黙示を問わず、一切の表明または保証を行いません。供給者またはいかなる他者も、アカウントまたはサービスがお客様の要件を満たすこと、またはアカウントまたはサービスの動作が中断されず、瑕疵がないことを保証しません。お客様は、意図する結果に到達するための本アカウントおよびサービスの選択と使用、および本アカウントで達成される結果について、すべての責任とリスクを負います。

本規約で具体的に列挙される義務以外に、本規約が供給者およびそのライセンサーに対して課す義務はありません。

責任の制限

準拠法によって許可される最大限の範囲において、いかなる場合も、供給者、その被雇用者、請負業者は、どのような態様で発生したものであろうと、契約、違法行為、怠慢、または責任の発生を定めるその他の事実のいずれに起因するものであるかを問わず、アカウントまたはサービスを使用したことにより、またはそれらが使用できないことにより発生した、利益、収益、または売上の損失、データの喪失、補用品またはサービスの購入にかかった費用、物的損害、人的損害、事業の中断、企業情報の喪失、特別損害、直接損害、間接損害、偶発的損害、経済的損害、補填損害、懲罰的損害、特別または派生的損害に対し、一切責任を負わないものとします。これは、たとえ供給者、その請負業者、または関係者がそのような損害の可能性について通知を受けていた場合であっても同様です。一部の国および法律では、免責を認めず、しかし限定された範囲の責任を負うことは許可しています。その場合、供給者、その被雇用者、請負業者、または関係者の責任は、お客様が問題のサービスまたはアカウントの対価として支払った金額を限度とします。

輸出管理規制

(a) お客様は、直接的または間接的に、ESETまたはESETの持ち株会社ESETの子会社、持ち株会社の子会社、持ち株会社が管理する事業体による次のような輸出貿易管理法の違反または輸出貿易管理法の下で否定的な結果につながる一切の個人に対して本ソフトウェアを輸出、再輸出、移転、または提供せず、そのような方法でソフトウェアを使用せず、そのような行為に関与したりしないものとします。

- i. 米国、シンガポール、英国、欧州連合またはその加盟国、本条項の義務が履行される国、あるいはESETまたはその関連会社が登録または事業を行う国の政府、州、規制当局が発行または採用した、商品、ソフトウェア、技術、サービスの輸出、再輸出、または移転を統制、制限、またはライセンス要件を課すすべての法律。
- ii. 米国、シンガポール、英国、欧州連合またはその加盟国、本条項の義務が履行される国、あるいはESETまたはその関連会社が登録または事業を行う国の政府、州、規制当局が課した経済、金融、貿易、制裁、制限、禁止、輸出入禁止、資金または資産の移転の禁止、サービス提供の禁止、あるいは同等の対策（「貿易管理法」として上記のiおよびiiで参照される法律行為）。

(b) ESETは、次の場合において、本契約の義務を即時停止または解除する権利を有するものとします。

- i. ESETが、合理的な意見において、ユーザーが本輸出貿易管理法の(a)条の条項に違反したか違反する可能性が高いと判断した
- ii. ユーザーまたは本ソフトウェアに輸出貿易管理法が適用され、その結果としてESETが、合理的な意見において、本条項の義務の継続的な履行によってESETまたはその関連会社が輸出貿易管理法に違反するか、輸出貿易管理法の下で否定的な影響を受ける可能性があるかと判断した

(c) いずれの当事者も、適用される輸出貿易管理法に準拠しないか、輸出貿易管理法の下で罰則を受けるか、禁止される行為または不作為(あるいは行為または不作為に同意すること)を勧誘または義務付けられるように、本条項のいずれの条項も意図せず、何もそのように解釈または理解されない

準拠法および言語

本規約は、スロバキア法律に準拠し、これに従って解釈されるものとします。お客様および供給者は、準拠法と国際物品売買契約に関する国連条約との間で矛盾する規定については、これを適用しないことに同意します。お客様がEUに居住する消費者である場合は、居住国で適用される法律の義務条項によってお客様に付与される追加の保護策も提供されます。

お客様は、供給者に対する請求または紛争、あるいは本ソフトウェア、アカウント、またはサービスのお客様による使用に関係しているか、本規約または特別な規約(該当する場合)に起因するあらゆる請求または紛争について、スロバキアの裁判所単独の管轄権に明示的に同意するものとします。お客様が消費者で、EUに居住している場合、排他的管轄地域の地または居住するEU加盟国において消費者保護を施行する請求を申し立てることもできます。さらに、お客様は、オンラインの紛争解決プラットフォームを使用することができます。このプラットフォームは<https://ec.europa.eu/consumers/odr/>からアクセスできます。ただし、正式に請求を行う前に、最初にESETに問い合わせることを検討してください。

これらの条項の言語バージョン間に不一致がある場合は、[こちら](#)で提供されている英語版が常に優先されるものとします。

一般条項

ESETは、(i) アカウント、サービスWebサイトESETのビジネスの変更を反映する(ii) 法律、規制、セキュリティの理由から(iii) 悪用または被害を防止するため、関連するドキュメントを更新することで、いつでも、サービスを変更し、この規約、特別な規約、およびドキュメントまたはその一部を改訂する権利を留保します。これらの規約または特別な規約の改訂は電子メールで、あるいは製品またはアカウント経由でお客様に通知されます。お客様がこれらの規約または特別な規約の変更の提案に同意しない場合は、変更の通知を受領してから30日以内にアカウントまたは影響を受ける購入済みのサービスを解約できます。この期限内にアカウントまたはサービスを解約しない場合は、提案された変更が承認されたことと見なされ、変更の通知を受け取った日時点でお客側で変更が有効になります。

お問い合わせ先

疑問点や質問がある場合、または通知または請求を提出する場合は、[お問い合わせ詳細](#)または[テクニカルサポートページ](#)(技術的な問題が発生している場合)を使用して、お気軽にお問い合わせください。ESETは、問い合わせの受領から30日以内に問題を解決できるよう努めます。

サービス、サービスモジュールとその使用に関する特別な規約

1.ESET HOME

ESET HOME Webポータルとモバイルアプリケーションにより、お客様はアカウントに関連づけられたESETサービスと製品、およびアカウントを使用してESET製品をインストールしたデバイスを管理することができます。お客様は、このような関連付けられた製品および/またはサービスで保護されているデバイスのセキュリティ状態の表示、管理されたデバイスと製品に関する重要な通知の受信、有効期限切れのソリューションまたはライセンスの追加、購入、更新(別のプラットフォームを使用のことも)、デバイスへの製品のダウンロード、家族や友達との製品の共有、[ドキュメント](#)で説明されている他の機能の利用が可能です。正常にアカウントを作成すると、製品管理が有効になります。ただし、お客様は、1つ以上の製品をアカウントに関連付けると、ほとんどの機能を利用できます。[ドキュメント](#)には、お客様がアカウントから管理できる製品またはデバイスの最大数が記載されていることがあります。

2.ESET Endpoint Security

Modern Endpoint Securityは、オンラインとオフラインの脅威からデバイスを保護し、他のユーザーへのマルウェアの拡散を防ぐのに役立ちます。さらに、デバイスで発生する可能性のあるセキュリティインシデントを防止、検出、解決するのに役立ちます。Modern Endpoint Securityには、標準のウイルス対策とマルウェア対策保護の他に、ランサムウェア保護、Intelのスレットディテクションテクノロ

ジ、SysInspector、総当たり攻撃保護、ファイアウォールおよびESET LiveGuardなどのセキュリティ機能も含まれています。これは、お客様がティアの一部としてESETのソリューションに登録している場合にのみ利用できます。

Modern Endpoint Securityを使用するには、本サービスを利用するデバイスに関連する製品をインストールする必要があります。本製品には、コンピューターウイルスおよびその他の悪意のあるプログラム、ファイルURL、IPパケット、イーサネットフレームなどの不審、問題、潜在的に望ましくない、または潜在的に危険なオブジェクト(「侵入」)のサンプルを収集する機能が含まれ、インストール処理、デバイス、製品がインストールされているプラットフォームの情報、本製品の操作および機能の情報(「情報」)を含む(ただしこれらに限定されない)、これらのオブジェクトをESETに送信します。情報および侵入には、お客様または本製品がインストールされているデバイスの他のユーザーのデータ(ランダムまたは誤って取得された個人データを含む)、関連付けられたメタデータによる侵入の影響を受けるファイルが含まれる場合があります。

情報および侵入は次の製品機能によって収集される場合があります。

- i. LiveGridレピュテーションシステム機能には、侵入に関する単方向ハッシュの収集とESETへの送信が含まれます。この機能は、製品の標準設定で有効です。
- ii. LiveGridフィードバックシステム機能には、侵入を収集し、関連付けられたメタデータおよび情報とともにESETに送信する機能が含まれます。製品のインストール中にこの機能をアクティベーションできます。

ESETは、侵入の分析と調査、サービスの改善、およびサービスを使用する権利の検証の目的でのみ、受信した情報と侵入を使用します。ESETは、受信した侵入および情報の安全を確保するために適切な措置を講じます。本製品機能をアクティベーションすることで、プライバシーポリシーの規定に従い、関連する法規制に準拠して、侵入および情報はESETによって収集および処理される場合があります。この機能はいつでも無効にすることができます。

3. 安全なサーバー

サーバーセキュリティは、スモールビジネス向けのソリューションでのみ利用できます。ウイルス、トロイの木馬、ワーム、ルートキットを積極的に検出し、駆除を支援します。新しい種類のマルウェアにフラグを立ててWindows Serverオペレーティングシステムで実行されているファイルサーバーの保護をサポートします。さらにWebブラウザとリモートサーバ(SSLを含む)間の通信を監視し、マルウェアやフィッシングを検査するWebアクセスとフィッシング対策機能も含まれています。電子メールクライアント保護は、POP3(S)およびIMAP(S)プロトコルを介して受信する電子メール通信を管理します。ESET LiveGridは、ランサムウェア/ファイルコーダーに共通の方法でファイルを変更しようとするアプリケーションおよびプロセスの動作を監視します。アプリケーションの動作が悪意があると見なされた場合、またはレピュテーションベースの検査によりアプリケーションが疑わしいと示された場合、アプリケーションはブロックされ、処理を停止します。もしくはユーザーにアプリケーションをブロックするか許可するか判断を求めます。さらに、すべてのリムーバブルメディアをマルウェアがないか自動的に検査します。このサービスは、お客様がティアの一部としてESETのスモールビジネス向けソリューションに登録している場合にのみ利用できます。

4. バンキングとブラウジング保護

バンキングとブラウジング保護により、お客様はオンラインバンキングの使用、Webベースの暗号ウォレットへのアクセス、または閲覧時にセキュアブラウザを使用できます。これは、マルウェア、キー

ロギング、その他の種類のデジタル脅威からお客様を保護するのに役立ちます。このサービスは、お客様がESETのソリューションティアに登録している場合にのみ利用できます。

5. Webカメラアクセス制御

Webカメラアクセス制御は、Webカメラを使用しようとする試みがないか、お客様のコンピューターを監視します。予期しない試みを警告し、それらをブロックできるようにします。このサービスは、お客様がESETのソリューションティアに登録している場合にのみ利用できます。

6. ネットワーク検査

ネットワーク検査では、信頼できるネットワークおよびローカルネットワークに接続されたデバイスのセキュリティにおける脆弱性を特定することができます。また、接続されているデバイスのリストをデバイスの種類(プリンター、ルーター、モバイルデバイスなど)別に分類して提供し、ネットワークに接続されているものを示します。ネットワーク検査は、ルーターの脆弱性を特定し、ネットワークに接続されている時の保護レベルを改善するのに役立ちます。このサービスは、お客様がESETのソリューションティアに登録している場合にのみ利用できます。

7. ブラウザーのプライバシーおよびセキュリティ

ブラウザーのプライバシーおよびセキュリティは、ブラウザーのセキュリティを強化します。これには、選択したブラウザーにインストールできるブラウザー拡張機能が含まれています。インストール後、安全な検索結果と安全でない検索結果を区別し、フィッシングやその他のオンラインの脅威からお客様を保護するのに役立ちます。一部のソリューションティアでは、ブラウザーのプライバシーおよびセキュリティにメタデータクリーンアップ機能も含まれており、ブラウザーにアップロードされた画像からメタデータを削除できます。このサービスは、お客様がESETのソリューションティアに登録している場合にのみ利用できます。

8. ESET Password Manager

ESET Password ManagerはデジタルID管理ツールであり、ログイン資格情報や他のデータを安全に保存できます。使用にはESET Password Managerの[規約](#)および特別な[プライバシーポリシー](#)が適用されます。これらは規約およびアカウントのプライバシーポリシーに加えて適用されますESET Password Managerを使用するには、必要な製品をインストールし、アカウントをアクティベーションして、製品をアカウントに関連付ける必要があります。お客様のアカウントでは、他の便利な機能に加えてESET Password Managerのライセンスを管理し、友達や家族とライセンスを共有することで、その機能を最大限に活用できます。ただし、登録者またはライセンス所有者として、お客様はいつでもライセンスをキャンセルする権利を保有しますESET Password Managerは、ライセンスの一部として、またソリューションティアの一部として利用できます。

9. Secure Data

Secure Dataにより、お客様はコンピューターまたはリムーバブルドライブのデータを暗号化できます。このサービスは、お客様がESETのソリューションティアに登録している場合にのみ利用できます。

10. 仮想プライベートネットワーク

仮想プライベートネットワーク(ESET VPN)を使用すると、パブリックネットワークとプライベートネットワークを使用する時にプライベートネットワーク接続を確立できますESET VPNアプリでロケーションに接続すると、デバイスに新しいIPアドレスが割り当てられ、オンライントラフィックが暗号化されます。これにより、第三者がお客様のオンラインでの活動を追跡したり、データを取得したりすることが困難になります。このサービスは、お客様がESETのソリューションティアに登録している場合にのみ利用できます。

お客様は、VPNを悪用しないことに同意するものとします。悪用にはESET VPNを使用して、当社のビジネス、評判、従業員、その他のユーザー、設備、または個人に損害を与えたり、リスクを引き起こしたりする

ことVPNのセキュリティ関連機能の削除、回避、無効化、破損、または妨害を行うこと、スパム、ウイルス、アドウェア、スパイウェア、ワーム、またはその他の悪意のあるコードをインターネットにアップロードまたはその他の方法で広めるなど、あらゆる手段でVPNの動作を意図的に妨害したり、破損させることなどが含まれますが、これらに限られません。お客様は、VPNの悪用、お客様による本規約の違反、または本契約におけるお客様による表明、保証、および誓約の違反に起因する請求、損失、損害、責任(弁護士費用を含む)からESETとその関連会社、請負業者、従業員、代理人、および第三者のサプライヤー、ライセンサー、パートナーを補償、保護し、無害に保つことに同意するものとします。

ESETは、お客様が本規約に違反してVPNを使用した場合、あるいはお客様側の不適切または違法な行為に関与した場合、通知の有無にかかわらず、いつでもVPNへのアクセスを終了、一時停止、制限する権利を留保します。

11. Anti-Theft

Anti-Theftは、インストールされているコンピューターまたは他のデバイスの紛失や盗難に直接関連する重要データの喪失や悪用を防止するように支援します。Anti-Theftは、ライセンスの一部として、またソリューションティアの一部として利用できます。

Anti-Theftは、関連付けられた製品の既定の設定でオフにされています。Anti-Theftを使用するには、必要な製品をインストールし、Anti-Theft機能をアクティベーションして、製品をアカウントに関連付ける必要があります。コンピューターまたは他のデバイスの盗難や紛失の場合にはAnti-Theftと関連データの収集をアクティベーションするように選択することができます。製品のこの機能をアクティベーションする場合は、紛失したデバイスに関するデータが収集されESETに送信されます。これには、デバイスのネットワーク位置情報データ、画面に表示された内容のデータ、設定データ、および接続されたカメラによって記録されたデータが含まれることがあります。お客様は、デバイスの紛失が原因の問題を修正する目的でのみAnti-Theftで取得され、アカウント経由で提供されたデータを使用できます。ESETは、お客様に本サービスを提供するためにのみ、[プライバシーポリシー](#)の規定に従い、関連する法規制に準拠しながら、データを処理します。お客様はいつでもこの機能を無効にすることができます。

Anti-Theftは、デバイスの盗難または紛失があった場合に、お客様が正当な権利とアクセス権を有するデバイスに関連してのみ使用されるものとします。不法、有害と見なされうる使用、または他者の権利に干渉したり悪影響を与えたりする可能性がある使用が特定された場合、管轄当局に報告され、サービスへのアクセスが制限される場合があります。ESETは関連する法律を遵守し、悪用の場合には法執行機関を支援します。

本規約に同意することで、お客様は、Anti-Theftの提供と使用、および提供のコンテキストにおけるデータの処理も、関連付けられたESET Anti-Theftソフトウェアのエンドユーザーライセンス契約およびプライバシーポリシーによって規制されることを承諾します。これらは[ドキュメント](#)で提供され、ソフトウェアのインストール手順中に承諾する必要があります。

12. ESET Parental Control

ESET Parental Controlでは、管理されたユーザー(お子様など)による特定のカテゴリのWebサイトやモバイルアプリケーションへのアクセスを制御したり、管理されたユーザーに対して時間管理ルールを設定したり、関連する製品がインストールされESET Parental Controlがアクティブになっているデバイスの位置情報検索を使用したりできます。ESET Parental Controlは、ライセンス、ソリューションティア、ならびにソリューションの一部として購入したAndroid用のスタンドアロン製品として利用できます。

ESET Parental Controlを使用するには、製品(およびアクティブなESET Parental Control)をご使用のアカウントに関連付ける必要があります。お客様は、同じ製品を同時に複数のアカウントに関連付けることが禁止されています。アカウントへのアクセス権を持つユーザーは、1台以上のデバイスを持つ管理対象ユーザーのプロファイルを作成できます。ESETは、ユーザーが使用するプロファイルとデバイスの数を制限する権利を留保します。

正常に機能するために、アクティブなESET Parental Controlは供給者に情報を送信します。これには、アクセスされたWebサイト、位置情報、モバイルアプリケーション、使用しているデバイスに関する情報、ESET Parental Controlの動作と機能に関する情報などが含まれますが、これらに限定されません。かかる情報には、お客様または他の管理対象ユーザーに関するデータ(無作為または誤って取得された個人データを含む)、デバイス、インストールされているオペレーティングシステムやアプリケーションに関する情報が含まれる場合があります。ESETは、適切な手段を講じ、受信したすべての情報を機密に保つことを保証するものとします。

お客様が合法的な権利およびアクセスを有する管理されたユーザーのデバイスに関連する場合にかぎりESET Parental Controlを使用できます。不法、有害と見なされうる使用、または他者の権利に干渉したり悪影響を与えたりする可能性がある使用が特定された場合、管轄当局に報告され、サービスへのアクセスが制限される場合があります。ESETは関連する法律を遵守し、悪用の場合には法執行機関を支援します。

本規約に同意することで、お客様は、ESET Parental Controlの提供と使用、および提供のコンテキストにおけるデータの処理も、関連付けられたESET Parental Controlソフトウェアのエンドユーザーライセンス契約およびプライバシーポリシーによって規制されることを承諾します。これらは [ドキュメント](#) で提供され、ソフトウェアのインストール手順中に承諾する必要があります。

13.ID保護

ID保護は、お客様の個人情報、クレジット情報、財務情報を保護することを目的とする第三者サービスです。継続的に監視することで、個人情報の違法な販売を検出するのに役立ちます。ID保護によって個人情報が危険にさらされていると評価されると、デバイスにアラートが表示されます。ID保護は、お客様がESETのソリューションティアに登録している場合にのみ利用できます。

お客様の管轄地域内でID保護が利用できる場合、お客様はID保護が第三者のサービスプロバイダーによってのみ提供されることを認め、同意するものとします。そのようなサービスから生じる規定、規約、条件、および責任は、それぞれの第三者サービスプロバイダーの条件にのみ準拠します。ESETは、かかるサービスの有効性、正確性、または完全性に関していかなる表明、保証、または約束も行わず、お客様によるID保護サービスへの依存または使用に起因する請求、損失、または損害について一切の責任を追わないものとします。

14. スタンドアロン製品ESET NOD32 Antivirus、ESET Mobile Security for Android、ESET Smart TV Security

お客様が、ESETのソリューションに含まれるスタンドアロン製品のいずれかに登録している場合、お客様はそれぞれの製品を使用する権利を付与され、特定のサービスを受ける資格があります。ESET NOD32 Antivirus、ESET Mobile Security for AndroidおよびESET Smart TV Securityは、ウイルスやマルウェアからデバイスを保護するのに役立つ基本的なソリューションです。それらを使用するには、本サービスを利用するデバイスに関連製品をインストールする必要があります。

これらの製品には、侵入と情報のサンプルを収集し、ESETに送信する機能が含まれています。情報および侵入には、お客様または本製品がインストールされているデバイスの他のユーザーのデータ(ランダムまたは誤って取得された個人データを含む)、関連付けられたメタデータによる侵入の影響を受けるファイルが含まれる場合があります。情報および侵入は次の製品機能によって収集される場合があります。

- i. LiveGridレピュテーションシステム機能には、侵入に関する単方向ハッシュの収集とESETへの送信が含まれます。この機能は、製品の標準設定で有効です。
- ii. LiveGridフィードバックシステム機能には、侵入を収集し、関連付けられたメタデータおよび情報とともにESETに送信する機能が含まれます。製品のインストール中にこの機能をアクティベーションできます。

ESETは、侵入の分析と調査、サービスの改善、およびサービスを使用する権利の検証の目的でのみ、受

信した情報と侵入を使用します。ESETは、受信した侵入および情報の安全を確保するために適切な措置を講じます。本製品機能をアクティベーションすることで、プライバシーポリシーの規定に従い、関連する法規制に準拠して、侵入および情報はESETによって収集および処理される場合があります。この機能はいつでも無効にすることができます。

付録1

[ESET HOMEアプリケーションエンドユーザーライセンス契約](#)

付録2

[データ処理契約](#)

付録3

[標準契約条項](#)

データ処理契約

欧州議会および2016年4月27日に行われた協議会で決定された、個人データの処理に伴う自然人の保護、およびかかるデータの自由な移動に関する規制(EU) 2016/679の要件、ならびに指令95/46/ECの廃止(GDPR)に従い、供給者(「処理者」)およびお客様(「管理者」)は、個人データの処理、データ保護の方法に関する契約条件を定義し、主契約として本条項の主題を履行する過程において、管理者の代理としてデータ主体の個人データを処理する際の両当事者のその他の権利と義務を定義する目的で、データ処理契約関係を締結します。

1. 個人データ取扱い。これらの条項に従って提供されるサービスには、[プライバシーポリシー](#)に記載されている特定された自然人または特定可能な自然人に関連する情報(「個人データ」)の処理が含まれます。

2. 許可。管理者は、処理者が次の手順を含む個人データを処理することを許可します。

(i) 「処理の目的」とは、これらの条項に従ったサービスの提供を意味するものとする処理者は、管理者が要求したサービスの提供に関して管理者の代理として個人データを処理することのみが許可されています。他の目的で収集されたすべての情報は、管理者と処理者の契約上の関係外で処理されます。

(ii) 処理期間は、これらの条項の下における協力の開始時点からサービスの解除までの期間を意味するものとする

(iii) 個人データの範囲と分類本サービスは、一般的な個人データの処理のみを目的としています。ただし、管理者は個人データ範囲の決定についてのみ責任を負います。

(iv) 「データ主体」とは、管理者のデバイスの許可されたユーザーである自然人を意味するものとする

(v) 処理業務とは、処理に必要なすべての業務を意味するものとする

(vi) 「文書化された手順」とは、これらの条項、付録、プライバシーポリシー、およびサービスのドキュメントに記載された手順を意味するものとする管理者は、データ保護法の該当する条項に関して、処理者が個人データを処理することを法的に認める責任を負うものとします。

3. 処理者の義務。処理者は次の義務を負うものとします。

(i) 文書化された手順を根拠とし、条項、付録、プライバシーポリシー、サービスドキュメントで定義された目的でのみ個人データを処理する。

(ii) 違反の場合に、その責任において、許可された個人(「許可された個人」)に、GDPRに従った権利と義務に関する個人データの処理を指示し、許可された個人が機密保持契約を遵守し、文書化された指示に従っていることを保証する。

(iii) 条項、付録、プライバシーポリシー、およびサービスドキュメントに記載された対策を導入し、それに従う。

(iv) データ主体の権利に関連するデータ主体からの要求に対応して管理者を支援する。処理者は、管理者の指示なく、個人データの処理を修正、削除、または制限しないものとします。管理者の代理として処理された個人データに関連するデータ主体からのすべての要求は、遅延なく管理者に転送されるものとします。

(v) 監督当局およびデータ主体に対する個人データ違反の通知について管理者を支援する。処理者は、個人データの処理の違反または個人データのセキュリティの侵害を検出した場合すみやかに管理者に通知するものとします。処理者は、このような違反の調査および修正において合理的な範囲で協力し、さらなる悪影響を制限するために合理的な対策を講じるものとします。

(vi) 処理期間の終了後に、すべての個人データを削除するか、管理者に返却する管理者の選択。管理者は、処理期間の終了後、10日以内に決定について処理者に通知する責任を負います。この条項は、公共の利益、科学的研究目的、統計目的、または法的請求の確立、行使、または防御の目的で、データをアーカイブするために必要な範囲に限り、個人データを保持する処理者の権利に影響を及ぼさないものとします。

(vii) 管理者の代理として実行した処理活動のすべての分類について、最新の記録を保持する

(viii) 条項、付録、プライバシーポリシー、およびサービス文書の一部としてコンプライアンスを実証するために必要なすべての情報を管理者に提供する。管理者側からの個人データ処理の監査または統制の場合には、管理者は監査または統制予定日の少なくとも30日前までに書面で処理者に通知する義務を負うものとします。

4.別の処理者の関与。処理者は、これらの条項と付録、プライバシーポリシー、およびサービスドキュメントに準拠して、サービスのためのクラウドストレージおよびインフラストラクチャの準備といった特定の処理活動を実行するために、他の処理者を関与させることが認められています。現在Microsoftは、Azureクラウドサービスの一部としてクラウドストレージとインフラストラクチャを提供しています。このような場合であっても、処理者は単独の窓口であり、コンプライアンスに責任を負う当事者であるものとします。処理者は、かかる変更に対抗する可能性の目的で、別の処理者の追加または交換について管理者に通知する責任を負うものとします。

5.処理の地域。処理者は、管理者の決定に基づき、欧州経済地域または欧州委員会の決定による安全な国であると指定された国で処理が行われることを保証します。標準契約条項は、管理者の要求に応じて、欧州経済地域または欧州委員会の決定による安全な国であると指定された国以外での転送および処理に適用されるものとします。

6.セキュリティ。処理者はISO27001:2013の認証を受け、ネットワーク、オペレーティングシステム、データベース、アプリケーション、要員および業務プロセスの改造でセキュリティ統制を適用するときにはISO 27001フレームワークを使用して、階層型の防御セキュリティ戦略を実装します。規制要件および契約要件の遵守は、他のインフラストラクチャおよび処理者の業務に対して同様に定期的に評価され、確認されます。また、コンプライアンスのための必要な手順が継続的に実施されます。処理者は、ISO 27001に基づきISMSを使用して、データセキュリティを整理しました。セキュリティドキュメントには、情報セキュリティ、物理セキュリティおよび装置のセキュリティ、インシデント管理、データ漏えいおよびセキュリティインシデントの対応などのポリシー文書が主に含まれています。

7.技術的および組織的な対策。処理者は、偶発的および不法な損害および破壊、偶発的な損失、変更、不正なアクセスおよび開示に対して個人データを保護するものとします。この目的のために、処理者は、処理のモードと、GDPRの要件に準拠して、データ主体の権利の処理によって提示されるリスクに対応す

る適切な技術的および組織的な対策を採用するものとします。技術的および組織的な対策の詳細については、[セキュリティポリシー](#)を参照してください。

8. 処理者の連絡先情報。個人データ保護に関するすべての通知、要求、要望、他の連絡事項は、ESET, spol. s.r.o. ESET, spol. s.r.o.: Data Protection Officer, Einsteinova 24, 85101 Bratislava, Slovak Republic, email: dpo@eset.sk.

標準契約条項

SECTION I

Clause 1 Purpose and scope

(a) The purpose of these standard contractual clauses is to ensure compliance with the requirements of Regulation (EU) 2016/679 of the European Parliament and of the Council of 27 April 2016 on the protection of natural persons with regard to the processing of personal data and on the free movement of such data (General Data Protection Regulation) (1) for the transfer of personal data to a third country.

(b) The Parties:

(i) the natural or legal person(s), public authority/ies, agency/ies or other body/ies (hereinafter 'entity/ies') transferring the personal data, as listed in Annex I.A (hereinafter each 'data exporter'), and

(ii) the entity/ies in a third country receiving the personal data from the data exporter, directly or indirectly via another entity also Party to these Clauses, as listed in Annex I.A (hereinafter each 'data importer')

have agreed to these standard contractual clauses (hereinafter: 'Clauses').

(c) These Clauses apply with respect to the transfer of personal data as specified in Annex I.B.

(d) The Appendix to these Clauses containing the Annexes referred to therein forms an integral part of these Clauses.

Clause 2 Effect and invariability of the Clauses

(a) These Clauses set out appropriate safeguards, including enforceable data subject rights and effective legal remedies, pursuant to Article 46(1) and Article 46(2)(c) of Regulation (EU) 2016/679 and, with respect to data transfers from controllers to processors and/or processors to processors, standard contractual clauses pursuant to Article 28(7) of Regulation (EU) 2016/679, provided they are not modified, except to select the appropriate Module(s) or to add or update information in the Appendix. This does not prevent the Parties from including the standard contractual clauses laid down in these Clauses in a wider contract and/or to add other clauses or additional safeguards, provided that they do not contradict, directly or indirectly, these Clauses or prejudice the fundamental rights or freedoms of data subjects.

(b) These Clauses are without prejudice to obligations to which the data exporter is subject by virtue of Regulation (EU) 2016/679.

Clause 3 Third-party beneficiaries

(a) Data subjects may invoke and enforce these Clauses, as third-party beneficiaries, against the data exporter and/or data importer, with the following exceptions:

(i) Clause 1, Clause 2, Clause 3, Clause 6, Clause 7;

(ii) Clause 8 – Module One: Clause 8.5 (e) and Clause 8.9(b); Module Two: Clause 8.1(b), 8.9(a), (c), (d) and (e); Module Three: Clause 8.1(a), (c) and (d) and Clause 8.9(a), (c), (d), (e), (f) and (g); Module Four: Clause 8.1 (b) and Clause 8.3(b);

(iii) Clause 9 – Module Two: Clause 9(a), (c), (d) and (e); Module Three: Clause 9(a), (c), (d) and (e);

(iv) Clause 12 – Module One: Clause 12(a) and (d); Modules Two and Three: Clause 12(a), (d) and (f);

(v) Clause 13;

(vi) Clause 15.1(c), (d) and (e);

(vii) Clause 16(e);

(viii) Clause 18 – Modules One, Two and Three: Clause 18(a) and (b); Module Four: Clause 18.

(b) Paragraph (a) is without prejudice to rights of data subjects under Regulation (EU) 2016/679.

Clause 4 Interpretation

(a) Where these Clauses use terms that are defined in Regulation (EU) 2016/679, those terms shall have the same meaning as in that Regulation.

(b) These Clauses shall be read and interpreted in the light of the provisions of Regulation (EU) 2016/679.

(c) These Clauses shall not be interpreted in a way that conflicts with rights and obligations provided for in Regulation (EU) 2016/679.

Clause 5 Hierarchy

In the event of a contradiction between these Clauses and the provisions of related agreements between the Parties, existing at the time these Clauses are agreed or entered into thereafter, these Clauses shall prevail.

Clause 6 Description of the transfer(s)

The details of the transfer(s), and in particular the categories of personal data that are transferred and the purpose(s) for which they are transferred, are specified in Annex I.B.

Clause 7 – Optional Docking clause

(a) An entity that is not a Party to these Clauses may, with the agreement of the Parties, accede to these Clauses at any time, either as a data exporter or as a data importer, by completing the Appendix and signing Annex I.A.

(b) Once it has completed the Appendix and signed Annex I.A, the acceding entity shall become a Party to these Clauses and have the rights and obligations of a data exporter or data importer in accordance with its designation in Annex I.A.

(c) The acceding entity shall have no rights or obligations arising under these Clauses from the period prior to becoming a Party.

SECTION II – OBLIGATIONS OF THE PARTIES

Clause 8 Data protection safeguards

The data exporter warrants that it has used reasonable efforts to determine that the data importer is able, through the implementation of appropriate technical and organisational measures, to satisfy its obligations under these Clauses.

MODULE ONE: Transfer controller to controller

8.1 Purpose limitation

The data importer shall process the personal data only for the specific purpose(s) of the transfer, as set out in Annex I.B. It may only process the personal data for another purpose:

- (i) where it has obtained the data subject's prior consent;
- (ii) where necessary for the establishment, exercise or defence of legal claims in the context of specific administrative, regulatory or judicial proceedings; or
- (iii) where necessary in order to protect the vital interests of the data subject or of another natural person.

8.2 Transparency

(a) In order to enable data subjects to effectively exercise their rights pursuant to Clause 10, the data importer shall inform them, either directly or through the data exporter:

- (i) of its identity and contact details;
- (ii) of the categories of personal data processed;
- (iii) of the right to obtain a copy of these Clauses;
- (iv) where it intends to onward transfer the personal data to any third party/ies, of the recipient or categories of recipients (as appropriate with a view to providing meaningful information), the purpose of such onward transfer and the ground therefore pursuant to Clause 8.7.

(b) Paragraph (a) shall not apply where the data subject already has the information, including when such information has already been provided by the data exporter, or providing the information proves impossible or would involve a disproportionate effort for the data importer. In the latter case, the data importer shall, to the extent possible, make the information publicly available.

(c) On request, the Parties shall make a copy of these Clauses, including the Appendix as completed by them, available to the data subject free of charge. To the extent necessary to protect business secrets or other confidential information, including personal data, the Parties may redact part of the text of the Appendix prior to sharing a copy, but shall provide a meaningful summary where the data subject would otherwise not be able to understand its content or exercise his/her rights. On request, the Parties shall provide the data subject with the reasons for the redactions, to the extent possible without revealing the redacted information.

(d) Paragraphs (a) to (c) are without prejudice to the obligations of the data exporter under Articles 13 and 14 of Regulation (EU) 2016/679.

8.3 Accuracy and data minimisation

(a) Each Party shall ensure that the personal data is accurate and, where necessary, kept up to date. The data importer shall take every reasonable step to ensure that personal data that is inaccurate, having regard to the purpose(s) of processing, is erased or rectified without delay.

(b) If one of the Parties becomes aware that the personal data it has transferred or received is inaccurate, or has become outdated, it shall inform the other Party without undue delay.

(c) The data importer shall ensure that the personal data is adequate, relevant and limited to what is necessary in relation to the purpose(s) of processing.

8.4 Storage limitation

The data importer shall retain the personal data for no longer than necessary for the purpose(s) for which it is processed. It shall put in place appropriate technical or organisational measures to ensure compliance with this obligation, including erasure or anonymisation (2) of the data and all back-ups at the end of the retention period.

8.5 Security of processing

(a) The data importer and, during transmission, also the data exporter shall implement appropriate technical and organisational measures to ensure the security of the personal data, including protection against a breach of security leading to accidental or unlawful destruction, loss, alteration, unauthorised disclosure or access (hereinafter 'personal data breach'). In assessing the appropriate level of security, they shall take due account of the state of the art, the costs of implementation, the nature, scope, context and purpose(s) of processing and the risks involved in the processing for the data subject. The Parties shall in particular consider having recourse to encryption or pseudonymisation, including during transmission, where the purpose of processing can be fulfilled in that manner.

(b) The Parties have agreed on the technical and organisational measures set out in Annex II. The data importer shall carry out regular checks to ensure that these measures continue to provide an appropriate level of security.

(c) The data importer shall ensure that persons authorised to process the personal data have committed themselves to confidentiality or are under an appropriate statutory obligation of confidentiality.

(d) In the event of a personal data breach concerning personal data processed by the data importer under these Clauses, the data importer shall take appropriate measures to address the personal data breach, including measures to mitigate its possible adverse effects.

(e) In case of a personal data breach that is likely to result in a risk to the rights and freedoms of natural persons, the data importer shall without undue delay notify both the data exporter and the competent supervisory authority pursuant to Clause 13. Such notification shall contain i) a description of the nature of the breach (including, where possible, categories and approximate number of data subjects and personal data records concerned), ii) its likely consequences, iii) the measures taken or proposed to address the breach, and iv) the details of a contact point from whom more information can be obtained. To the extent it is not possible for the data importer to provide all the information at the same time, it may do so in phases without undue further delay.

(f) In case of a personal data breach that is likely to result in a high risk to the rights and freedoms of natural persons, the data importer shall also notify without undue delay the data subjects concerned of the personal data breach and its nature, if necessary in cooperation with the data exporter, together with the information referred to in paragraph (e), points ii) to iv), unless the data importer has implemented measures to significantly reduce the risk to the rights or freedoms of natural persons, or notification would involve disproportionate efforts. In the latter case, the data importer shall instead issue a public communication or take a similar measure to inform the public of the personal data breach.

(g) The data importer shall document all relevant facts relating to the personal data breach, including its effects and any remedial action taken, and keep a record thereof.

8.6 Sensitive data

Where the transfer involves personal data revealing racial or ethnic origin, political opinions, religious or philosophical beliefs, or trade union membership, genetic data, or biometric data for the purpose of uniquely identifying a natural person, data concerning health or a person's sex life or sexual orientation, or data relating to criminal convictions or offences (hereinafter 'sensitive data'), the data importer shall apply specific restrictions and/or additional safeguards adapted to the specific nature of the data and the risks involved. This may include restricting the personnel permitted to access the personal data, additional security measures (such as pseudonymisation) and/or additional restrictions with respect to further disclosure.

8.7 Onward transfers

The data importer shall not disclose the personal data to a third party located outside the European Union (3) (in the same country as the data importer or in another third country, hereinafter 'onward transfer') unless the third party is or agrees to be bound by these Clauses, under the appropriate Module. Otherwise, an onward transfer by the data importer may only take place if:

(i) it is to a country benefitting from an adequacy decision pursuant to Article 45 of Regulation (EU) 2016/679 that covers the onward transfer;

(ii) the third party otherwise ensures appropriate safeguards pursuant to Articles 46 or 47 of Regulation (EU) 2016/679 with respect to the processing in question;

(iii) the third party enters into a binding instrument with the data importer ensuring the same level of data protection as under these Clauses, and the data importer provides a copy of these safeguards to the data exporter;

(iv) it is necessary for the establishment, exercise or defence of legal claims in the context of specific administrative, regulatory or judicial proceedings;

(v) it is necessary in order to protect the vital interests of the data subject or of another natural person; or

(vi) where none of the other conditions apply, the data importer has obtained the explicit consent of the data subject for an onward transfer in a specific situation, after having informed him/her of its purpose(s), the identity of the recipient and the possible risks of such transfer to him/her due to the lack of appropriate data protection safeguards. In this case, the data importer shall inform the data exporter and, at the request of the latter, shall transmit to it a copy of the information provided to the data subject.

Any onward transfer is subject to compliance by the data importer with all the other safeguards under these Clauses, in particular purpose limitation.

8.8 Processing under the authority of the data importer

The data importer shall ensure that any person acting under its authority, including a processor, processes the data only on its instructions.

8.9 Documentation and compliance

(a) Each Party shall be able to demonstrate compliance with its obligations under these Clauses. In particular, the data importer shall keep appropriate documentation of the processing activities carried out under its responsibility.

(b) The data importer shall make such documentation available to the competent supervisory authority on request.

MODULE TWO: Transfer controller to processor

8.1 Instructions

(a) The data importer shall process the personal data only on documented instructions from the data exporter. The data exporter may give such instructions throughout the duration of the contract.

(b) The data importer shall immediately inform the data exporter if it is unable to follow those instructions.

8.2 Purpose limitation

The data importer shall process the personal data only for the specific purpose(s) of the transfer, as set out in Annex I.B, unless on further instructions from the data exporter.

8.3 Transparency

On request, the data exporter shall make a copy of these Clauses, including the Appendix as completed by the Parties, available to the data subject free of charge. To the extent necessary to protect business secrets or other confidential information, including the measures described in Annex II and personal data, the data exporter may redact part of the text of the Appendix to these Clauses prior to sharing a copy, but shall provide a meaningful summary where the data subject would otherwise not be able to understand the its content or exercise his/her rights. On request, the Parties shall provide the data subject with the reasons for the redactions, to the extent possible without revealing the redacted information. This Clause is without prejudice to the obligations of the data exporter under Articles 13 and 14 of Regulation (EU) 2016/679.

8.4 Accuracy

If the data importer becomes aware that the personal data it has received is inaccurate, or has become outdated, it shall inform the data exporter without undue delay. In this case, the data importer shall cooperate with the data exporter to erase or rectify the data.

8.5 Duration of processing and erasure or return of data

Processing by the data importer shall only take place for the duration specified in Annex I.B. After the end of the provision of the processing services, the data importer shall, at the choice of the data exporter, delete all personal data processed on behalf of the data exporter and certify to the data exporter that it has done so, or return to the data exporter all personal data processed on its behalf and delete existing copies. Until the data is deleted or returned, the data importer shall continue to ensure compliance with these Clauses. In case of local laws applicable to the data importer that prohibit return or deletion of the personal data, the data importer warrants that it will continue to ensure compliance with these Clauses and will only process it to the extent and for as long as required under that local law. This is without prejudice to Clause 14, in particular the requirement for the data importer under Clause 14(e) to notify the data exporter throughout the duration of the contract if it has reason to believe that it is or has become subject to laws or practices not in line with the requirements under Clause 14(a).

8.6 Security of processing

(a) The data importer and, during transmission, also the data exporter shall implement appropriate technical and organisational measures to ensure the security of the data, including protection against a breach of security leading to accidental or unlawful destruction, loss, alteration, unauthorised disclosure or access to that data (hereinafter 'personal data breach'). In assessing the appropriate level of security, the Parties shall take due

account of the state of the art, the costs of implementation, the nature, scope, context and purpose(s) of processing and the risks involved in the processing for the data subjects. The Parties shall in particular consider having recourse to encryption or pseudonymisation, including during transmission, where the purpose of processing can be fulfilled in that manner. In case of pseudonymisation, the additional information for attributing the personal data to a specific data subject shall, where possible, remain under the exclusive control of the data exporter. In complying with its obligations under this paragraph, the data importer shall at least implement the technical and organisational measures specified in Annex II. The data importer shall carry out regular checks to ensure that these measures continue to provide an appropriate level of security.

(b) The data importer shall grant access to the personal data to members of its personnel only to the extent strictly necessary for the implementation, management and monitoring of the contract. It shall ensure that persons authorised to process the personal data have committed themselves to confidentiality or are under an appropriate statutory obligation of confidentiality.

(c) In the event of a personal data breach concerning personal data processed by the data importer under these Clauses, the data importer shall take appropriate measures to address the breach, including measures to mitigate its adverse effects. The data importer shall also notify the data exporter without undue delay after having become aware of the breach. Such notification shall contain the details of a contact point where more information can be obtained, a description of the nature of the breach (including, where possible, categories and approximate number of data subjects and personal data records concerned), its likely consequences and the measures taken or proposed to address the breach including, where appropriate, measures to mitigate its possible adverse effects. Where, and in so far as, it is not possible to provide all information at the same time, the initial notification shall contain the information then available and further information shall, as it becomes available, subsequently be provided without undue delay.

(d) The data importer shall cooperate with and assist the data exporter to enable the data exporter to comply with its obligations under Regulation (EU) 2016/679, in particular to notify the competent supervisory authority and the affected data subjects, taking into account the nature of processing and the information available to the data importer.

8.7 Sensitive data

Where the transfer involves personal data revealing racial or ethnic origin, political opinions, religious or philosophical beliefs, or trade union membership, genetic data, or biometric data for the purpose of uniquely identifying a natural person, data concerning health or a person's sex life or sexual orientation, or data relating to criminal convictions and offences (hereinafter 'sensitive data'), the data importer shall apply the specific restrictions and/or additional safeguards described in Annex I.B.

8.8 Onward transfers

The data importer shall only disclose the personal data to a third party on documented instructions from the data exporter. In addition, the data may only be disclosed to a third party located outside the European Union (4) (in the same country as the data importer or in another third country, hereinafter 'onward transfer') if the third party is or agrees to be bound by these Clauses, under the appropriate Module, or if:

(i) the onward transfer is to a country benefitting from an adequacy decision pursuant to Article 45 of Regulation (EU) 2016/679 that covers the onward transfer;

(ii) the third party otherwise ensures appropriate safeguards pursuant to Articles 46 or 47 Regulation of (EU) 2016/679 with respect to the processing in question;

(iii) the onward transfer is necessary for the establishment, exercise or defence of legal claims in the context of specific administrative, regulatory or judicial proceedings; or

(iv) the onward transfer is necessary in order to protect the vital interests of the data subject or of another natural person.

Any onward transfer is subject to compliance by the data importer with all the other safeguards under these Clauses, in particular purpose limitation.

8.9 Documentation and compliance

(a) The data importer shall promptly and adequately deal with enquiries from the data exporter that relate to the processing under these Clauses.

(b) The Parties shall be able to demonstrate compliance with these Clauses. In particular, the data importer shall keep appropriate documentation on the processing activities carried out on behalf of the data exporter.

(c) The data importer shall make available to the data exporter all information necessary to demonstrate compliance with the obligations set out in these Clauses and at the data exporter's request, allow for and contribute to audits of the processing activities covered by these Clauses, at reasonable intervals or if there are indications of non-compliance. In deciding on a review or audit, the data exporter may take into account relevant certifications held by the data importer.

(d) The data exporter may choose to conduct the audit by itself or mandate an independent auditor. Audits may include inspections at the premises or physical facilities of the data importer and shall, where appropriate, be carried out with reasonable notice.

(e) The Parties shall make the information referred to in paragraphs (b) and (c), including the results of any audits, available to the competent supervisory authority on request.

MODULE THREE: Transfer processor to processor

8.1 Instructions

(a) The data exporter has informed the data importer that it acts as processor under the instructions of its controller(s), which the data exporter shall make available to the data importer prior to processing.

(b) The data importer shall process the personal data only on documented instructions from the controller, as communicated to the data importer by the data exporter, and any additional documented instructions from the data exporter. Such additional instructions shall not conflict with the instructions from the controller. The controller or data exporter may give further documented instructions regarding the data processing throughout the duration of the contract.

(c) The data importer shall immediately inform the data exporter if it is unable to follow those instructions. Where the data importer is unable to follow the instructions from the controller, the data exporter shall immediately notify the controller.

(d) The data exporter warrants that it has imposed the same data protection obligations on the data importer as set out in the contract or other legal act under Union or Member State law between the controller and the data exporter (5).

8.2 Purpose limitation

The data importer shall process the personal data only for the specific purpose(s) of the transfer, as set out in Annex I.B., unless on further instructions from the controller, as communicated to the data importer by the data exporter, or from the data exporter.

8.3 Transparency

On request, the data exporter shall make a copy of these Clauses, including the Appendix as completed by the Parties, available to the data subject free of charge. To the extent necessary to protect business secrets or other confidential information, including personal data, the data exporter may redact part of the text of the Appendix prior to sharing a copy, but shall provide a meaningful summary where the data subject would otherwise not be able to understand its content or exercise his/her rights. On request, the Parties shall provide the data subject with the reasons for the redactions, to the extent possible without revealing the redacted information.

8.4 Accuracy

If the data importer becomes aware that the personal data it has received is inaccurate, or has become outdated, it shall inform the data exporter without undue delay. In this case, the data importer shall cooperate with the data exporter to rectify or erase the data.

8.5 Duration of processing and erasure or return of data

Processing by the data importer shall only take place for the duration specified in Annex I.B. After the end of the provision of the processing services, the data importer shall, at the choice of the data exporter, delete all personal data processed on behalf of the controller and certify to the data exporter that it has done so, or return to the data exporter all personal data processed on its behalf and delete existing copies. Until the data is deleted or returned, the data importer shall continue to ensure compliance with these Clauses. In case of local laws applicable to the data importer that prohibit return or deletion of the personal data, the data importer warrants that it will continue to ensure compliance with these Clauses and will only process it to the extent and for as long as required under that local law. This is without prejudice to Clause 14, in particular the requirement for the data importer under Clause 14(e) to notify the data exporter throughout the duration of the contract if it has reason to believe that it is or has become subject to laws or practices not in line with the requirements under Clause 14(a).

8.6 Security of processing

(a) The data importer and, during transmission, also the data exporter shall implement appropriate technical and organisational measures to ensure the security of the data, including protection against a breach of security leading to accidental or unlawful destruction, loss, alteration, unauthorised disclosure or access to that data (hereinafter 'personal data breach'). In assessing the appropriate level of security, they shall take due account of the state of the art, the costs of implementation, the nature, scope, context and purpose(s) of processing and the risks involved in the processing for the data subject. The Parties shall in particular consider having recourse to encryption or pseudonymisation, including during transmission, where the purpose of processing can be fulfilled in that manner. In case of pseudonymisation, the additional information for attributing the personal data to a specific data subject shall, where possible, remain under the exclusive control of the data exporter or the controller. In complying with its obligations under this paragraph, the data importer shall at least implement the technical and organisational measures specified in Annex II. The data importer shall carry out regular checks to ensure that these measures continue to provide an appropriate level of security.

(b) The data importer shall grant access to the data to members of its personnel only to the extent strictly necessary for the implementation, management and monitoring of the contract. It shall ensure that persons authorised to process the personal data have committed themselves to confidentiality or are under an appropriate statutory obligation of confidentiality.

(c) In the event of a personal data breach concerning personal data processed by the data importer under these Clauses, the data importer shall take appropriate measures to address the breach, including measures to mitigate its adverse effects. The data importer shall also notify, without undue delay, the data exporter and, where appropriate and feasible, the controller after having become aware of the breach. Such notification shall contain the details of a contact point where more information can be obtained, a description of the nature of the breach

(including, where possible, categories and approximate number of data subjects and personal data records concerned), its likely consequences and the measures taken or proposed to address the data breach, including measures to mitigate its possible adverse effects. Where, and in so far as, it is not possible to provide all information at the same time, the initial notification shall contain the information then available and further information shall, as it becomes available, subsequently be provided without undue delay.

(d) The data importer shall cooperate with and assist the data exporter to enable the data exporter to comply with its obligations under Regulation (EU) 2016/679, in particular to notify its controller so that the latter may in turn notify the competent supervisory authority and the affected data subjects, taking into account the nature of processing and the information available to the data importer.

8.7 Sensitive data

Where the transfer involves personal data revealing racial or ethnic origin, political opinions, religious or philosophical beliefs, or trade union membership, genetic data, or biometric data for the purpose of uniquely identifying a natural person, data concerning health or a person's sex life or sexual orientation, or data relating to criminal convictions and offences (hereinafter 'sensitive data'), the data importer shall apply the specific restrictions and/or additional safeguards set out in Annex I.B.

8.8 Onward transfers

The data importer shall only disclose the personal data to a third party on documented instructions from the controller, as communicated to the data importer by the data exporter. In addition, the data may only be disclosed to a third party located outside the European Union (6) (in the same country as the data importer or in another third country, hereinafter 'onward transfer') if the third party is or agrees to be bound by these Clauses, under the appropriate Module, or if:

(i) the onward transfer is to a country benefitting from an adequacy decision pursuant to Article 45 of Regulation (EU) 2016/679 that covers the onward transfer;

(ii) the third party otherwise ensures appropriate safeguards pursuant to Articles 46 or 47 of Regulation (EU) 2016/679;

(iii) the onward transfer is necessary for the establishment, exercise or defence of legal claims in the context of specific administrative, regulatory or judicial proceedings; or

(iv) the onward transfer is necessary in order to protect the vital interests of the data subject or of another natural person.

Any onward transfer is subject to compliance by the data importer with all the other safeguards under these Clauses, in particular purpose limitation.

8.9 Documentation and compliance

(a) The data importer shall promptly and adequately deal with enquiries from the data exporter or the controller that relate to the processing under these Clauses.

(b) The Parties shall be able to demonstrate compliance with these Clauses. In particular, the data importer shall keep appropriate documentation on the processing activities carried out on behalf of the controller.

(c) The data importer shall make all information necessary to demonstrate compliance with the obligations set out in these Clauses available to the data exporter, which shall provide it to the controller.

(d) The data importer shall allow for and contribute to audits by the data exporter of the processing activities

covered by these Clauses, at reasonable intervals or if there are indications of non-compliance. The same shall apply where the data exporter requests an audit on instructions of the controller. In deciding on an audit, the data exporter may take into account relevant certifications held by the data importer.

(e) Where the audit is carried out on the instructions of the controller, the data exporter shall make the results available to the controller.

(f) The data exporter may choose to conduct the audit by itself or mandate an independent auditor. Audits may include inspections at the premises or physical facilities of the data importer and shall, where appropriate, be carried out with reasonable notice.

(g) The Parties shall make the information referred to in paragraphs (b) and (c), including the results of any audits, available to the competent supervisory authority on request.

MODULE FOUR: Transfer processor to controller

8.1 Instructions

(a) The data exporter shall process the personal data only on documented instructions from the data importer acting as its controller.

(b) The data exporter shall immediately inform the data importer if it is unable to follow those instructions, including if such instructions infringe Regulation (EU) 2016/679 or other Union or Member State data protection law.

(c) The data importer shall refrain from any action that would prevent the data exporter from fulfilling its obligations under Regulation (EU) 2016/679, including in the context of sub-processing or as regards cooperation with competent supervisory authorities.

(d) After the end of the provision of the processing services, the data exporter shall, at the choice of the data importer, delete all personal data processed on behalf of the data importer and certify to the data importer that it has done so, or return to the data importer all personal data processed on its behalf and delete existing copies.

8.2 Security of processing

(a) The Parties shall implement appropriate technical and organisational measures to ensure the security of the data, including during transmission, and protection against a breach of security leading to accidental or unlawful destruction, loss, alteration, unauthorised disclosure or access (hereinafter 'personal data breach'). In assessing the appropriate level of security, they shall take due account of the state of the art, the costs of implementation, the nature of the personal data (7), the nature, scope, context and purpose(s) of processing and the risks involved in the processing for the data subjects, and in particular consider having recourse to encryption or pseudonymisation, including during transmission, where the purpose of processing can be fulfilled in that manner.

(b) The data exporter shall assist the data importer in ensuring appropriate security of the data in accordance with paragraph (a). In case of a personal data breach concerning the personal data processed by the data exporter under these Clauses, the data exporter shall notify the data importer without undue delay after becoming aware of it and assist the data importer in addressing the breach.

(c) The data exporter shall ensure that persons authorised to process the personal data have committed themselves to confidentiality or are under an appropriate statutory obligation of confidentiality.

8.3 Documentation and compliance

(a) The Parties shall be able to demonstrate compliance with these Clauses.

(b) The data exporter shall make available to the data importer all information necessary to demonstrate compliance with its obligations under these Clauses and allow for and contribute to audits.

Clause 9 Use of sub-processors

MODULE TWO: Transfer controller to processor

(a) The data importer has the data exporter's general authorisation for the engagement of sub-processor(s) from an agreed list. The data importer shall specifically inform the data exporter in writing of any intended changes to that list through the addition or replacement of sub-processors at least [Specify time period] in advance, thereby giving the data exporter sufficient time to be able to object to such changes prior to the engagement of the sub-processor(s). The data importer shall provide the data exporter with the information necessary to enable the data exporter to exercise its right to object.

(b) Where the data importer engages a sub-processor to carry out specific processing activities (on behalf of the data exporter), it shall do so by way of a written contract that provides for, in substance, the same data protection obligations as those binding the data importer under these Clauses, including in terms of third-party beneficiary rights for data subjects. (8) The Parties agree that, by complying with this Clause, the data importer fulfils its obligations under Clause 8.8. The data importer shall ensure that the sub-processor complies with the obligations to which the data importer is subject pursuant to these Clauses.

(c) The data importer shall provide, at the data exporter's request, a copy of such a sub-processor agreement and any subsequent amendments to the data exporter. To the extent necessary to protect business secrets or other confidential information, including personal data, the data importer may redact the text of the agreement prior to sharing a copy.

(d) The data importer shall remain fully responsible to the data exporter for the performance of the sub-processor's obligations under its contract with the data importer. The data importer shall notify the data exporter of any failure by the sub-processor to fulfil its obligations under that contract.

(e) The data importer shall agree a third-party beneficiary clause with the sub-processor whereby – in the event the data importer has factually disappeared, ceased to exist in law or has become insolvent – the data exporter shall have the right to terminate the sub-processor contract and to instruct the sub-processor to erase or return the personal data.

MODULE THREE: Transfer processor to processor

(a) The data importer has the controller's general authorisation for the engagement of sub-processor(s) from an agreed list. The data importer shall specifically inform the controller in writing of any intended changes to that list through the addition or replacement of sub-processors at least [Specify time period] in advance, thereby giving the controller sufficient time to be able to object to such changes prior to the engagement of the sub-processor(s). The data importer shall provide the controller with the information necessary to enable the controller to exercise its right to object. The data importer shall inform the data exporter of the engagement of the sub-processor(s).

(b) Where the data importer engages a sub-processor to carry out specific processing activities (on behalf of the controller), it shall do so by way of a written contract that provides for, in substance, the same data protection obligations as those binding the data importer under these Clauses, including in terms of third-party beneficiary rights for data subjects. (9) The Parties agree that, by complying with this Clause, the data importer fulfils its obligations under Clause 8.8. The data importer shall ensure that the sub-processor complies with the obligations to which the data importer is subject pursuant to these Clauses.

(c) The data importer shall provide, at the data exporter's or controller's request, a copy of such a sub-processor agreement and any subsequent amendments. To the extent necessary to protect business secrets or other confidential information, including personal data, the data importer may redact the text of the agreement prior to sharing a copy.

(d) The data importer shall remain fully responsible to the data exporter for the performance of the sub-processor's obligations under its contract with the data importer. The data importer shall notify the data exporter of any failure by the sub-processor to fulfil its obligations under that contract.

(e) The data importer shall agree a third-party beneficiary clause with the sub-processor whereby – in the event the data importer has factually disappeared, ceased to exist in law or has become insolvent – the data exporter shall have the right to terminate the sub-processor contract and to instruct the sub-processor to erase or return the personal data.

Clause 10 Data subject rights

MODULE ONE: Transfer controller to controller

(a) The data importer, where relevant with the assistance of the data exporter, shall deal with any enquiries and requests it receives from a data subject relating to the processing of his/her personal data and the exercise of his/her rights under these Clauses without undue delay and at the latest within one month of the receipt of the enquiry or request. (10) The data importer shall take appropriate measures to facilitate such enquiries, requests and the exercise of data subject rights. Any information provided to the data subject shall be in an intelligible and easily accessible form, using clear and plain language.

(b) In particular, upon request by the data subject the data importer shall, free of charge:

(i) provide confirmation to the data subject as to whether personal data concerning him/her is being processed and, where this is the case, a copy of the data relating to him/her and the information in Annex I; if personal data has been or will be onward transferred, provide information on recipients or categories of recipients (as appropriate with a view to providing meaningful information) to which the personal data has been or will be onward transferred, the purpose of such onward transfers and their ground pursuant to Clause 8.7; and provide information on the right to lodge a complaint with a supervisory authority in accordance with Clause 12(c)(i);

(ii) rectify inaccurate or incomplete data concerning the data subject;

(iii) erase personal data concerning the data subject if such data is being or has been processed in violation of any of these Clauses ensuring third-party beneficiary rights, or if the data subject withdraws the consent on which the processing is based.

(c) Where the data importer processes the personal data for direct marketing purposes, it shall cease processing for such purposes if the data subject objects to it.

(d) The data importer shall not make a decision based solely on the automated processing of the personal data transferred (hereinafter 'automated decision'), which would produce legal effects concerning the data subject or similarly significantly affect him/her, unless with the explicit consent of the data subject or if authorised to do so under the laws of the country of destination, provided that such laws lay down suitable measures to safeguard the data subject's rights and legitimate interests. In this case, the data importer shall, where necessary in cooperation with the data exporter:

(i) inform the data subject about the envisaged automated decision, the envisaged consequences and the logic involved; and

(ii) implement suitable safeguards, at least by enabling the data subject to contest the decision, express his/her point of view and obtain review by a human being.

(e) Where requests from a data subject are excessive, in particular because of their repetitive character, the data importer may either charge a reasonable fee taking into account the administrative costs of granting the request or refuse to act on the request.

(f) The data importer may refuse a data subject's request if such refusal is allowed under the laws of the country of destination and is necessary and proportionate in a democratic society to protect one of the objectives listed in Article 23(1) of Regulation (EU) 2016/679.

(g) If the data importer intends to refuse a data subject's request, it shall inform the data subject of the reasons for the refusal and the possibility of lodging a complaint with the competent supervisory authority and/or seeking judicial redress.

MODULE TWO: Transfer controller to processor

(a) The data importer shall promptly notify the data exporter of any request it has received from a data subject. It shall not respond to that request itself unless it has been authorised to do so by the data exporter.

(b) The data importer shall assist the data exporter in fulfilling its obligations to respond to data subjects' requests for the exercise of their rights under Regulation (EU) 2016/679. In this regard, the Parties shall set out in Annex II the appropriate technical and organisational measures, taking into account the nature of the processing, by which the assistance shall be provided, as well as the scope and the extent of the assistance required.

(c) In fulfilling its obligations under paragraphs (a) and (b), the data importer shall comply with the instructions from the data exporter.

MODULE THREE: Transfer processor to processor

(a) The data importer shall promptly notify the data exporter and, where appropriate, the controller of any request it has received from a data subject, without responding to that request unless it has been authorised to do so by the controller.

(b) The data importer shall assist, where appropriate in cooperation with the data exporter, the controller in fulfilling its obligations to respond to data subjects' requests for the exercise of their rights under Regulation (EU) 2016/679 or Regulation (EU) 2018/1725, as applicable. In this regard, the Parties shall set out in Annex II the appropriate technical and organisational measures, taking into account the nature of the processing, by which the assistance shall be provided, as well as the scope and the extent of the assistance required.

(c) In fulfilling its obligations under paragraphs (a) and (b), the data importer shall comply with the instructions from the controller, as communicated by the data exporter.

MODULE FOUR: Transfer processor to controller

The Parties shall assist each other in responding to enquiries and requests made by data subjects under the local law applicable to the data importer or, for data processing by the data exporter in the EU, under Regulation (EU) 2016/679.

Clause 11 Redress

(a) The data importer shall inform data subjects in a transparent and easily accessible format, through individual notice or on its website, of a contact point authorised to handle complaints. It shall deal promptly with any

complaints it receives from a data subject.

MODULE ONE: Transfer controller to controller

MODULE TWO: Transfer controller to processor

MODULE THREE: Transfer processor to processor

(b) In case of a dispute between a data subject and one of the Parties as regards compliance with these Clauses, that Party shall use its best efforts to resolve the issue amicably in a timely fashion. The Parties shall keep each other informed about such disputes and, where appropriate, cooperate in resolving them.

(c) Where the data subject invokes a third-party beneficiary right pursuant to Clause 3, the data importer shall accept the decision of the data subject to:

(i) lodge a complaint with the supervisory authority in the Member State of his/her habitual residence or place of work, or the competent supervisory authority pursuant to Clause 13;

(ii) refer the dispute to the competent courts within the meaning of Clause 18.

(d) The Parties accept that the data subject may be represented by a not-for-profit body, organisation or association under the conditions set out in Article 80(1) of Regulation (EU) 2016/679.

(e) The data importer shall abide by a decision that is binding under the applicable EU or Member State law.

(f) The data importer agrees that the choice made by the data subject will not prejudice his/her substantive and procedural rights to seek remedies in accordance with applicable laws.

Clause 12 Liability

MODULE ONE: Transfer controller to controller

MODULE FOUR: Transfer processor to controller

(a) Each Party shall be liable to the other Party/ies for any damages it causes the other Party/ies by any breach of these Clauses.

(b) Each Party shall be liable to the data subject, and the data subject shall be entitled to receive compensation, for any material or non-material damages that the Party causes the data subject by breaching the third-party beneficiary rights under these Clauses. This is without prejudice to the liability of the data exporter under Regulation (EU) 2016/679.

(c) Where more than one Party is responsible for any damage caused to the data subject as a result of a breach of these Clauses, all responsible Parties shall be jointly and severally liable and the data subject is entitled to bring an action in court against any of these Parties.

(d) The Parties agree that if one Party is held liable under paragraph (c), it shall be entitled to claim back from the other Party/ies that part of the compensation corresponding to its/their responsibility for the damage.

(e) The data importer may not invoke the conduct of a processor or sub-processor to avoid its own liability.

MODULE TWO: Transfer controller to processor

MODULE THREE: Transfer processor to processor

(a) Each Party shall be liable to the other Party/ies for any damages it causes the other Party/ies by any breach of these Clauses.

(b) The data importer shall be liable to the data subject, and the data subject shall be entitled to receive compensation, for any material or non-material damages the data importer or its sub-processor causes the data subject by breaching the third-party beneficiary rights under these Clauses.

(c) Notwithstanding paragraph (b), the data exporter shall be liable to the data subject, and the data subject shall be entitled to receive compensation, for any material or non-material damages the data exporter or the data importer (or its sub-processor) causes the data subject by breaching the third-party beneficiary rights under these Clauses. This is without prejudice to the liability of the data exporter and, where the data exporter is a processor acting on behalf of a controller, to the liability of the controller under Regulation (EU) 2016/679 or Regulation (EU) 2018/1725, as applicable.

(d) The Parties agree that if the data exporter is held liable under paragraph (c) for damages caused by the data importer (or its sub-processor), it shall be entitled to claim back from the data importer that part of the compensation corresponding to the data importer's responsibility for the damage.

(e) Where more than one Party is responsible for any damage caused to the data subject as a result of a breach of these Clauses, all responsible Parties shall be jointly and severally liable and the data subject is entitled to bring an action in court against any of these Parties.

(f) The Parties agree that if one Party is held liable under paragraph (e), it shall be entitled to claim back from the other Party/ies that part of the compensation corresponding to its/their responsibility for the damage.

(g) The data importer may not invoke the conduct of a sub-processor to avoid its own liability.

Clause 13 Supervision

MODULE ONE: Transfer controller to controller

MODULE TWO: Transfer controller to processor

MODULE THREE: Transfer processor to processor

(a) [Where the data exporter is established in an EU Member State:] The supervisory authority with responsibility for ensuring compliance by the data exporter with Regulation (EU) 2016/679 as regards the data transfer, as indicated in Annex I.C, shall act as competent supervisory authority.

[Where the data exporter is not established in an EU Member State, but falls within the territorial scope of application of Regulation (EU) 2016/679 in accordance with its Article 3(2) and has appointed a representative pursuant to Article 27(1) of Regulation (EU) 2016/679:] The supervisory authority of the Member State in which the representative within the meaning of Article 27(1) of Regulation (EU) 2016/679 is established, as indicated in Annex I.C, shall act as competent supervisory authority.

[Where the data exporter is not established in an EU Member State, but falls within the territorial scope of application of Regulation (EU) 2016/679 in accordance with its Article 3(2) without however having to appoint a representative pursuant to Article 27(2) of Regulation (EU) 2016/679:] The supervisory authority of one of the Member States in which the data subjects whose personal data is transferred under these Clauses in relation to the offering of goods or services to them, or whose behaviour is monitored, are located, as indicated in Annex I.C, shall act as competent supervisory authority.

(b) The data importer agrees to submit itself to the jurisdiction of and cooperate with the competent supervisory

authority in any procedures aimed at ensuring compliance with these Clauses. In particular, the data importer agrees to respond to enquiries, submit to audits and comply with the measures adopted by the supervisory authority, including remedial and compensatory measures. It shall provide the supervisory authority with written confirmation that the necessary actions have been taken.

SECTION III – LOCAL LAWS AND OBLIGATIONS IN CASE OF ACCESS BY PUBLIC AUTHORITIES

Clause 14 Local laws and practices affecting compliance with the Clauses

MODULE ONE: Transfer controller to controller

MODULE TWO: Transfer controller to processor

MODULE THREE: Transfer processor to processor

MODULE FOUR: Transfer processor to controller (where the EU processor combines the personal data received from the third country-controller with personal data collected by the processor in the EU)

(a) The Parties warrant that they have no reason to believe that the laws and practices in the third country of destination applicable to the processing of the personal data by the data importer, including any requirements to disclose personal data or measures authorising access by public authorities, prevent the data importer from fulfilling its obligations under these Clauses. This is based on the understanding that laws and practices that respect the essence of the fundamental rights and freedoms and do not exceed what is necessary and proportionate in a democratic society to safeguard one of the objectives listed in Article 23(1) of Regulation (EU) 2016/679, are not in contradiction with these Clauses.

(b) The Parties declare that in providing the warranty in paragraph (a), they have taken due account in particular of the following elements:

(i) the specific circumstances of the transfer, including the length of the processing chain, the number of actors involved and the transmission channels used; intended onward transfers; the type of recipient; the purpose of processing; the categories and format of the transferred personal data; the economic sector in which the transfer occurs; the storage location of the data transferred;

(ii) the laws and practices of the third country of destination– including those requiring the disclosure of data to public authorities or authorising access by such authorities – relevant in light of the specific circumstances of the transfer, and the applicable limitations and safeguards (12);

(iii) any relevant contractual, technical or organisational safeguards put in place to supplement the safeguards under these Clauses, including measures applied during transmission and to the processing of the personal data in the country of destination.

(c) The data importer warrants that, in carrying out the assessment under paragraph (b), it has made its best efforts to provide the data exporter with relevant information and agrees that it will continue to cooperate with the data exporter in ensuring compliance with these Clauses.

(d) The Parties agree to document the assessment under paragraph (b) and make it available to the competent supervisory authority on request.

(e) The data importer agrees to notify the data exporter promptly if, after having agreed to these Clauses and for the duration of the contract, it has reason to believe that it is or has become subject to laws or practices not in

line with the requirements under paragraph (a), including following a change in the laws of the third country or a measure (such as a disclosure request) indicating an application of such laws in practice that is not in line with the requirements in paragraph (a). [For Module Three: The data exporter shall forward the notification to the controller.]

(f) Following a notification pursuant to paragraph (e), or if the data exporter otherwise has reason to believe that the data importer can no longer fulfil its obligations under these Clauses, the data exporter shall promptly identify appropriate measures (e.g. technical or organisational measures to ensure security and confidentiality) to be adopted by the data exporter and/or data importer to address the situation [for Module Three: if appropriate in consultation with the controller]. The data exporter shall suspend the data transfer if it considers that no appropriate safeguards for such transfer can be ensured, or if instructed by [for Module Three: the controller or] the competent supervisory authority to do so. In this case, the data exporter shall be entitled to terminate the contract, insofar as it concerns the processing of personal data under these Clauses. If the contract involves more than two Parties, the data exporter may exercise this right to termination only with respect to the relevant Party, unless the Parties have agreed otherwise. Where the contract is terminated pursuant to this Clause, Clause 16(d) and (e) shall apply.

Clause 15 Obligations of the data importer in case of access by public authorities

MODULE ONE: Transfer controller to controller

MODULE TWO: Transfer controller to processor

MODULE THREE: Transfer processor to processor

MODULE FOUR: Transfer processor to controller (where the EU processor combines the personal data received from the third country-controller with personal data collected by the processor in the EU)

15.1 Notification

(a) The data importer agrees to notify the data exporter and, where possible, the data subject promptly (if necessary with the help of the data exporter) if it:

(i) receives a legally binding request from a public authority, including judicial authorities, under the laws of the country of destination for the disclosure of personal data transferred pursuant to these Clauses; such notification shall include information about the personal data requested, the requesting authority, the legal basis for the request and the response provided; or

(ii) becomes aware of any direct access by public authorities to personal data transferred pursuant to these Clauses in accordance with the laws of the country of destination; such notification shall include all information available to the importer.

[For Module Three: The data exporter shall forward the notification to the controller.]

(b) If the data importer is prohibited from notifying the data exporter and/or the data subject under the laws of the country of destination, the data importer agrees to use its best efforts to obtain a waiver of the prohibition, with a view to communicating as much information as possible, as soon as possible. The data importer agrees to document its best efforts in order to be able to demonstrate them on request of the data exporter.

(c) Where permissible under the laws of the country of destination, the data importer agrees to provide the data exporter, at regular intervals for the duration of the contract, with as much relevant information as possible on

the requests received (in particular, number of requests, type of data requested, requesting authority/ies, whether requests have been challenged and the outcome of such challenges, etc.). [For Module Three: The data exporter shall forward the information to the controller.]

(d) The data importer agrees to preserve the information pursuant to paragraphs (a) to (c) for the duration of the contract and make it available to the competent supervisory authority on request.

(e) Paragraphs (a) to (c) are without prejudice to the obligation of the data importer pursuant to Clause 14(e) and Clause 16 to inform the data exporter promptly where it is unable to comply with these Clauses.

15.2 Review of legality and data minimisation

(a) The data importer agrees to review the legality of the request for disclosure, in particular whether it remains within the powers granted to the requesting public authority, and to challenge the request if, after careful assessment, it concludes that there are reasonable grounds to consider that the request is unlawful under the laws of the country of destination, applicable obligations under international law and principles of international comity. The data importer shall, under the same conditions, pursue possibilities of appeal. When challenging a request, the data importer shall seek interim measures with a view to suspending the effects of the request until the competent judicial authority has decided on its merits. It shall not disclose the personal data requested until required to do so under the applicable procedural rules. These requirements are without prejudice to the obligations of the data importer under Clause 14(e).

(b) The data importer agrees to document its legal assessment and any challenge to the request for disclosure and, to the extent permissible under the laws of the country of destination, make the documentation available to the data exporter. It shall also make it available to the competent supervisory authority on request. [For Module Three: The data exporter shall make the assessment available to the controller.]

(c) The data importer agrees to provide the minimum amount of information permissible when responding to a request for disclosure, based on a reasonable interpretation of the request.

SECTION IV – FINAL PROVISIONS

Clause 16 Non-compliance with the Clauses and termination

(a) The data importer shall promptly inform the data exporter if it is unable to comply with these Clauses, for whatever reason.

(b) In the event that the data importer is in breach of these Clauses or unable to comply with these Clauses, the data exporter shall suspend the transfer of personal data to the data importer until compliance is again ensured or the contract is terminated. This is without prejudice to Clause 14(f).

(c) The data exporter shall be entitled to terminate the contract, insofar as it concerns the processing of personal data under these Clauses, where:

(i) the data exporter has suspended the transfer of personal data to the data importer pursuant to paragraph (b) and compliance with these Clauses is not restored within a reasonable time and in any event within one month of suspension;

(ii) the data importer is in substantial or persistent breach of these Clauses; or

(iii) the data importer fails to comply with a binding decision of a competent court or supervisory authority regarding its obligations under these Clauses.

In these cases, it shall inform the competent supervisory authority [for Module Three: and the controller] of such non-compliance. Where the contract involves more than two Parties, the data exporter may exercise this right to termination only with respect to the relevant Party, unless the Parties have agreed otherwise.

(d) [For Modules One, Two and Three: Personal data that has been transferred prior to the termination of the contract pursuant to paragraph (c) shall at the choice of the data exporter immediately be returned to the data exporter or deleted in its entirety. The same shall apply to any copies of the data.] [For Module Four: Personal data collected by the data exporter in the EU that has been transferred prior to the termination of the contract pursuant to paragraph (c) shall immediately be deleted in its entirety, including any copy thereof.] The data importer shall certify the deletion of the data to the data exporter. Until the data is deleted or returned, the data importer shall continue to ensure compliance with these Clauses. In case of local laws applicable to the data importer that prohibit the return or deletion of the transferred personal data, the data importer warrants that it will continue to ensure compliance with these Clauses and will only process the data to the extent and for as long as required under that local law.

(e) Either Party may revoke its agreement to be bound by these Clauses where (i) the European Commission adopts a decision pursuant to Article 45(3) of Regulation (EU) 2016/679 that covers the transfer of personal data to which these Clauses apply; or (ii) Regulation (EU) 2016/679 becomes part of the legal framework of the country to which the personal data is transferred. This is without prejudice to other obligations applying to the processing in question under Regulation (EU) 2016/679.

Clause 17 Governing law

MODULE ONE: Transfer controller to controller

MODULE TWO: Transfer controller to processor

MODULE THREE: Transfer processor to processor

These Clauses shall be governed by the law of one of the EU Member States, provided such law allows for third-party beneficiary rights. The Parties agree that this shall be the law as defined in Terms.

MODULE FOUR: Transfer processor to controller

These Clauses shall be governed by the law of a country allowing for third-party beneficiary rights. The Parties agree that this shall be the law as defined in Terms.

Clause 18 Choice of forum and jurisdiction

MODULE ONE: Transfer controller to controller

MODULE TWO: Transfer controller to processor

MODULE THREE: Transfer processor to processor

(a) Any dispute arising from these Clauses shall be resolved by the courts of an EU Member State.

(b) The Parties agree that those shall be the courts as defined in Terms.

(c) A data subject may also bring legal proceedings against the data exporter and/or data importer before the courts of the Member State in which he/she has his/her habitual residence.

(d) The Parties agree to submit themselves to the jurisdiction of such courts.

MODULE FOUR: Transfer processor to controller

Any dispute arising from these Clauses shall be resolved by the courts as defined in Terms.

APPENDIX

EXPLANATORY NOTE: It must be possible to clearly distinguish the information applicable to each transfer or category of transfers and, in this regard, to determine the respective role(s) of the Parties as data exporter(s) and/or data importer(s). This does not necessarily require completing and signing separate appendices for each transfer/category of transfers and/or contractual relationship, where this transparency can be achieved through one appendix. However, where necessary to ensure sufficient clarity, separate appendices should be used.

ANNEX I

A. LIST OF PARTIES

MODULE ONE: Transfer controller to controller

MODULE TWO: Transfer controller to processor

MODULE THREE: Transfer processor to processor

MODULE FOUR: Transfer processor to controller

Data exporter(s): [Identity and contact details of the data exporter(s) and, where applicable, of its/their data protection officer and/or representative in the European Union]

1. Controller as defined in Data Processing Agreement
2. Processor as defined in Data Processing Agreement

(based on the flow of data)

Data importer(s): [Identity and contact details of the data importer(s), including any contact person with responsibility for data protection]

1. Controller as defined in Data Processing Agreement
2. Processor as defined in Data Processing Agreement

(based on the flow of data)

B. DESCRIPTION OF TRANSFER

MODULE ONE: Transfer controller to controller

MODULE TWO: Transfer controller to processor

MODULE THREE: Transfer processor to processor

MODULE FOUR: Transfer processor to controller

Categories of data subjects whose personal data is transferred: As defined in Data Processing Agreement.

Categories of personal data transferred: As defined in Data Processing Agreement and Privacy Policy.

Sensitive data transferred (if applicable) and applied restrictions or safeguards that fully take into consideration the nature of the data and the risks involved, such as for instance strict purpose limitation, access restrictions (including access only for staff having followed specialised training), keeping a record of access to the data, restrictions for onward transfers or additional security measures: As defined in Data Processing Agreement and Privacy Policy.

The frequency of the transfer (e.g. whether the data is transferred on a one-off or continuous basis): Continuous basis.

Nature of the processing: Automated.

Purpose(s) of the data transfer and further processing: Provision of service as defined in Terms, its Annexes, Privacy Policy, and service documentation.

The period for which the personal data will be retained, or, if that is not possible, the criteria used to determine that period: As defined in Data Processing Agreement.

For transfers to (sub-) processors, also specify subject matter, nature and duration of the processing: As defined in Data Processing Agreement.

C. COMPETENT SUPERVISORY AUTHORITY

MODULE ONE: Transfer controller to controller

MODULE TWO: Transfer controller to processor

MODULE THREE: Transfer processor to processor

Identify the competent supervisory authority/ies in accordance with Clause 13: As defined in Privacy Policy

ANNEX II TECHNICAL AND ORGANISATIONAL MEASURES INCLUDING TECHNICAL AND ORGANISATIONAL MEASURES TO ENSURE THE SECURITY OF THE DATA

MODULE ONE: Transfer controller to controller

MODULE TWO: Transfer controller to processor

MODULE THREE: Transfer processor to processor

EXPLANATORY NOTE: The technical and organisational measures must be described in specific (and not generic) terms. See also the general comment on the first page of the Appendix, in particular on the need to clearly indicate which measures apply to each transfer/set of transfers.

Description of the technical and organisational measures implemented by the data importer(s) (including any relevant certifications) to ensure an appropriate level of security, taking into account the nature, scope, context and purpose of the processing, and the risks for the rights and freedoms of natural persons: As defined in Security Policy

For transfers to (sub-) processors, also describe the specific technical and organisational measures to be taken by

the (sub-) processor to be able to provide assistance to the controller and, for transfers from a processor to a sub-processor, to the data exporter

ANNEX III LIST OF SUB-PROCESSORS

MODULE TWO: Transfer controller to processor

MODULE THREE: Transfer processor to processor

EXPLANATORY NOTE: This Annex must be completed for Modules Two and Three, in case of the specific authorisation of sub-processors (Clause 9(a), Option 1).

The controller has authorised the use of the following sub-processors: As defined in Data Processing Agreement

References:

(1) Where the data exporter is a processor subject to Regulation (EU) 2016/679 acting on behalf of a Union institution or body as controller, reliance on these Clauses when engaging another processor (sub-processing) not subject to Regulation (EU) 2016/679 also ensures compliance with Article 29(4) of Regulation (EU) 2018/1725 of the European Parliament and of the Council of 23 October 2018 on the protection of natural persons with regard to the processing of personal data by the Union institutions, bodies, offices and agencies and on the free movement of such data, and repealing Regulation (EC) No 45/2001 and Decision No 1247/2002/EC (OJ L 295, 21.11.2018, p. 39), to the extent these Clauses and the data protection obligations as set out in the contract or other legal act between the controller and the processor pursuant to Article 29(3) of Regulation (EU) 2018/1725 are aligned. This will in particular be the case where the controller and processor rely on the standard contractual clauses included in Decision 2021/915.

(2) This requires rendering the data anonymous in such a way that the individual is no longer identifiable by anyone, in line with recital 26 of Regulation (EU) 2016/679, and that this process is irreversible.

(3) The Agreement on the European Economic Area (EEA Agreement) provides for the extension of the European Union's internal market to the three EEA States Iceland, Liechtenstein and Norway. The Union data protection legislation, including Regulation (EU) 2016/679, is covered by the EEA Agreement and has been incorporated into Annex XI thereto. Therefore, any disclosure by the data importer to a third party located in the EEA does not qualify as an onward transfer for the purpose of these Clauses.

(4) The Agreement on the European Economic Area (EEA Agreement) provides for the extension of the European Union's internal market to the three EEA States Iceland, Liechtenstein and Norway. The Union data protection legislation, including Regulation (EU) 2016/679, is covered by the EEA Agreement and has been incorporated into Annex XI thereto. Therefore, any disclosure by the data importer to a third party located in the EEA does not qualify as an onward transfer for the purpose of these Clauses.

(5) See Article 28(4) of Regulation (EU) 2016/679 and, where the controller is an EU institution or body, Article 29(4) of Regulation (EU) 2018/1725.

(6) The Agreement on the European Economic Area (EEA Agreement) provides for the extension of the European Union's internal market to the three EEA States Iceland, Liechtenstein and Norway. The Union data protection legislation, including Regulation (EU) 2016/679, is covered by the EEA Agreement and has been incorporated into Annex XI thereto. Therefore, any disclosure by the data importer to a third party located in the EEA does not qualify as an onward transfer for the purposes of these Clauses.

(7) This includes whether the transfer and further processing involves personal data revealing racial or ethnic

origin, political opinions, religious or philosophical beliefs, or trade union membership, genetic data or biometric data for the purpose of uniquely identifying a natural person, data concerning health or a person's sex life or sexual orientation, or data relating to criminal convictions or offences.

(8) This requirement may be satisfied by the sub-processor acceding to these Clauses under the appropriate Module, in accordance with Clause 7.

(9) This requirement may be satisfied by the sub-processor acceding to these Clauses under the appropriate Module, in accordance with Clause 7.

(10) That period may be extended by a maximum of two more months, to the extent necessary taking into account the complexity and number of requests. The data importer shall duly and promptly inform the data subject of any such extension.

(11) The data importer may offer independent dispute resolution through an arbitration body only if it is established in a country that has ratified the New York Convention on Enforcement of Arbitration Awards.

(12) As regards the impact of such laws and practices on compliance with these Clauses, different elements may be considered as part of an overall assessment. Such elements may include relevant and documented practical experience with prior instances of requests for disclosure from public authorities, or the absence of such requests, covering a sufficiently representative time-frame. This refers in particular to internal records or other documentation, drawn up on a continuous basis in accordance with due diligence and certified at senior management level, provided that this information can be lawfully shared with third parties. Where this practical experience is relied upon to conclude that the data importer will not be prevented from complying with these Clauses, it needs to be supported by other relevant, objective elements, and it is for the Parties to consider carefully whether these elements together carry sufficient weight, in terms of their reliability and representativeness, to support this conclusion. In particular, the Parties have to take into account whether their practical experience is corroborated and not contradicted by publicly available or otherwise accessible, reliable information on the existence or absence of requests within the same sector and/or the application of the law in practice, such as case law and reports by independent oversight bodies.

ESET HOME アプリケーションのエンドユーザーライセンス契約

発効日：2021年10月19日

重要:ダウンロード、インストール、コピー、または使用の前に、製品利用に関する下記契約条件を注意してお読みください。本製品をダウンロード、インストール、コピー、または使用することにより、お客様はこれらの条件に対する同意を表明し、[プライバシーポリシー](#)に同意したことになります。

エンドユーザー使用許諾契約

本エンドユーザーライセンス契約（「本契約」）は、Einsteinova 24, 85101 Bratislava, Slovak Republicに所在し、ブラチスラバ第1地方裁判所の有限会社部門District Court Bratislava I. Section Sroにおいて掲載番号3586/B, 31333532として商業登記されているESET, spol. s r. o.（ESETまたは「供給者」）と、自然人または法人であるお客様（「お客様」または「エンドユーザー」）との間で締結され、お客様に本契約の第1条で定義する本ソフトウェアを使用する権利を付与するものです。本契約の第1条で定義する本ソフトウェアは、データ記憶媒体への格納、電子メールでの送付、インターネットからのダウンロード、供給者のサーバーからのダウンロード、または後述の条件および状況下におけるその他の供給者からの取得が行えます。

本契約は購入に関する契約ではなく、エンドユーザーの権利に関する合意事項を定めるものです。供給

者は、本ソフトウェアのコピー、これが商業包装にて供給される物理的媒体、および本契約に基づきエンドユーザーが権利を付与される本ソフトウェアのすべてのコピーの、所有者であり続けます。

本ソフトウェアのインストール時、ダウンロード時、コピー時または使用時に、[同意します]オプションをクリックすることにより、本契約の条件に明示的に同意し、プライバシーポリシーを承諾するものとします。本契約の規定またはプライバシーポリシーに同意しない場合は、直ちに[同意しない]オプションをクリックし、インストールまたはダウンロードを取り消すか、本ソフトウェア、インストールメディア、付属ドキュメント、および購入時の領収書を破棄するかESETまたは本ソフトウェアの供給者にそれを返却してください。

お客様は、本ソフトウェアを使用することにより、お客様が本契約を読了かつ理解し、本契約条項による拘束に同意したことになります。

1.ソフトウェア。(i) 本契約およびすべてのコンポーネントに付属するコンピュータープログラム(ii)データ媒体、電子メール、またはインターネット経由でのダウンロードで提供される本ソフトウェアのオブジェクトコードの形式を含む、本契約で提供されるディスクCD-ROMDVD電子メール、添付ファイル、その他の媒体のすべての内容(iii)本ソフトウェアに関連する書面の説明資料、その他の文書、特に本ソフトウェア、その仕様のすべての説明、本ソフトウェアの属性または動作の説明、本ソフトウェアが使用される動作環境の説明、本ソフトウェアの使用またはインストール手順、本ソフトウェアの使用方法的説明(「ドキュメント」)(iv)本契約の第3条に従い供給者からお客様にライセンス供与された本ソフトウェアのコピー、本ソフトウェアに不具合があった場合のパッチ、本ソフトウェアへの追加機能、本ソフトウェアの拡張機能、本ソフトウェアの修正バージョン、ソフトウェアコンポーネントのアップデート(該当する場合)を意味します。本ソフトウェアは実行可能なオブジェクトコードの形態でのみ提供されるものとします。

2.インストール、コンピューター、およびライセンスキー。データキャリアで供給、電子メールで送信、インターネットからダウンロード、供給者のサーバーからダウンロード、または他のソースから取得されたソフトウェアにはインストールが必要です。お客様は、本ソフトウェアを正しく設定されたコンピューターにインストールし、少なくともドキュメントで規定された要件に準拠する必要があります。インストール方法はドキュメントで説明されています。本ソフトウェアをインストールするコンピューターに、本ソフトウェアに悪影響を及ぼす可能性があるコンピュータープログラムやハードウェアをインストールすることはできません。コンピューターとは、本ソフトウェアがインストールまたは使用される、パーソナルコンピューター、ノートブック、ワークステーション、パームトップコンピューター、スマートフォン、ハンドヘルド電子機器、または本ソフトウェアの対象として設計されている他の電子機器を含む(ただしこれらに限定されない)を意味します。ライセンスキーとは、本契約に準拠して、本ソフトウェア、特定のバージョン、またはライセンス条項の拡張の法的な使用を許可するために、エンドユーザーに提供される一意の連続する記号、文字、数字、または特殊記号を意味します。

3.ライセンス。お客様が本契約に同意しており、ライセンス料を支払い期日までに支払い、本契約に定められているすべての契約条項に従うことを前提として、供給者はお客様に対し、以下の権利を付与します(以下「ライセンス」とします)。

a) インストールおよび使用。お客様には、コンピューターのハードディスクまたはその他のデータ永久記憶媒体にデータを格納するために本ソフトウェアをインストールし、コンピューターシステムのメモリへ本ソフトウェアをインストールおよび格納し、コンピューターシステム上で本ソフトウェアを実装、格納および表示する、非独占的かつ譲渡禁止の権利が付与されます。

b) ライセンス数の規定。本ソフトウェアを使用する権利は、エンドユーザー数によって制限されます。1人のエンドユーザーとは(ii) 本ソフトウェアがインストールされている1台のコンピューターを意味します(ii) ライセンス数がメールボックスを単位として決定される場合、エンドユーザーはメールユーザーエージェント(以下MUAとします)を介して電子メールを受信する1人のコンピューターユーザーを意味します。電子メールがMUAで受信後、複数のユーザーに自動的に配信される場合、エンドユーザーの数は、その電子メールが配信されるユーザーの実際の数によって決まります。メールサーバがメールゲートの役割を果たす場合、エンドユーザーの数は、そのゲートがサービスを提供するメールサーバユーザーの数と同じになります。(エイリアスなどを使用して)1人のユーザーに不特定多数の電子メールア

ドレスが送信され、それらが受け付けられる場合、クライアント側で多数のユーザーにそのメールが自動的に配信されるのでなければ、ライセンスは1台のコンピューターに必要です。同じライセンスは、同時に複数のコンピューターで使用できません。エンドユーザーは、供給者によって付与されたライセンス数に基づく制限に従い、本ソフトウェアを使用する権限が与えられている範囲においてのみ、本ソフトウェアのライセンスキーを入力する資格があります。このライセンスキーは機密情報であると見なされます。本契約または供給者によって許可されている場合を除き、お客様はライセンスを第三者と共有すること、または第三者がライセンスを使用することを許可することが禁止されています。ライセンスキーが危険にさらされた場合は、速やかに供給者に通知してください。

c) Home/Business Edition 本ソフトウェアのHome Editionバージョンは、家庭および家族での利用に限定された個人または非商業環境でのみ使用されるものとします。本ソフトウェアを商業環境、またはメールサーバー、メール中継、メールゲートウェイ、インターネットゲートウェイで使用する場合は、本ソフトウェアのBusiness Editionバージョンを入手する必要があります。

d) ライセンス契約の期間。お客様は、本ソフトウェアを期限付きで使用する権利があります。

e) OEMソフトウェア。OEMに分類されたソフトウェアの使用は、それがプリインストールされていたコンピューターに制限されます。別のコンピューターにインストールすることはできません。

f) NFRまたは試用ソフトウェア。再販不可品(NFR)または試用版に分類されるソフトウェアは、対価を求めて譲渡することはできず、ソフトウェア機能のデモまたはテスト目的のみで使用されるものとします。

g) ライセンスの契約解除。ライセンス契約は、その期間の満了により契約が自動的に解除されます。供給者は、お客様が本契約のいずれかの条項に違反したときは、供給者が持つ他の権利および法的救済手段に影響を与えることなく、本契約を解約することができます。本ライセンスを取り消す場合、お客様は、本ソフトウェアおよびバックアップコピーを直ちにすべて削除、破棄するか、自費でESETまたはソフトウェアの入手元にそれを返却する必要があります。ライセンスの終了時には、供給者は、エンドユーザーが、供給者のサーバーまたはサードパーティのサーバーに接続する必要がある本ソフトウェアの機能を使用する権利を取り消す権利があるものとします。

4.データ収集機能およびインターネット接続要件。本ソフトウェアの正常な動作には、インターネット接続が必要であり、プライバシーポリシーに従い、定期的に供給者のサーバーまたは第三者のサーバーおよび該当するデータ収集に定期的に接続する必要があります。本ソフトウェアの機能、ならびに本ソフトウェアの更新およびアップグレードの目的で、インターネットへの接続および該当するデータ収集が必要です。供給者には、本ソフトウェアのアップデートまたはアップグレード(「アップデート」)を適時発行する権利がありますが、アップデートを提供する義務はありません。この機能は、ソフトウェアの標準の設定から有効にできます。エンドユーザーがアップデートの自動インストールを無効にしているかぎり、アップデートは自動的にインストールされます。アップデートを提供するために、プライバシーポリシーに準拠し、本ソフトウェアがインストールされているコンピューターまたはプラットフォームに関する情報を含む、ライセンスの正当性を検証する必要があります。

アップデートの提供には、サービス終了ポリシー(EOLポリシー)が適用される場合があります。https://go.eset.com/eol_homeをご覧ください。本ソフトウェアまたは本ソフトウェアの機能がEOLポリシーで定義されているサービス終了日に達した後は、アップデートが提供されません。

本契約の目的のために、プライバシーポリシーに従い、供給者がお客様を特定できるようにするデータを収集、処理、および保存する必要があります。お客様は、供給者が独自の手段によって、お客様が本契約の規定に従って本ソフトウェアを使用しているかどうかを確認することに同意します。お客様は、本契約の目的でのみ、本ソフトウェアと供給者のコンピューターシステムまたは供給者の販売およびサポートネットワークの一部としての供給者のビジネスパートナーのコンピューターシステムとの間の通信中に、お客様のデータを転送し、本ソフトウェアの機能および本ソフトウェアの使用許可を保証し、供給者の権利を守る必要があることを承諾します。

本契約の締結後、供給者および供給者の販売およびサポートネットワークの一部としての供給者のビジネスパートナーは、請求目的、本契約の履行、およびお客様のコンピューターでの通知の送信のために、

お客様を特定できる基本データを転送、処理、および保管する権利を有するものとします。

データ主体としてのプライバシー、個人データ保護、およびお客様の権利の詳細については、供給者のWebサイトまたはインストール処理で直接アクセスできるプライバシーポリシーを参照してください。お客様は、ソフトウェアのヘルプセクションからアクセスすることもできます。

5.エンドユーザの権利行使。お客様は、エンドユーザーの権利を、直接またはお客様の従業員を通じて行使する必要があります。お客様は、自らの活動を確実なものとするためにのみ、およびお客様がライセンスを取得したコンピューターシステムを保護するためにのみ、本ソフトウェアを使用できます。

6.権利の制限。お客様は本ソフトウェアのコピー、配布、部品の分離、または派生バージョンの作成を行ってはなりません。本ソフトウェアの使用時には、下記の制限事項に従う必要があります。

a) お客様は、データの永久記憶用媒体上に本ソフトウェアのコピーを1つ、バックアップコピーとして作成できます。ただし、この保管用のバックアップコピーは、他のいかなるコンピュータにもインストールしたり、または使用したりすることができません。これ以外に本ソフトウェアのコピーを作成することは、本契約に対する違反となります。

b) 本契約に規定されている以外のいかなる態様でも、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアのコピーの使用、改変、複製、または使用権の譲渡を行ってはなりません。

c) 本ソフトウェアの売却、サブライセンス付与、他人への賃貸もしくは他人からの賃借、借用、または商業サービスの提供目的での本ソフトウェアの使用は禁じられています。

d) 本ソフトウェアのリバースエンジニアリング、逆コンパイル、またはソフトウェアの逆アセンブルを行ったり、ソースコードを取得しようとしたりしてはなりません。ただし、そのような制限を設けることが法律によって明示的に禁止されている範囲内においては、この限りではありません。

e) お客様は、著作権法およびその他の知的財産権から生じる、適用可能な制限など、本ソフトウェアを使用する際の法律におけるすべての適用可能な法的規制に従う態様においてのみ、本ソフトウェアを使用できます。

f) お客様は、本ソフトウェアおよびその機能を、他のエンドユーザーがそれらのサービスにアクセスする可能性を制限しない方法でのみ使用することに同意するものとします。供給者は、可能な限り多くのエンドユーザーがサービスを利用できるようにするために、個別のエンドユーザーに提供されるサービスの範囲を制限する権利を留保します。サービスの範囲を制限することにより、本ソフトウェアのすべての機能を使用することもできなくなり、本ソフトウェアの特定の機能に関連する供給者のサーバー上またはサードパーティのサーバー上のデータおよび情報も削除されることとします。

g) お客様は、本契約の条項に反して、ライセンスキーの使用に関する活動、または何らかの形式での使用済みまたは未使用のライセンスキーの譲渡、不正複製、複製または生成されたライセンスキーの配布、あるいは供給者以外から入手したライセンスキーを使用したソフトウェアの利用など、本ソフトウェアの使用の資格がない個人にライセンスキーを提供する行為を実施しないことに同意します。

7.著作権。本ソフトウェア、および所有権や知的所有権を含む一切の権利は、ESETおよび / またはESETのライセンス供給者の財産です。これらは、国際条約の規定と本ソフトウェアが使用される国のその他のすべての準拠法によって保護されます。本ソフトウェアの構造、編成、およびコードは、ESETおよび / またはESETのライセンス供給者の重要な企業秘密であり機密情報です。お客様は、第6条(a)に当てはまる場合を除いて、本ソフトウェアをコピーすることはできません。本契約に基づき、お客様が作成するコピーはすべて、本ソフトウェア上に示されるものと同じ著作権表示および所有権表示を含んでいなければなりません。お客様がリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、本契約の規定に違反する方法でソースコードを取得しようとした場合、それによって得られたいかなる情報も、それが発生した瞬間からすべて、本契約の違反に関連する供給者の権利にかかわらず、自動的にかつ取り消しできない形で供給者に譲渡され、供給者の所有であるとみなされます。

8.権利の留保。本ソフトウェアに対する権利は、本契約において本ソフトウェアのエンドユーザーとしてお客様に明示的に与えられた権利を除き、すべて供給者自身が留保します。

9.複数言語対応バージョン、デュアルメディアソフトウェア、複数コピー。本ソフトウェアが複数のプラットフォームまたは言語をサポートしているか、お客様が本ソフトウェアのコピーを複数入手した場合、お客様はライセンスを取得したバージョンのコンピューターシステム数でのみ本ソフトウェアを使用できます。使用していない本ソフトウェアのバージョンやコピーを、他者に売却、賃貸、質借、サブライセンス付与、貸与、または譲渡することはできません。

10.本契約の開始と解除。本契約は、お客様が本契約に同意した日から有効となります。本契約は、お客様が本契約に同意した日から有効となります。お客様は、供給者またはそのビジネスパートナーから入手した本ソフトウェア、すべてのバックアップコピー、および関連するすべての資料を、永久的に削除、破棄、または自費で返却することにより、本契約を解除することができます。本ソフトウェアおよび本ソフトウェアの機能を使用するお客様の権利にはEOLポリシーが適用される場合があります。本ソフトウェアまたは本ソフトウェアの機能がEOLポリシーで定義されているサービス終了日に達した後は、本ソフトウェアを使用するお客様の権利が失効します。本契約の終了の態様に関係なく、第7条、第8条、第11条、第13条、第19条、および第21条の規定は、無期限に有効であり続けるものとします。

11.エンドユーザーの表明。お客様はエンドユーザーとして、明示または暗黙のいかなる種類の保証も伴わず、該当の法律によって許可される範囲において、本ソフトウェアが「現状有姿」のまま提供されていることを認めるものとします。供給者、そのライセンス供給者、関係者、および著作権保有者のいずれも、本ソフトウェアの特定の目的に対する商品性または適合性、および第三者の特許、著作権、商標、またはその他の権利に対する侵害の不存在について、明示または黙示を問わず、一切の表明または保証を行いません。供給者もその他の関係者も、本ソフトウェアに含まれている機能がおお客様の要求に沿うこと、または本ソフトウェアが円滑で問題なく動作するということの保証を行いません。お客様は、意図する結果に到達するための本ソフトウェアの選択、および本ソフトウェアのインストール、使用、および本ソフトウェアで達成される結果について、完全に責任とリスクを負います。

12.さらなる義務の否定。本契約で具体的に列挙される義務以外に、本契約が供給者およびそのライセンサーに対して課す義務はありません。

13.責任の制限。準拠法によって許可される最大限の範囲において、いかなる場合も、供給者、その被雇用者、ライセンス供給者は、どのような態様で発生したものであろうと、契約、違法行為、怠慢、または責任の発生を定めるその他の事実のいずれに起因するものであるかを問わず、本ソフトウェアのインストール、本ソフトウェアの使用、または本ソフトウェアが使用できないことにより発生した、利益、収益、または売上の損失、データの喪失、補用品またはサービスの購入にかかった費用、物的損害、人的損害、事業の中断、企業情報の喪失、特別損害、直接損害、間接損害、偶発的損害、経済的損害、補填損害、懲罰的損害、特別または派生的損害に対し、一切責任を負わないものとします。これは、たとえば供給者、そのライセンス供給者、または関係者がそのような損害の可能性について通知を受けていた場合であっても同様です。一部の国および法律では、免責を認めず、しかし限定された範囲の責任を負うことは許可しています。その場合、供給者、その被雇用者、ライセンス供給者、または関係者の責任は、お客様がライセンスの対価として支払った金額を限度とします。

14. 本契約に含まれるものは何も、それに反する場合であっても、消費者として取引するすべての当事者の法的権利を損なうものではありません。

15.テクニカルサポート。テクニカルサポートは、ESETまたはESETの依頼を受けた第三者の独自の判断により提供され、いかなる種類の保証も表明も伴わないものとします。本ソフトウェアまたは本ソフトウェアの機能がEOLポリシーで定義されているサービス終了日に達した後は、テクニカルサポートが提供されません。エンドユーザーは、テクニカルサポートの提供の前に、存在するすべてのデータ、ソフトウェア、プログラム機能をバックアップする必要があります。ESETおよび / または ESETの依頼を受けた第三者は、テクニカルサポートの提供によりお客様に生じたデータ、資産、ソフトウェアまたはハードウェアの損害または損失、もしくは利益の喪失について、いかなる責任も負いません。ESETおよび / または ESETの依頼を受けた第三者は、問題をテクニカルサポートで解決できないと判断する権利があります。ESETは、独自の判断により、テクニカルサポートの提供を拒否、中断、終了する権利があります。ライセン

ス情報、情報、およびプライバシーポリシーに準拠した他のデータは、技術サポートを提供するために必要になる場合があります。

16. ライセンスの譲渡。 本契約の条件に違反しないかぎり、あるコンピューターにインストールされていた本ソフトウェアを別のコンピューターシステムにインストールすることができます。エンドユーザーは、本契約の条件に違反しない場合のみ、供給者の同意の元、本契約から派生するライセンスおよびすべての権利を、別のエンドユーザーに永久に譲渡する権利があります。その場合(ii) 元のエンドユーザーは、ソフトウェアのコピーを保持しておらず(ii) 元のエンドユーザーから新しいエンドユーザーへ直接権利が譲渡され(iii) 新しいエンドユーザーが元のエンドユーザーに課せられた本契約に基づくすべての権利および義務を負い、(iv) 元のエンドユーザーが新しいエンドユーザーに、第17条で規定するソフトウェアが正規のものであることを証明するドキュメントを提供するものとします。

17. 正規ソフトウェアの証明。 エンドユーザーのソフトウェアの使用資格は、次のいずれかの方法で証明できます(ii) 供給者または供給者が指定した第三者が発行するライセンス証明書(ii) 締結されている場合、書面によるライセンス契約(iii) アップデートを有効にするライセンスの詳細（ユーザ名およびパスワード）が記載された供給者に送信された電子メールの提出。ライセンス情報およびプライバシーポリシーに準拠したエンドユーザー識別データは、ソフトウェアの純正を検証するために必要になる場合があります。

18. 公共団体および米国政府に対するライセンス。 米国政府を含む公共団体に対する本ソフトウェアのライセンスは、本契約に明記しているライセンス権利および制限に基づいて提供されます。

19. 輸出管理規制

a) お客様は、直接的または間接的に、ESETまたはESETの持ち株会社ESETの子会社、持ち株会社の子会社、持ち株会社が管理する事業体による次のような輸出貿易管理法の違反または輸出貿易管理法の下で否定的な結果につながる一切の個人に対して本ソフトウェアを輸出、再輸出、移転、または提供せず、そのような方法でソフトウェアを使用せず、そのような行為に関与したりしないものとします。

i. 米国、シンガポール、英国、欧州連合またはその加盟国、本契約の義務が履行される国、あるいはESETまたはその関連会社が登録または事業を行う国の政府、州、規制当局が発行または採用した、商品、ソフトウェア、技術、サービスの輸出、再輸出、または移転を統制、制限、またはライセンス要件を課すすべての法律。

ii. 米国、シンガポール、英国、欧州連合またはその加盟国、本契約の義務が履行される国、あるいはESETまたはその関連会社が登録または事業を行う国の政府、州、規制当局が課した経済、金融、貿易、制裁、制限、禁止、輸出入禁止、資金または資産の移転の禁止、サービス提供の禁止、あるいは同等の対策。

(上記第i項および第ii項で参照される法律、ならびに「貿易管理法」)。

b) ESETは、次の場合において、本契約の義務を即時停止または解除する権利を有するものとします。

i. ESETが、合理的な意見において、ユーザーが本契約の第19 a)条の条項に違反したか違反する可能性が高いと判断した

ii. エンドユーザーまたは本ソフトウェアに輸出貿易管理法が適用され、その結果としてESETが、合理的な意見において、本契約の義務の継続的な履行によってESETまたはその関連会社が輸出貿易管理法に違反するか、輸出貿易管理法の下で否定的な影響を受ける可能性があると判断した

c) いずれの当事者も、適用される輸出貿易管理法に準拠しないか、輸出貿易管理法の下で罰則を受けるか、禁止される行為または不作為(あるいは行為または不作為に同意すること)を勧誘または義務付けられるように、本契約のいずれの条項も意図せず、何もそのように解釈または理解されない

20. 通知。 すべての通知、ならびに本ソフトウェアおよびドキュメントの返却は、本契約の第22条に従い、

本契約、プライバシーポリシー、EOLポリシー、ドキュメントの変更をお客様に通知するESETの権利を損なうことなくESET, spol. s r. o., Einsteinova 24, 85101 Bratislava, Slovak Republic宛てに送付する必要がありますESETは、電子メールや、本ソフトウェア経由でのアプリ内通知を送信したりWebサイトにコミュニケーションを投稿したりする場合があります。お客様は、規約、特別な規約、プライバシーポリシーの変更、契約の提案/承諾、またはキャンペーンへの招待、通知または他の法的な通知に関するコミュニケーションを含め、電子的な形式でESETから法的な通知を受信することに同意します。適用される法律で特に別のコミュニケーションの形態が義務付けられている場合を除き、かかる電子的なコミュニケーションは書面を受け取った場合と同義に見なされるものとします。

21. 準拠法。 本契約は、スロバキア共和国の法律に準拠し、これに従って解釈されるものとします。エンドユーザーおよび供給者は、準拠法および国際物品売買契約に関する国際連合条約の矛盾する規定については、適用されないことに同意するものとします。お客様は、本契約に関するいかなるクレームもしくは供給者との紛争、または本ソフトウェアをお客様が使用することによるいかなる紛争またはクレームも、ブラチスラバ第1地方裁判所で解決し、さらに、ブラチスラバ第1地方裁判所での管轄権の行使に同意し、明示的にこれを承諾するものとします。

22. 一般条項。 本契約の条項のいずれかが無効または履行不能である場合、これが本契約のその他の条項の有効性に影響を及ぼすことはないものとします。これらその他の条項は、本契約に定める条件に基づき、引き続き有効かつ履行可能であるものとします。本契約は英語で締結されました。便宜上またはその他の目的で、本契約書の翻訳が用意されている場合、または本契約の翻訳版の間で不一致がある場合には、英語版が優先されるものとします。

ESETは、(i) 本ソフトウェアまたはESETの事業の方法に関する変更を反映する(ii) 法律、規制、セキュリティの理由から(iii) 悪用または被害を防止するため、関連するドキュメントを更新することで、いつでも、本ソフトウェアを変更し、本契約、付録、補遺、プライバシーポリシー、EOLポリシー、ドキュメントまたはその一部を改訂する権利を留保します。これらの条項の改訂は、電子メール、アプリ内通知、または他の電子的な手段で通知されます。お客様が本契約の変更の提案に同意しない場合は、変更の通知を受領してから30日以内にアカウントまたは影響を受ける購入済みのサービスを解約できます。この期限内に本契約を解約しない場合は、提案された変更が承認されたと見なされ、変更の通知を受け取った日時点でお客様側で変更が有効になります。

本契約は、本ソフトウェアに関するお客様および供給者間の合意事項をすべて網羅しており、本ソフトウェアに関する従前のいかなる表明、議論、約束、情報交換、または広告にも取って代わります。

EULAID: EULA-PRODUCT; 3537.0

プライバシーポリシー

発効日: 2024年4月3日 | [前のバージョンのプライバシーポリシーを表示](#) | [変更の比較](#)

個人データの保護は、データ管理者としてのESET, spol. s r. o. (登録事業所所在地: Einsteinova 24, 851 01 Bratislava, Slovak Republic 事業登記番号: 31333532)(ESETまたは「当社」)にとって特に重要ですESETは、EU一般データ保護規制(GDPR)の下で法的に規定された透明性要件に準拠します。この目標を達成するためにESETは、データ主体としてのお客様(「エンドユーザー」または「お客様」)に次の個人データ保護事項を通知する目的でのみ、本プライバシーポリシーを発行しています。

- 個人データの処理の法的根拠
- データ共有と機密保持
- データセキュリティ
- データ主体としての権利
- 個人データの処理、
- 連絡先情報。

このプライバシーポリシーは、当社の標準化されたサブスクリプションソリューション(「ソリューション

ン」)、お客様のESET HOMEアカウント(「アカウント」)、およびアカウント経由でESETが提供するhome.eset.com WebサイトESET HOMEアプリケーション、サービス、および機能(集合的に「サービス」)の提供と使用に適用されます。サービス固有のプライバシーポリシーが規定されており、不一致がある場合には、その規定が優先されるものとします。

ESETは、単独の裁量により、随時プライバシーポリシーを変更する場合があります。その場合ESETは修正されたプライバシーポリシーへのリンクが記載された電子メール通知をお客様に送信します。あるいは、アプリ内通知または他の電子手段を使用して、修正されたバージョンについてお客様に通知します。修正されたプライバシーポリシーに同意しない場合、または遵守できない場合、お客様はアカウントとサービスの使用を停止し、必要に応じてアンインストールするものとします。修正が効力を有した後に、お客様がアプリケーションまたはサービスを引き続き使用する場合、お客様は修正されたプライバシーポリシーを承諾したものと見なされます。

ESETのサービスは大人向けです。18歳未満の場合は、保護者または他の法的保護者が関与している場合にのみ、アカウントまたは関連するサービスを作成して使用できます。

個人データの処理

アカウントおよびサービスは、[利用規約](#)(「規約」)、および必要に応じて関連するサービスに関連付けられたESET製品(「製品」)およびESET HOMEアプリケーションのエンドユーザーライセンス契約(EULA)に従ってESETが提供しますが、一部の条項には特に注意が必要な場合があります。そこで、お客様のアカウントおよびESETのサービスの提供に関するデータ収集および処理の詳細について説明いたします。すべてを動作させるために、当社は、次の情報を収集するか、次の情報にアクセスする必要があります。

- アカウントの登録と使用、サービスの提供、および法的な請求の確立、行使、弁護の際には、お客様の氏名、国、有効な電子メールアドレス、およびログイン資格情報が必要です。さらに、お客様がアカウントにログインするために使用するデバイスとアプリケーションに関する一部の基本技術情報を取得します。
 - お客様のアカウントを保護するために、お客様がアカウントにログインするたびに、ブラウザのフィンガープリントとIPアドレスが収集されます。不明なブラウザのフィンガープリントと不明なIPアドレスの場合、電子メールを送信し、不審なアカウントへのログインの試みが行われている可能性があることについてお客様に通知します。
 - AppleやGoogleが提供するサードパーティ認証を使用して、アカウントの登録やサインインを行うこともできます。このような場合、登録処理中および上記で規定された他の目的で、かかる第三者から提供されたお客様の電子メールアドレスおよびお客様の国を処理します。
- ESET HOMEでは、お客様に管理機能を提供するために、管理対象のデバイスと製品ライセンスに関する情報が必要です。具体的にはESETは、お客様が所有する製品ライセンスの種類(無償版、体験版、有償版など)に関連するデータ、ライセンスの有効期限、アクティベーションステータス、ライセンスの識別情報といった製品ライセンスに関する情報を処理します。アカウントに関連付けられたデバイスについては、デバイス名と種類、オペレーティングシステム、セキュリティステータス、アクティベーションされた製品、デバイスの識別情報に関するデータを処理します。製品ライセンスを使用し、アカウントに関連付けられていないデバイス(または別のユーザーと共有され、そのユーザーのアカウントに関連付けられていないデバイス)の場合には、デバイス名と種類、モデル、製品のアクティベーション日付などの一部の情報しか処理されません。
 - お客様が製品ライセンスを所有していて、友達や家族とライセンスを共有する場合は、アカウントから使用可能な機能を共有するとライセンスを共有できます。この場合、電子メールアドレスを入力する必要があります。関連する製品またはサービスの使用を可能にし、関連する招待を送信する目的でのみ、電子メールアドレスなどを処理します。このようなESETから友達に送信されたメッセージにはお客様の電子メールアドレスが記載されるため、友達は誰から紹介されたのかがわかります。お客様の友達は、いつでもESETに問い合わせ、このようなデータをESETのデータベースから削除するように要請することができます。ライ

センスの共有はいつでもキャンセルできます。

- お客様が製品ライセンスを所有しておらず、他のユーザーが製品ライセンスをお客様と共有した場合は、アカウント登録中にお客様が指定した電子メールアドレスが製品ライセンスの所有者に開示されます。アカウントに関連付けられたデバイスに関する詳細情報を表示できるのはお客様のみです。ご安心ください。ライセンス所有者は、上記のデバイスに関する一部の情報のみを表示できます。

- **ライセンスおよび請求データ** 名前、電子メールアドレス、製品認証キー、(該当する場合)住所、会社名、決済データは、適用法またはお客様の同意に従って、ライセンスのアクティベーション、製品認証キーの提供、有効期限のリマインダー、サポート依頼、ライセンスが本物であることの検証、サービスの提供、および他の通知(マーケティングメッセージを含む)を支援する目的で、ESETによって収集および処理されます。ESETは、請求情報を10年間保管することを法的に義務付けられています。ただし、ライセンス情報はライセンスの有効期限切れ後12か月以内に匿名化されます。
- **アップデートおよび他の統計情報** 処理される情報には、製品がインストールされているプラットフォームを含むインストール処理とコンピューターに関する情報、およびオペレーティングシステム、ハードウェア情報、インストールID、ライセンスID、IPアドレス、MACアドレス、製品の構成設定といった製品の動作と機能に関する情報が含まれます。これらの情報は、アップデートおよびアップグレードサービスの提供、ならびにESETバックエンドインフラストラクチャのメンテナンス、セキュリティ、改善の目的で処理されます。
- **ESET LiveGrid®レピュテーションシステム**。このシステムは、検査するファイルのハッシュと安全なファイル、安全でないファイルのクラウドベースデータベースを比較することで、マルウェアからの保護を強化します。このために、潜在的な脅威に関連する一方向ハッシュを使用し、その過程でお客様を特定しないようにします。
- **ESET LiveGrid®フィードバックシステム**。新しい脅威の先を行けるよう、このシステムを頼りにしています。疑わしいサンプルとメタデータを収集することで、新たなリスクに迅速に対応しています。以下は、お客様の助けを借りて当社が収集する可能性があるものです。
 - 潜在的なマルウェアサンプルまたはその他の疑わしいファイル
 - IPアドレス、Webサイトアドレス、ネットワークデータなどのWeb使用状況の詳細
 - クラッシュレポートとダンプに含まれる情報

必要なデータの収集のみを目的としていますが、マルウェア内のデータやファイル名やURLに埋め込まれたデータなど、意図しない情報が入り込むことがあります。この意図しないデータをメインシステム内で使用したり、このポリシーに記載されている目的で使用したりすることはありませので、ご安心ください。

ESET LiveGrid®フィードバックシステムを通じて取得したデータは、常にお客様を特定することなく処理され、お客様のIDを安全かつ非公開に保ちます。1か月以内にスパムとしてお客様が報告した電子メールまたは当社のサービスによってフラグ設定された電子メールのメッセージをすべて削除します。

- **ESET Parental Control**には、お客様が管理されたユーザー(お子様など)のアクセスを特定のWebページ/モバイルアプリケーションのグループに制限したり、管理されたユーザーに時間管理ルールを適用したり、デバイスの位置情報を検索したりする機能が含まれています。これらの機能を有効にするため、管理されたユーザーのルールを設定した正確な方法に応じてESET Parental Controlが情報をESETに送信します。これには、アクセスしたWebサイト、物理的な位置情報、モバイルアプリケーション、ESET Parental Controlの動作と機能の情報といったデバイスに関する情報が含まれますが、これらに限定されません。この情報には、お客様または他の管理対象ユーザー(名前、年齢、必要の場合は写真でも管理対象ユーザーを指定できます)のデータ、インストールされているオペレーティングシステムやアプリケーションなどの管理されたデバイスの情報が含まれる場合があります。ESET Parental Control経由で収集されたデータは、お客様にサービスを提供する目的でのみ処理されます。収集から60~90日間が経過すると、このデータは削除されます。
- **ESET Anti-Theft**は、インストールされているコンピューターまたは他のデバイスの紛失や盗難に直接関連する重要データの喪失や悪用を防止するように支援します。この機能は、関連する製品の既定の設定でオフにされています。この機能を有効にする場合は、紛失したデバイスに関するデー

タが収集されESETに送信されます。これには、サービスの正確な設定方法に応じて、デバイスのネットワーク位置情報関連データ、画面に表示された内容、デバイス設定データ、およびデバイスに接続されたカメラによって記録されたデータが含まれることがありますESET Anti-Theft経由で収集されたデータは、お客様にサービスを提供する目的でのみ処理されます。収集から1年が経過すると、このデータは削除されます。

- ESET Password Managerでは、パスワード、クレジットカード番号、または選択したその他のデータをローカルインストールされたアプリケーションに保存し、デバイス間で同期して使用することができます。アプリケーションに保存することを選択したデータは、ローカルでデバイスにのみ保存され、マスターパスワードで保護され、暗号化されます。すべてのデバイスでかかるデータの使用を有効にするには、データをESETのサーバーまたはESETのサービスプロバイダーのサーバーにも保存する必要があります。ただし、データは暗号化された形式で保存されるため、自分しかデータにアクセスすることはできませんESETやESETのサービスプロバイダーは、暗号化されたデータにアクセスしたり、マスターパスワードを保存したりすることはできません。お客様のみがデータを復号化するための鍵を保有しています。アカウント経由でこのサービスをアクティベーションするには、自分の電子メールアドレス、または製品ライセンスに従ってサービスの利用を許可したい友達の電子メールアドレスを入力しますESET Password Managerでの個人データの処理の詳細については、特別な[プライバシーポリシー](#)をご覧ください。
- VPNはログに保持を適用しません。
- カスタマーエクスペリエンス改善プログラムESET [カスタマーエクスペリエンス改善プログラム](#)のアクティベーションを選択した場合、お客様の同意に基づき、当社の製品の使用に関連する匿名のテレメトリ情報が収集され、使用されます。
- サポート要求に含まれる連絡先情報およびデータは、お客様が必要なサポートを提供する際に必要な場合があります。選択した連絡方法に基づき、当社は、電子メールアドレス、電話番号、製品ライセンス情報、製品詳細、およびサポートケースの説明を収集する場合があります。サポートを円滑に進め、お客様において発生している問題を解決するために、お客様は追加情報を提供するように求められる場合があります。
- ESETは、Google バーコードスキャンAPIを使用して、アプリケーションのQRコードリーダー機能を有効にします。撮影された画像はお客様のデバイス内でのみ処理されますので、ご安心ください。ただしESET Google APIは、使用状況分析および診断目的で、APIの管理、デバッグ、改善に必要なAPIの使用状況およびパフォーマンスに関連する一部の技術情報をGoogleに送信する場合があります。このような処理と収集されるデータの詳細については、[Google API プライバシー情報](#)をご覧ください。

さらにESETは、次のような他の目的のために、サービスの提供中に取得されたデータを処理する場合があります。

- ESETは、お客様の連絡先詳細情報またはアカウントを使用して、製品またはサービスに関連するお知らせを配信する場合があります。たとえば、サービス関連のレポートや通知の提供ESETのサービスに対するお客様のニーズや満足度の調査、お客様が使用している製品やサービスと類似した製品やサービスの広告などがあります。ただし、このようなマーケティングのコミュニケーションはオプトアウトすることで配信されなくなります。
- ESETは、サービスとユーザビリティの改善、パフォーマンスの分析、発生しうるエラーの修正の目的で、お客様のサービスの利用状況に関連する集約された統計データを一部処理する場合があります。
- お客様のオプトインの同意に基づいてESETは、アプリケーションクラッシュに関連する技術データ（デバイス情報、インストール識別子、クラッシュトレース、クラッシュミニダンプなど）を収集および処理して、クラッシュを調査し、クラッシュの原因を解明し、アプリケーションが完全に動作することを保証する場合がありますESETはGoogleを使用して、これらのデータを収集および分析します。このような処理と収集されるデータの詳細については、該当する[Google プライバシーポリシー](#)をご覧ください。

Cookie

Webサイトとサービスの正常な動作のためにESETは、お客様がESETのWebサイトにアクセスしたとき、

アカウントにログインしたとき、または特定のサービスを利用したときに、一部のCookieをお客様のWebブラウザに保存します。既定ではESETは、お客様が求めるWebサイトおよびサービスの機能に絶対必要なCookieのみを使用しますESETは、絶対に必要なCookieとして他のCookieを使用する際に、お客様の同意を確認しますCookieの処理の詳細については、[Cookieポリシー](#)を参照してください。

個人データの処理の法的根拠

ESETが個人データの保護に関連する該当する法的フレームワークに従って使用するデータ処理には、ほとんど法的根拠がありませんESETにおける個人データの処理は、主に、エンドユーザーとの[エンドユーザー使用許諾契約](#) (EULA)の履行(GDPR第6 (1) (b)条)に必要です。これは、明示的な記載がないかぎりESETの製品またはサービスの提供に適用されます。例:

- 正当な利益という法的根拠(GDPR第6 (1) (f)条)。これにより、お客様がサービスを使用する方法、ならびにESETが提供できる最高の保護、サポート、およびエクスペリエンスに対するお客様の満足度に関するデータを処理できます。適用される法律では、マーケティングも正当な利益と認識されているため、通常はお客様とのコミュニケーションで使用されるCookieについては、この概念を適用します。
- 同意(GDPR第6 (1) (a)条)ESETがこの法的根拠を最も適切な根拠であると見なすとき、または法律で義務付けられている場合には、特定の状況においてESETがお客様の同意を求める場合があります。
- 電子通信、請求または課金文書の保持に関する要件の規定など、法的義務の遵守(GDPR第6 (1) (c)条)。

データ共有と機密保持

ESETがお客様のデータを第三者と共有することはありません。ただしESETは、販売、サービス、およびサポートネットワークの一部として、関連会社またはパートナーを通して、世界中で事業を展開する企業ですESETが処理するライセンス、請求、テクニカルサポート情報は、サービスやサポートの提供といったエンドユーザーライセンス契約の履行の目的で、関連会社またはパートナーとの間で転送される場合があります。

基本的に、ESETは、欧州連合(EU)でデータを処理します。ただし、お客様の居住国(EU外での製品またはサービスの利用)またはお客様が選択するサービスによってはEU外の国にお客様データを転送しなければならない場合があります。たとえばESETは、クラウドコンピューティングに関連してサードパーティサービスを使用しています。このような場合ESETはサービスプロバイダーを厳選し、契約、技術、組織的な対策を導入して、適切なレベルのデータ保護を保証します。原則としてESETは、EUの標準契約条項と補足契約規制(必要な場合)に同意します。

英国やスイスなどのEU外の一部の国についてはEUが既に同等のデータ保護を決定しています。同等のデータ保護が規定されているため、このような国へのデータ転送には特別な認可または同意が必要ありません。

当社は第三者のサービスを頼り、[外部処理者](#)と連携して、クラウドコンピューティング、請求などに関連するサービスを提供しています。

データセキュリティ

ESETは、適切な技術的および組織的な対策を導入し、潜在的なリスクに適したレベルのセキュリティを保証します。当社は最善を尽くし、処理システムおよびサービスに関する、継続中の機密性、完全性、可用性、および障害回復力を保証します。ただし、お客様の権利と自由を脅かす結果になるデータ違反の場合には、すぐに該当する監督当局とデータ主体として影響を受けるエンドユーザーに通知します。

データの主体の権利

すべてのエンドユーザーの権利は重要です。ESETは、すべてのエンドユーザー(EU加盟国およびEU非加盟国)が次の権利について保証されていることを通知します。データ主体の権利を行使するには、サポートフォームまたは電子メール(dpo@eset.sk)でお問い合わせください。本人確認目的で、次の情報をご提示ください。お名前、電子メールアドレス、製品認証キー(該当する場合)、お客様番号、会社名。生年月日などの他の個人データは送信しないでください。またESETは、お客様の依頼を処理し、本人確認を行うために、お客様の個人データを処理します。

同意を取り消す権利。同意のみに基づく処理の場合、同意を取り消す権利が適用されます。ESETがお客様の同意に基づいてお客様の個人データを処理する場合、お客様は、理由を提供せずに、いつでも同意を取り消す権利があります。同意の取り消しは将来に対してのみ有効であり、取り消し前に処理されたデータの合法性には影響しません。

異議を申し立てる権利。同意のみに基づく処理の場合、同意を取り消す権利が適用されます。ESETが合法的な利益を保護するために、お客様の個人データを処理する場合、データ主体としてのお客様は、いつでもESETが指名した合法的な利益および個人データの処理に対して異議を申し立てる権利があります。異議申し立ては将来に対してのみ有効であり、異議申し立て前に処理されたデータの合法性には影響しません。ESETがダイレクトマーケティング目的で個人データを処理している場合、お客様の異議申し立ての理由を提出する必要はありません。これは、このようなダイレクトマーケティングに関連しているかぎり、プロファイリングにも該当します。他のすべての場合において、お客様は、ESETが個人データを処理する正当な利益に対する苦情について簡潔に通知することが求められます。

場合によっては、お客様が同意を取り消したり、異議申し立ての処理中であるにもかかわらずESETは、契約の履行など、別の法的根拠に基づいて個人データを引き続き処理する資格があります。

アクセスの権利。お客様は、データ主体として、いつでも無料で、ESETによって保存されたデータに関する情報を取得する権利があります。

修正する権利。ESETがお客様に関する誤った個人データを間違えて処理した場合、お客様はこれを修正する権利があります。

消去する権利。データ主体として、お客様は、個人データの削除または制限を要求する権利があります。お客様の同意を得た場合などESETがお客様の個人データを処理し、お客様がその同意を取り消し、それ以上の法的根拠(契約など)が存在しない場合ESETはただちにお客様の個人データを削除します。お客様の個人データは、保持期間の終了に指定された目的で必要とされなくなった時点ですみやかに削除されます。

処理を制限する権利。ESETが直接マーケティングの目的でのみお客様の個人データを使用し、お客様が同意を取り消したか、根拠となるESETの合法的な利益に対して異議を申し立てた場合ESETは、未承諾の連絡を回避する目的でお客様の連絡先データを社内ブラックリストに追加する範囲で、お客様の個人データの処理を制限します。そうでない場合、お客様の個人データは削除されます。

ESETは、立法当局または監督当局によって発行された保持義務および期間が終了するまで、お客様のデータを保存することが義務付けられている場合があります。保持義務と期間は、スロバキア法律によっても生じ得る場合があります。その後、該当するデータは日常的に削除されます。

データ移植性の権利。ESETは、データ主体としてのお客様に対してESETが処理する個人データをxls形式で提供いたします。

苦情を申し立てる権利。データ主体として、お客様は、いつでも監督当局に苦情を申し立てる権利を有します。ESETはスロバキア法の規制に準拠し、欧州連合の一部としてデータ保護法によって拘束されます。該当するデータ監督当局は、スロバキア共和国個人データ保護局(Hraničná 12, 82007 Bratislava 27, Slovak Republic)です。

連絡先情報

データ主体として権利を行使する場合、またはご質問や懸念をお持ちの場合は、以下の宛先までご連絡ください。

ESET, spol. s r.o.
Data Protection Officer
Einsteinova 24
85101 Bratislava
Slovak Republic
dpo@eset.sk

Cookie ポリシー

2022年9月6日付で発効

このCookieポリシーは、それぞれ個別の法人であるESET spol. s r.o.あるいは子会社またはパートナー(ESETまたは「当社」)のいずれかによって運用されるWebサイトに対して作成されますESETは、いわゆるCookieおよび同様の技術をWebサイトで使用するため、その使用に関して透明であり、すべてのアクセスユーザーが自分のデバイスに関する情報を得られるようにしたいと考えています。このCookieポリシーは特にCookieに重点を置いています。

ESET HOME Webサイトでの個人データの処理方法の詳細については、[プライバシーポリシー](#)を参照してください。

Cookie とは何ですか。

CookieとはWebサイトにアクセスするときにブラウザーに配置され、もう一度サイトにアクセスした場合に読み取られる小さいテキストファイルですCookieに保存されたこのような情報は、お客様、デバイス、または環境設定に関する情報が含まれます。通常、このような情報で直接お客様が特定されることはありません。一部のCookieは、Webサイトまたは特定のサービスが正常に動作し、適切なレベルのセキュリティを確保するうえで必須ですWebサイトのパーソナリゼーション、Webサイトトラフィックの分析、またはオンライン製品またはサービスの広告目的など、他の目的で使用されるCookieもありますESETは、使用するCookieを目的に基づいて分類しました。詳細については、[ESETが使用するCookieの分類](#)セクションを参照してください。[このWebサイトで使用されるCookie](#)セクションでは、このWebサイトで使用される個別のCookieが一覧表示され、使用される目的と有効期限を含むより具体的な情報が提供されています。

Cookieの種類

次のセクションでは、「ファーストパーティCookieまたはESETが設定するCookieと、ESETのパートナーが設定する「サードパーティCookieを識別しますESETのパートナーは、ESETのWebサイトで特定のサービス(通常は分析またはマーケティングサービス)を提供する第三者です。さらにESETは、Webサイトでブラウザーセッションの期間にのみ保存される「セッションCookieと、以下に示す期間により長く保存され、もう一度Webサイトにアクセスする場合でも読み取ることができる「永続Cookieを識別します。サードパーティCookieの設定は、サードパーティが管理しています。

使用するCookieのカテゴリ

必須のCookieこれらのファーストパーティCookieは、お客様にとって必要なWebサイトおよびサービス

の機能とセキュリティで必要です。通常は、Cookie設定の記憶、ログイン、カートの商品の保持など、特定の機能の使用を有効にするためのアクションに対応して設定されます。これらのCookieをオプトアウトすることはできません。ブラウザでブロックする場合は、サイト機能に影響する可能性があります。

基本分析のためのCookie。これらのファーストパーティCookieによりWebサイトの訪問者数/ユーザー数を測定できますESETは、使用状況とパフォーマンスを集約した統計情報を作成するために、収集された機密ではないデータの一部(国、ブラウザおよびデバイスタイプ、最終3桁を匿名化したIPアドレス、それぞれのWebサイトに固有のCookie IDなど)を、信頼できるパートナーと共有しますESETは、これらのCookieを使用してWebサイトトラフィックとキャンペーンパフォーマンスの基本的な情報を取得します。これらのCookieを使用すると、詳細なアナリティクスのみを実行でき、クロスサイトトラッキングやWebサイト訪問者のプロファイリングは許可されないため、オプトアウトしない場合は、既定でブラウザに設定されます。オプトアウトした場合ESETのWebサイトまたはキャンペーンパフォーマンスを監視する能力が限定的になります。

高度な分析のためのCookie。これらのファーストパーティおよびサードパーティのCookieは、サードパーティツールのデータを活用してESETのデータセットを充実させることで、お客様がESETのWebサイトおよび各特定のサービス进行操作する方法をESETが分析する際に役立ちますESETはこれらのCookieを使用してWebサイト、サービス、ユーザー経験を改善したり、不具合や他の問題を検出、解決したり、キャンペーンの効果を評価したりします。これらのCookieは、お客様がオプトインの同意を付与した場合にのみ、お客様のブラウザに保存されます。お客様が分析Cookieの使用に同意しない場合は、ESETがESETのサイトまたはキャンペーンのパフォーマンスを監視する能力は非常に限定的になります。

マーケティングCookieこれらのサードパーティCookieを使用するとESETのマーケティングパートナーは、たとえば、製品のダウンロードまたは購入といった、お客様のWebサイトでのアクティビティを追跡できます。これらのデータは、お客様に関する他のデータと組み合わせられ、お客様の関心に関連するプロファイルを作成したり、他のWebサイトで関連性の高いターゲット広告を表示したりします。マーケティングCookieは、お客様がオプトインの同意を付与した場合にのみ、ブラウザに保存されます。同意しない場合は、お客様のニーズや関心に合ったオンライン広告が表示されることが少なくなります。

このWebサイトで使用されるCookie

必須のCookie

Cookie名	Cookieの有効期限	ドメイン	プロバイダ	Cookieの目的
---------	-------------	------	-------	-----------

Cookie名	Cookieの有効期限	ドメイン	プロバイダ	Cookieの目的
eset_cookie-bar	1 年以下	.eset.com	ESET	このCookieは、サイトが使用するCookieのカテゴリと、アクセスユーザーが各カテゴリの使用に対する同意または拒否のいずれを行ったかどうかに関する情報を保存します。これにより、サイト所有者は、同意されていないときに、各カテゴリのCookieがユーザーブラウザで設定されるのを防止できます。通常Cookieの有効期限は1年間であり、ユーザーがもう一度サイトにアクセスするときに設定が記憶されています。サイトのアクセスユーザーを特定できる情報は含まれません。
.AspNetCore.Session	セッション	login.eset.com	ESET	セッションCookie
.AspNetCore.Antiforgery.*	セッション	login.eset.com	ESET	セキュリティCookie
idsrv	セッション	login.eset.com	ESET	セッションCookie(IDサーバー)
idsrv.session	セッション	login.eset.com	ESET	セッションCookie(IDサーバー)
.AspNetCore.Culture	1 年以下	login.eset.com	ESET	ローカライゼーションCookie
default_language	1 年以下	.login.eset.com, .home.eset.com, parentalcontrol.eset.com, anti-theft.eset.com, passwordmanager.eset.com	ESET	ローカライゼーションCookie
ARRAffinitySameSite	セッション	.login.eset.com, .home.eset.com, parentalcontrol.eset.com, anti-theft.eset.com, passwordmanager.eset.com	ESET	ロードバランシング
ARRAffinity	セッション	.login.eset.com, .home.eset.com, parentalcontrol.eset.com, anti-theft.eset.com, passwordmanager.eset.com	ESET	ロードバランシング
TS*, TSPD_*	セッション	login.eset.com	ESET	ロードバランシング
persist	1 年以下	login.eset.com	ESET	セッションCookie
__RequestVerificationToken	セッション	parentalcontrol.eset.com	ESET	セキュリティCookie
_sessionId	セッション	parentalcontrol.eset.com, anti-theft.eset.com	ESET	セッションCookie

Cookie名	Cookieの有効期限	ドメイン	プロバイダ	Cookieの目的
.AspNet.Cookies	セッション	parentalcontrol.eset.com, anti-theft.eset.com	ESET	セッションCookie(自動生成)
__AntiXsrfToken	セッション	anti-theft.eset.com	ESET	セキュリティCookie
_ehdt	30日	login.eset.com	ESET	ESET HOMEでの二要素認証で、ブラウザーを信頼できるブラウザーに設定します。
spregristration	セッション	passwordmanager.eset.com	ESET	このCookieは、パスワードストアを作成するときに使用される電子メールアドレスを保存し、登録を完了するためにPassword Manager拡張機能で自動的に入力されます。

基本分析のためのCookie

Cookie名	Cookieの有効期限	ドメイン	プロバイダ	Cookieの目的
gat***	1 分	.ezet.com	Google LLC	要求率を制御するためにGoogle Analyticsによって設定されます。
_gid	1 日以下	.ezet.com	Google LLC	Webサイトアクセスユーザーの一意のIDを登録し、Webサイトの使用方法を追跡します。データは統計で使用されます。
_ga	2年	.ezet.com	Google LLC	Webサイトアクセスユーザーの一意のIDを登録し、Webサイトの使用方法を追跡します。データは統計で使用されます。
ga***	2年	.ezet.com	Google LLC	このCookieはWebサイトアクセスユーザーの一意のIDを保存し、Webサイトの使用方法を追跡します。データは統計で使用されます。

高度な分析のためのCookie

Cookie名	Cookieの有効期限	ドメイン	プロバイダ	Cookieの目的
hjSessionUser{site_id}	1 年以下	.ezet.com	Hotjar Ltd	このCookieは、ユーザーが最初にページにアクセスしたときにHotjarによって設定されます。そのサイト固有のHotjarユーザーIDを保持し、次回以降に同じサイトにアクセスしたときのデータが同じユーザーIDに属することを保証します。

Cookie名	Cookieの有効期限	ドメイン	プロバイダ	Cookieの目的
_hjid	1 年以下	.eset.com	Hotjar Ltd	このCookieは、ユーザーが最初にページにアクセスしたときにHotjarによって設定されます。そのサイト固有のHotjarユーザIDを保持し、次回以降に同じサイトにアクセスしたときのデータが同じユーザIDに属することを保証します。
_hjFirstSeen	セッション	.eset.com	Hotjar Ltd	このCookieはHotjarによって設定され、新しいユーザーの最初のセッションを特定します。フィルターの記録によって使用し、新しいユーザーセッションを特定します。
_hjUserAttributesHash	セッション	.eset.com	Hotjar Ltd	このCookieはHotjarによって設定されます。Hotjar Identify API経由で送信されたユーザー属性は、セッション期間中にキャッシュに保存されます。属性が変更され、更新する必要があるときに把握できます。
_hjCachedUserAttributes	セッション	.eset.com	Hotjar Ltd	このCookieはHotjarによって設定され、ユーザーがサンプルにないときには必ずHotjar Identify API経由で送信された属性を格納します。ユーザーがHotjarフィードバックツールを操作する場合にのみ、収集された属性がHotjarサーバーに保存されます。フィードバックツールの存在に関係なくCookieは使用されます。
_hjViewportId	セッション	.eset.com	Hotjar Ltd	このCookieはHotjarによって設定され、サイズや寸法などのユーザービューポート詳細情報を格納します。
hjSession{site_id}	30分	.eset.com	Hotjar Ltd	このCookieはHotjarによって設定され、現在のセッションデータを返します。セッションウィンドウの次回以降の要求が同じセッションに属していることを保証します。
_hjSessionTooLarge	セッション	.eset.com	Hotjar Ltd	このCookieはHotjarによって設定されます。セッションの時間が長すぎると、このCookieによってHotjarがデータの収集を停止します。セッションサイズが上限を超えた場合は、WebSocketサーバーの信号によって自動的に決定されます。
_hjSessionRejected	セッション	.eset.com	Hotjar Ltd	このCookieはHotjarによって設定されます。存在する場合は、サーバー過負荷のためにHotjarがWebSocketへの接続セッションを拒否したときに、ユーザーセッションの期間に「1」を設定します。重大なパフォーマンスの問題を防止するために、ごくまれに適用されます。

Cookie名	Cookieの有効期限	ドメイン	プロバイダ	Cookieの目的
_hjSessionResumed	セッション	.eset.com	Hotjar Ltd	このCookieはHotjarによって設定されます。接続の中断後、セッション/記録がHotjarサーバーに再接続されたときに設定されます。
_hjLocalStorageTest	100ミリ秒未満	.eset.com	Hotjar Ltd	Hotjarトラッキングコードがローカルストレージを使用できるかどうかを確認します。使用できる場合は、値1が設定されます。in_hjLocalStorageTestの保存されたデータには有効期限がありませんが、作成するとほぼその直後に削除されます。
_hjIncludedInPageviewSample	30分	.eset.com	Hotjar Ltd	このCookieはHotjarによって設定されます。ユーザーがサイトのページビュー上限で定義されたデータサンプリングに含まれるかどうかを決定するために設定されます。
_hjIncludedInSessionSample	30分	.eset.com	Hotjar Ltd	このCookieはHotjarによって設定されます。ユーザーがサイトの1日のセッション上限で定義されたデータサンプリングに含まれるかどうかを決定するために設定されます。
_hjAbsoluteSessionInProgress	30分	.eset.com	Hotjar Ltd	このCookieはHotjarによって設定されます。ユーザーの最初のページビューセッションを検出するために使用されます。
_hjTLDTest	セッション	.eset.com	Hotjar Ltd	このCookieはHotjarによって設定されます。失敗するまで、異なるURLサブストリング代替の_hjTLDTest Cookieを保存しようとしています。ページホスト名の代わりに、使用する最も一般的なCookieパスを決定するように試すことができます。Cookieをサブドメイン間で共有できることを意味します(該当する場合)。このチェックの後、Cookieが削除されます。
_hjRecordingEnabled	セッション	.eset.com	Hotjar Ltd	このCookieはHotjarによって設定されます。記録の開始時に設定されます。ユーザーが既に特定のセッションで記録状態にあるかどうかを確認するために、記録モジュールが初期化されるときに読み取られます。
_hjRecordingLastActivity	セッション	.eset.com	Hotjar Ltd	このCookieはHotjarによって設定されます。Cookieではなくセッションストレージに設定されます。ユーザー記録が開始するときと、データがWebSocket経由で送信される(ユーザーがHotjarで記録されるアクションを実行する)ときに更新されます。

Cookie名	Cookieの有効期限	ドメイン	プロバイダ	Cookieの目的
_hjClosedSurveyInvites	1 年以下	.eset.com	Hotjar Ltd	このCookieはHotjarによって設定されます。ユーザーが外部リンク調査招待モジュールを操作するときに設定されます。既に表示されている場合は、同じ招待が再表示されません。
_hjDonePolls	1 年以下	.eset.com	Hotjar Ltd	このCookieはHotjarによって設定されます。ユーザーがオンサイト調査を完了するときに設定されます。既に入力されている場合は、同じ調査が再表示されません。
_hjMinimizedPolls	1 年以下	.eset.com	Hotjar Ltd	このCookieはHotjarによって設定されます。ユーザーがオンサイト調査を最小化するときに設定されます。ユーザーがサイトを移動するときに、調査が最小化されます。
_hjShownFeedbackMessage	1 年以下	.eset.com	Hotjar Ltd	このCookieはHotjarによって設定されます。ユーザーが受信フィードバックを最小化または完了するときに設定されます。 受信フィードバックを表示するように設定されているページにユーザーが移動する場合に、受信フィードバックが最小化して読み込まれます。
_gaexp	90日	.eset.com	Optimize	実験にユーザーを含めることと、ユーザーが含まれる実験の有効期間を決定するために使用されます。
_opt_awcid	24時間	.eset.com	Optimize	GoogleAds顧客IDにマッピングされたキャンペーンで使用されます。
_opt_awmid	24時間	.eset.com	Optimize	Google AdsキャンペーンIDにマッピングされたキャンペーンで使用されます。
_opt_awgid	24時間	.eset.com	Optimize	Google Ads広告グループIDにマッピングされたキャンペーンで使用されます。
_opt_awkid	24時間	.eset.com	Optimize	GoogleAds条件IDにマッピングされたキャンペーンで使用されます。
_opt_utmc	24時間	.eset.com	Optimize	最後のutm_campaignクエリパラメーターを保存します。
_opt_expid	10秒	.eset.com	Optimize	このCookieは、リダイレクト実験を実行するときに作成されます。リダイレクトされているページのIDとバリエーションIDとリファラーを保存します。
_clck	1 年以下	.eset.com	Microsoft	そのサイトに固有のClarityユーザーIDとユーザー設定をブラウザで保持します。これにより、同じサイトへの後からアクセスする動作が同じユーザーIDになることが保証されます。
_clsk	1 日以下	.eset.com	Microsoft	ユーザーによる複数のページビューを1つのClarityセッション記録に関連付けます。

Cookie名	Cookieの有効期限	ドメイン	プロバイダ	Cookieの目的
CLID	1 年以下	www.clarity.ms	Microsoft	初めてClarityによってこのユーザーがサイトでClarityを使用していることが確認されたときを特定します。
ANONCHK	10分	.c.clarity.ms	Microsoft	MUIDが広告で使用されるCookieであるANIDに転送されるかどうかを示します。ClarityではANIDが使用されないため、これは常に0に設定されます。
MR	7日	.bat.bing.com	Microsoft	MUIDを更新するかどうかを示します。
MUID	1 年以下	.clarity.ms	Microsoft	Microsoftサイトにアクセスする固有のWebブラウザを特定します。これらのCookieは、広告、サイトアナリティクス、その他の運用目的で使用されます。
SM	セッション	.c.clarity.ms	Microsoft	Microsoftドメイン全体でMUIDを同期するときに使用されます。

その他の詳細分析Cookie

Cookie名	Cookieの有効期限	ドメイン	プロバイダ	Cookieの目的
ai_user	1 年以下	home.eset.com	ESET	デバイスフィンガープリントに基づく匿名化されたユーザーID。ESETが個別のユーザーをカウント、識別するときに役立ちます。
ai_session	30分	home.eset.com	ESET	同じユーザーの個別のセッションを識別します。ESETがユーザーフロー(開始点/終了点など)を把握できます。
ai_authUser	セッション	home.eset.com	ESET	デバッグ、カスタマーサービス目的で、内部データベースでユーザーを特定します。

マーケティングCookie

Cookie名	Cookieの有効期限	ドメイン	プロバイダ	Cookieの目的
_fbclid	セッション	.eset.com	Facebook, Inc.	このCookieは、広告目的、コンバージョン追跡の目的で、Facebookによって使用されます。
_fbp	3ヶ月	.eset.com	Facebook, Inc.	このCookieは、広告目的、コンバージョン追跡の目的で、Facebookによって使用されます。
fr	3ヶ月	.facebook.com	Facebook, Inc.	このCookieはFacebook広告のターゲティングで使用されます。

Cookie名	Cookieの有効期限	ドメイン	プロバイダ	Cookieの目的
bcookie	2年	.linkedin.com	LinkedIn	共有ボタンと広告タグで利用されるLinkedInのCookie。LinkedInにアクセスするデバイスを一意に特定し、プラットフォームの悪用を検出します。
bscookie	2年	www.linkedin.com	LinkedIn	共有ボタンと広告タグで利用されるLinkedInのCookie。ログインユーザーが二要素認証で検証されることを記憶するために使用されます。
li_gc	2年	.linkedin.com	LinkedIn	これはLinkedInのCookieです。基本的な目的以外のCookieの使用に関する訪問者の同意を保存するために使用されます。
lidc	24時間	.linkedin.com	LinkedIn	共有ボタンと広告タグで利用されるLinkedInのCookie。
U	3ヶ月	.adsymptotic.com	LinkedIn	IPアドレスが意図する対象国ではない場合にブラウザーを識別します。
UserMatchHistory	1 か月以下	.linkedin.com	LinkedIn	このCookieはLinkedInによって設定されます。このCookieは、訪問者の設定に基づいて関連する広告を表示するために、複数のWebサイトで訪問者を追跡するために使用されます。
AnalyticsSyncHistory	1 か月以下	.linkedin.com	LinkedIn	指定された国のユーザーに対してlms_analytics cookieとの同期が発生した時間に関する情報を保存するために使用されます。
li_oatml	1 か月以下	.linkedin.com	LinkedIn	指定された国以外での広告とアナリティクス、および指定された国における広告の目的で、LinkedInからのLinkedInメンバーを特定するために使用されます。
lms_ads	1 か月以下	.linkedin.com	LinkedIn	広告の目的で、指定された国のLinkedInからのLinkedInメンバーを特定するために使用されます。
lms_analytics	1 か月以下	.linkedin.com	LinkedIn	アナリティクスの目的で、指定された国のLinkedInを特定するために使用されます。
li_fat_id	1 か月以下	.eset.com	LinkedIn	変換追跡、リターゲティング、アナリティクスのメンバーの間接的なメンバーID。

Cookie名	Cookieの有効期限	ドメイン	プロバイダ	Cookieの目的
li_sugr	3ヶ月	.linkedin.com	LinkedIn	指定された国以外のユーザーのIDとの確率的マッチングを行うために使用されます。
_guid	3ヶ月	.linkedin.com	LinkedIn	Google Ads経由の広告の目的で、LinkedInメンバーを特定するために使用されます。
BizographicsOptOut	10年	.linkedin.com	LinkedIn	サードパーティトラッキングのオプトアウトステータスを決定します。
li_giant	7日	.eset.com	LinkedIn	変換追跡で使用されるLinkedInメンバーのグループの間接的なID
_clk	1年以下	.eset.com	Microsoft	そのサイトに固有のClarityユーザIDとユーザー設定をブラウザで保持します。これにより、同じサイトへの後からアクセスする動作が同じユーザIDになることが保証されます。
_clsk	1日以下	.eset.com	Microsoft	ユーザーによる複数のページビューを1つのClarityセッション記録に関連付けます。
CLID	1年以下	www.clarity.ms	Microsoft	初めてClarityによってこのユーザーがサイトでClarityを使用していることが確認されたときを特定します。
ANONCHK	10分	.c.clarity.ms	Microsoft	MUIDが広告で使用されるCookieであるANIDに転送されるかどうかを示します。ClarityではANIDが使用されないため、これは常に0に設定されます。
MR	7日	.bat.bing.com	Microsoft	MUIDを更新するかどうかを示します。
MUID	1年以下	.clarity.ms	Microsoft	Microsoftサイトにアクセスする固有のWebブラウザーを特定します。これらのCookieは、広告、サイトアナリティクス、その他の運用目的で使用されます。
SM	セッション	.c.clarity.ms	Microsoft	Microsoftドメイン全体でMUIDを同期するときに使用されます。
SRM_B	1年以下	.c.bing.com	Microsoft	このCookieは、Microsoft Bingによってインストールされます。

Cookie名	Cookieの有効期限	ドメイン	プロバイダ	Cookieの目的
_uetsid	1 日以下	.eset.com	Microsoft	Bing広告は、以前にWebサイトにアクセスしたユーザーと関わるために、このCookieを設定します。
_uetvid	1年3週間4日	.eset.com	Microsoft	Bing広告は、以前にWebサイトにアクセスしたユーザーと関わるために、このCookieを設定します。
_uetmsclkid	90日	.eset.com	Microsoft	これはMicrosoft Click IDです。コンバージョン追跡の精度を改善するために使用されます。
DSID	2週間	doubleclick.net	AdSense, Campaign Manager, Google Ad Manager, Google Analytics, Display & Video 360, Search Ads 360	Google以外のサイトのサインインユーザーを特定し、ユーザーが広告のパーソナライゼーションに同意したかどうかを記憶するために使用されます。
test_cookie	15分	doubleclick.net	AdSense, Campaign Manager, Google Ad Manager, Google Analytics, Display & Video 360, Search Ads 360	このCookieはGoogle DoubleClickによって使用され、Cookieが設定できることを確認します。
id	2年	doubleclick.net	AdSense, Campaign Manager, Display & Video 360, Google Ad Manager, Search Ads 360	広告の動作、表示、パーソナライゼーション、ユーザーに広告が表示される回数の制限、表示を停止した広告のミュート、広告の効果の測定など、広告の目的でGoogleによって使用されます。
__gads	13ヶ月	.eset.com	AdSense, Display & Video 360, Google Ad Manager, Google Ads	このCookieは、GoogleのDoubleClick for Publishersサービスに関連付けられます。その目的は、所有者が収益を得る可能性があるサイト上で広告を表示することです。

Cookie名	Cookieの有効期限	ドメイン	プロバイダ	Cookieの目的
GED_PLAYLIST_ACTIVITY	セッション	.eset.com	AdSense, Google Ad Manager, YouTube	このCookieは、埋め込みYoutube動画経由で設定されます。動画が表示された回数、再生に使用される設定など、匿名の統計データを登録します。Googleアカウントにログインしない場合は、機密データは収集されません。この場合、選択した項目がアカウントにリンクされています。たとえば、動画で[Like]をクリックした場合などです。
ACLK_DATA	5分	youtube.com	AdSense, Google Ad Manager, YouTube	ユーザーのブラウザーでCookieが許可されているかどうかを検証するために使用されます。
pm_sess	30分	doubleclick.net, google.com	Campaign Manager, Display & Video 360, Google Ads, Search Ads 360	ユーザーが知らない間に、そのユーザーのサイトであるかのように、悪意のあるサイトが動作するのを防ぎます。
pm_sess_NNN	30分	doubleclick.net, google.com	Campaign Manager, Display & Video 360, Google Ads, Search Ads 360	ユーザーが知らない間に、そのユーザーのサイトであるかのように、悪意のあるサイトが動作するのを防ぎます。
aboutads_sessNNN	30分	doubleclick.net, google.com	Campaign Manager, Display & Video 360, Google Ads, Search Ads 360	ユーザーは、そのサービスの基本機能にアクセスするために、サービスまたはサイトを操作できます。ユーザーがサービスを使用するときの、ユーザーの認証、詐欺の防止、ユーザーの保護のために使用されます。
FPAU	90日	.eset.com	Campaign Manager, Display & Video 360, Google Ads, Search Ads 360	アナリティクスとレポートの目的で、埋め込まれた要素によってWebサイトのユーザーとそのアクティビティに関する情報を収集します。

Cookie名	Cookieの有効期限	ドメイン	プロバイダ	Cookieの目的
ANID	1 年以下	google.com and local variations	Campaign Manager, Display & Video 360, Google Ads, Search Ads 360	GoogleはCookieを使用してWeb上のさまざまな場所に広告を表示します。
AID	1 年以下	google.com/ads, google.com/ads/measurement, googleadservices.com	Campaign Manager, Display & Video 360, Google Ads, Search Ads 360	このCookieは、別のデバイスでGoogleアカウントにサインインした場合に、デバイス全体のアクティビティを関連付けるために使用されます。複数のデバイスで表示される広告を調整し、コンバージョンイベントを測定するために、これを行います。
IDE	1 年以下	.doubleclick.net	Campaign Manager, Display & Video 360, Google Ad Manager, Google Analytics, Search Ads 360	ユーザーとWebサイトでのユーザーアクティビティに関する情報を収集することで、オンラインマーケティングで使用されます。この情報は、異なるチャネルやデバイスで、ユーザーに広告のターゲティングを行うために使用されます。
TAID	14日	google.com/ads, google.com/ads/measurement, googleadservices.com	Campaign Manager, Display & Video 360, Google Ads, Search Ads 360	このCookieは、別のデバイスでGoogleアカウントにサインインした場合に、デバイス全体のアクティビティを関連付けるために使用されます。複数のデバイスで表示される広告を調整し、コンバージョンイベントを測定するために、これを行います。
FPGCLDC	90日	.eset.com	Campaign Manager, Display & Video 360, Search Ads 360	広告主がユーザーが広告をクリックする回数を決定し、サイトでアクションを実行できるようにするために使用されます。
gcl***	90日	.eset.com	Campaign Manager, Display & Video 360, Google Ads, Search Ads 360	広告クリックで情報を取得し、ランディングページ外でコンバージョンの理由を判定できるように、ファーストパーティCookieに保存するためにGoogle Adsによって設定されます。

Cookie名	Cookieの有効期限	ドメイン	プロバイダ	Cookieの目的
FLC	10秒	doubleclick.net	Campaign Manager, Display & Video 360, Search Ads 360	このCookieは、別のデバイスでGoogleアカウントにサインインした場合に、デバイス全体のアクティビティを関連付けるために使用されます。複数のデバイスで表示される広告を調整し、コンバージョンイベントを測定するために、これを行います。
RUL	12ヶ月	doubleclick.net	Display & Video 360, Google Ads	Webサイト広告が適切に表示されたかどうかを判定するためにGoogle DoubleClickによって使用されます。
CONSENT	2年	youtube.com	Google Inc	サードパーティCookie。これらはGoogleの特定の機能を提供し、使用パターンに従って特定の設定を保存し、Google検索に表示される広告をカスタマイズできます。
gac***	90日	.eset.com	Google Ads	_gac cookieは、Google Adsに対して、顧客の対話を測定するためのより信頼できる方法を提供するために、キャンペーン情報を保存します。マーケティングCookieに同意しない場合は、Google Ads Webサイト変換タグでこのCookieを読み取りません。
personalization_id	2年	.twitter.com	Twitter	このCookieは、Twitter統合とソーシャルメディアの共有機能のため設定されています。

デバイスでCookieを制御する

お客様は、Cookieの同意バナーを使用して選択することでESETのWebサイトでCookieを管理できます。Cookie設定を変更する場合は、ESET HOMEアカウント設定を使用するか、インターネットブラウザを使用してWebサイトで設定されたCookieを管理できます。ブラウザでは、保存されたCookieの表示や削除のほかCookie設定を調整して、一部の特定のCookieカテゴリをブロックできます。

Cookie設定を変更する場合は、ESET HOMEアカウント設定を使用するか、インターネットブラウザを使用するかWebサイトのフッター部にある**Cookieの管理**リンクをクリックしてWebサイトで設定されたCookieを管理できます。

このCookieポリシーの変更

ESETは、Webサイト、提供されるサービス、または業務慣行の変更を反映するために、本Cookieポリシーを適宜変更します。このような変更を導入する際には、本Cookieポリシーの「前回更新日」を改訂します。上記にかかわらず、「本Webサイトで使用されるCookie」に記載されている詳細情報は、いつでも変更される場合があります。このため、これらは本Cookieポリシーの有効日まで明示的に有効です。